

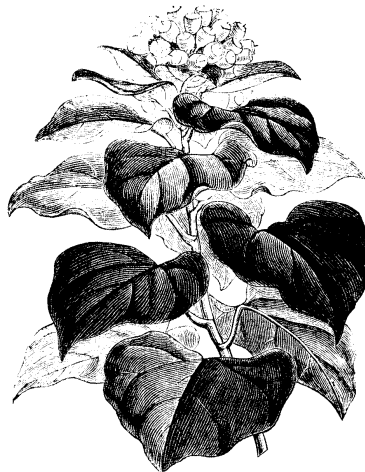
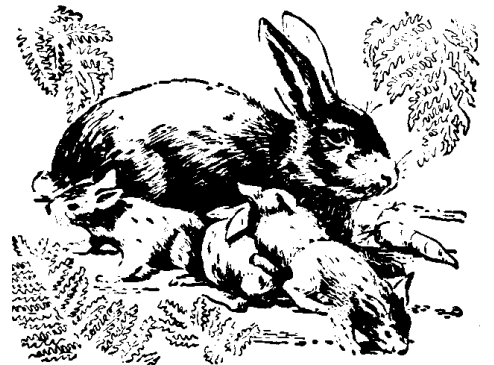
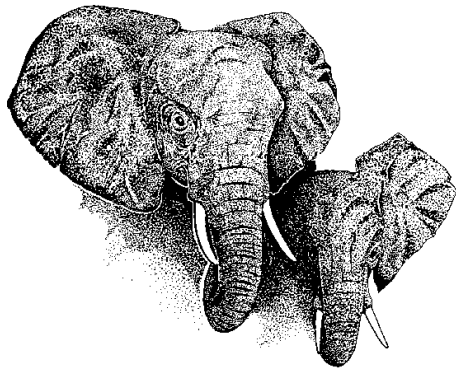
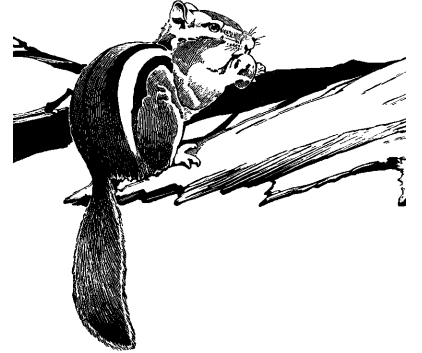
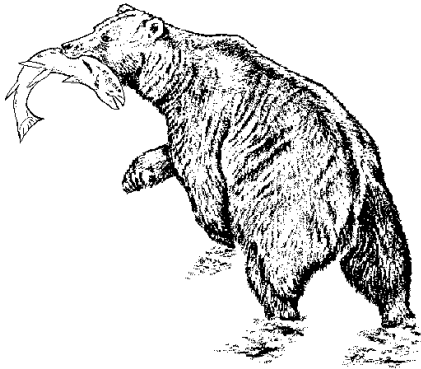
ち きゅう ごう

地球号

1999.5.20

宇宙船地球号の会機関誌

VOL.14



あたりまえだけど、ぼくたちもおんなじいきものなんだよ

環境を考える市民サークル 宇宙船地球号の会 *ホ・ムベ・ジ

<http://www.asahi-net.or.jp/~if7s-tkmt/>

目 次

98 みどりこどもエコクラブ」の活動報告P3

99 年度 「みどりこどもエコクラブ」実施案P6

私と地球号とエコクラブP6 戸野直之

買物袋・食品トレイ利用意識アンケートについて」P9 川口 辰之進

環境教育ネタ特集

ごみってなんだろうP27

広島地球ウォッチングクラブ事務局 環境サポーター松本誠一

よみがえった、かぼちゃじま 劇の台本よりP28 添田紀恵

大芝小学校4年生PTC活動 「カボチャ島物語」P

32

とりお しんがあ そんぐ ていいちゃあず

ミジンコのぼやきP36 畑本 佳香

絵本のコーナーP38

今回は地球号高校生講座OGの「ひらやまなおこさん」の作品です

マチャブチと二葉山 小島正雄P39

98 年度高校生のための環境講座「太田川はひろしまっ子のいのち」報告..... P40

正しい肌着の洗たくの仕方について、留意する点を説明します。(何故?)」..... P42

久我教之(がっち)

宇宙船地球号の会 98～99年の活動記録..... P43

最近の地球号関連の記事

地球号INFORMATIONP46

「デポジット法制定ネットワーク広島」へのご参加のお願い

田房ダム仮処分決定を聞いて

「東広島の水を考える会」集会への連帯メッセージおよび関連記事

環境情報(98年11月～99年3月).....P49

編集後記、会員募集、誤変換しびれまくり...P62

「98みどりこどもエコクラブ98」の活動報告

私たち「宇宙船地球号の会」は98年4月より、地元のスーパーマーケット(ビッグ安古市店)・公民館と共同で、安佐南区内の小学生を集めて環境学習を行った。参加したのは小学生19名(1~5年生)。スタッフ8名(他に行事ごとのスタッフやみどりからのスタッフも有)で運営した。その報告を以下に記す。

98年度の講座は、会としても初めての小学生を対象とする環境教育事業であったが、主催者である(株)みどり、(財)ひとまちネットワーク(安佐南区内各公民館)の協力もあり、好評のうちに無事、全講座を終了することができた。各講座の進行につれて内外の反響も高まり、第3回講座&第4回講座の各模様は、地元テレビ局(広島ホームテレビ)の各番組にて放映された。

8/31(月)18:30~『スーパーJチャンネル』



9/12(土)11:30~『ホップ・ステップ・ボランティア』

99年度は、「裾野を広げたい!」という山陽マックスパリュウ(株)(旧:みどり)の要望を受け、安佐南区に加えて、佐伯区の小学生を一般公募し、2店舗で活動していく予定。

資料 配布した98年度「みどりこどもエコクラブ」募集のパンフレットより

募集!


これで夏休みの自由研究は
みどり
子どもエコクラブ
1998
がバキだ!


この夏、小学生のみんなに「子どもエコクラブ」から
B/Gな自然体験をプレゼントするよ!
いっしょに地球にやさしい暮らし方を勉強しよう!


おもな内容

1. 豊平で林間学校。川や森で遊ぶのは楽しいよ!
2. 福山のリサイクル工場見学。トレイはどこへ行くのかな?
3. 宮島の海岸でごみの量を調査。海を汚すのはだ~れ?
4. 近くの山に登ろう!近所で思いがけない自然を発見!



みんなの参加まってるよ!





★期間 7/27~12/25 (全9回)
★場所 BIG安古市店とその近隣の公民館を
主会場とする。

お申し込みは、お電話で→ 広島市古市公民館
TEL (082) 877-2677

募集定員は30人。受付開始は 7/1(水)からです。

主催: (株)みどり、(財)広島市ひと・まちネットワーク 安佐南区各公民館
企画・運営: 宇宙船地球号の会

1. 設立経過について

(株)みどり(現 山陽マックスバリュ(株))が所属するイオングループでは、95年より環境庁の「子どもエコクラブ」(小中学生の環境教育事業)の支援を行っている。「みどり」としては、広島でも自分たちが直接関わる「子どもエコクラブ」を立ち上げたいということで、その運営方法について、担当者が(財)ひとまちネットワークに相談し、本会の紹介を受けた。

協議の結果、みどり子どもエコクラブは、98年度より、県内のスーパーである(株)みどりの発案、(財)広島市ひとまちネットワークの協力の基に両者の主催事業プロジェクトとしてスタートすることとなった。そして、環境教育に大きな関心を持つ私たち宇宙船地球号の会が、本講座の企画・運営を担当することとなったのである。

2. 運営について

(株)みどりが経費を提供し、「地球号」が企画運営を行う。(財)ひとまちネットワークの仲介により、地元の安佐南区内の9公民館で募集を行い、古市公民館が窓口に、安東公民館がオリエンテーションなどの会場の提供をすることになり、スタートする。

3. 内容について

本講座は、小学生を対象にして、消費者に身近なスーパーなどを舞台に、体験活動を通して環境(自然・社会)を考えてもらえるように以下のような内容とした。

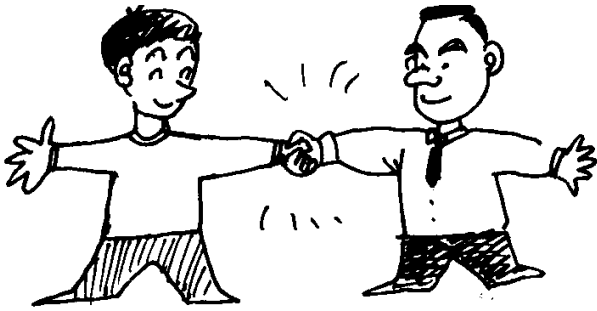
オリエンテーション、自然体験林間学校、食品トレイのリサイクルを考える、スーパーの買物客の袋持参率調査、海岸ゴミ調査、川の学習、里山の観察、生活の見直し、まとめ等。

98年度「みどり子どもエコクラブ」実施内容

回	テーマ	日時	場所	目的	内容・
1	オリエンテーション	7/27(月) 14:00 ~ 16:00	安東公民館	参加者の交流・人間関係を作る	開会行事・アイスブレイクを目的としたゲームや歌の合唱をしたり、OHPによる環境学習を行う。
2	林間学校《自然体験》	8/10(月) ~ 8/11(火) 1泊2日	豊平町共盛集会所	豊かな自然の中での体験学習を通じて、自然感の育成を行う	山県郡豊平町共盛地区集会所を会場に、1泊2日の自然体験を中心としたプログラムを行う。主なプログラムは、沢登り・川遊び等・ピカピカ大賞(水を使わずに食器をきれいにする)・原始の火起こし・豊平のソバ打ち体験・ゴミの分別ゲーム。
3	ゴミのゆくえを追ってみよう	8/27(木) 9:30 ~ 19:00	ビッグ安古市店 福山エフピコ	スーパーのトレイ回収の実体験とトレイリサイクル工場の見学	スーパーのトレイ回収の実体験・広島市の資源選別センター・埋立て地・トレイリサイクル工場の見学。
4	私たちの生活を見てください!	9/6(日) 9:30 ~ 12:00	ビッグ安古市店	スーパーで買い物袋をどのくらいの人が持って来ているか調べてみる。	スーパーのレジの横で、袋持参率調査を行う。
5	ビーチクリーンアップ in 宮島	9/23(水) 9:30 ~ 15:00	宮島包が浦 (宮島口 JR 棧橋集合)	海岸ゴミを拾ってどんなゴミが多いか調べてみる	宮島の包が浦において、海岸ゴミ調査やネイチャーゲーム(カモフラージュゲーム)を行う。
6	川の生きものさがし	11/08(日) 9:30 ~ 15:00	古川せせらぎ公園	川の生物の現地学習を行う。	古川と太田川に住む生物の相違について調べ、川の汚れと生物の関係について学ぶ。
7	ドン君に会いに行こう!	11/15(日) 9:30 ~ 16:00	二葉山	里山での学習を通じて人と自然との共存について学習する	広島駅北の二葉山にて、樹木観察やネイチャーゲームを行う。
8	環境にやさしい生活を考えよう!	12/6(日) 9:30 ~ 12:00	ビッグ安古市店	生活のあり方について考える。	スーパーの中で環境にやさしい商品を探す・包装ゴミの調査を通じて、生活の見直し学習する。
9	まとめ、環境への提言	12/25(金) 10:00 ~ 12:30	安東公民館	エコクラブの活動を振り返り、環境への提言を行う	これまでの振り返りを人形劇風にして行う。エコ・クリスマスパーティー、閉会行事

4. 仲介組織の必要性について

今回のこの行事は、「エコクラブ」を立ち上げたいという企業側と「小学生の環境教育をしたい」という私たち市民団体側のニーズが一致して実現したものである。しかし今回の事業が、仲介役となった(財)広島市ひとまちネットワークおよび会場提供と募集をしていただいた関係各公民館の協力があって始めて実現まで、こぎつけることができたということは、大変重要な意味を持っていると思われる。一般的には、企業と市民団体が日常的なつながりを持っているとはいえない広島県内の現状を考えた時、このような仲介組織に恵まれたことは、双方にとって大変なラッキーなことであった。私たちの事業に限らず、このような事業を様々な場面で今後も展開していこうとするならば、間を取り持つ組織の存在は不可欠である。今回は行政であったが、ここに行けば自分たちの要望に合う団体と巡り合えるという場が日常的にあるというのは、双方にとって大きなプラスである。



5. 課題と展望

現在、企業からは「来年も続けてほしい、できれば複数のクラブを立ち上げたい」という要望をいただいている。私たちとしても、その要望に応えていきたいのはもちろんであるが、広島での環境教育をすすめていくという点でも前向きに考えていきたいと考えている。ただ、そうしたことを実現するためには、いくつかの課題があることも事実である。第一に私たちの会のスタッフ数の絶対的不足、第二に広島という地域の中でこうした社会教育の中での環境教育ができる人材自体が圧倒的に少ないということである。環境問題に取り組む団体はいくつもあるが、子どもたちを対象に行う教育というものは環境問題に対する意識や運動とはまた違うノウハウを必要とするのだということはこの事業を進める中で私たちは大いに学習した。そうしたスタッフの確保や人材の育成の必要性を強く感じる。さらに、この事業を単に私たちや「みどり」のものとしてでなく、広島における社会教育分野での環境教育の発展をどう構築していくかという視点でみたとき、この事業の将来展望も含めたあるべき姿を模索することは重要なことであるだろう。具体的には事業が終了した後に総括を行い、そ

うした展望や課題を明らかにしていきたいと思うので、ここでは現時点で反省事項として感じていることのみを二、三あげてみたい。

一点目は、非常に世俗的なテーマであるが、人件費の問題である。今回、私たちは必要経費として様々な物品や交通費を計上し、企業側にもそれを承認していただいて活動したわけであるが、人件費のことは考えていなかった。私たちのような市民団体がボランティアで行う事業でそうしたことを考えるということに後ろめたい気持ちもあったし、金儲けでするわけではないという市民団体としての自負もあった。私たちだけの場合はそれでよいのだが、今、この事業が広島ではほとんど前例のない企業と市民団体とのユニークな協力事業として、思った以上に社会的に評価され関心を持たれており、また、私たちもこのような事業を様々な団体に広げていってもらいたいと思っている現状を考えると、無償で行うということは他団体の活動にいい影響を与えないのではないかという声をいくつかいただいている。つまり「Aの団体はただでしてくれているのにBの団体は…」というような意識を生んでしまうならば、それはお互いにマイナスになるということである。また、正当な費用を受け取ることはスタッフの責任感を明確にする上でも必要であると同時に、有能なスタッフを集めるためにも避けて通れないことである。広く市民活動の将来的なあり方を考えたとき、企業との対等なパートナーシップを構築するためには、むしろその方が本来あるべき姿なのかも知れないと、現在は考えている。

もう一点は、参加者の募集方法や人数についてである。今回は前述のように公民館で募集していただき、30名の募集に対して19名の参加であった。プログラムによっては安全に万全を期さなければならないものもあることを考えると、結果的には理想の数であったように思う。ただ、どこでも今回のように公民館で募集してもらえとは限らないことを考えると、募集の仕方をもっと真剣に考えなければならない。人数については、人間関係を密にできる、屋外行事での安全面等で考えると、一つのクラブは多くて25名までであると判断している。

いずれにしても、私たち「宇宙船地球号の会」は環境問題を市民みんなで考えていくためには教育が重要であるという観点から、数年前より市民団体レベルでの環境教育に取り組んできていたが、この事業もそうした観点でより積極的に関わっていきたいと考えている。私たちの会がどうこうというのではなく、広い視点でこの事業をとらえ、発展させていきたいと思っている。

99年度「みどりこどもエコクラブ」実施案

回	テーマ	日時	場所	目的	備考・
1	オリエンテーション	4/25(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	公民館	開会行事・アイスブレイクを目的としたゲームや歌、総合的環境学習	
2	川の学習	5/16(日)安古市店 5/23(日)五日市店	古川(安古市店) 八幡川(五日市店)	水生生物と水質の関係を中心とした水辺の生態系についての学習	
3	環境にやさしい生活とは?	6/6(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安古市店 五日市店	スーパーの中で環境にやさしい商品を探す グリーンコンシューマーとしての買い物の仕方を学ぶ	
4	食品トレイのリサイクルを考える	7/26(月)	ザ・ビッグ 埋立地 福山エフピコ	スーパーのトレイ回収の実体験 広島市資源選別センター、埋立地、トレイリサイクル工場の見学	安古市店と五日市店の共同実施
5	自然学校	8/9(月)~8/10(火) 8/11(水)~8/12(木)	豊平町共盛集会所	1泊2日の自然体験を中心としたプログラム(沢登り・ゴミの分別ゲーム、原始の火起こし、そば打ち体験、川遊び、エコクッキング他)	安古市店と五日市店は入れ替わり
6	ビーチクリーンアップ in 宮島	9/23(水)	宮島包が浦	海岸ゴミを調査して海の環境問題について考える、ネイチャーゲーム	安古市店と五日市店の共同実施
7	消費者の環境意識を考える	10/31(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安古市店 五日市店	スーパーの買物客の袋持参率調査 スーパーのレジの横で袋持参率調査を行う	
8	山の観察	11/23(祝)	二葉山	樹木観察やネイチャーゲームを通じて、里山と私たちの関わりについて考える(自然に育てられる私たち)	安古市店と五日市店の共同実施
9	まとめ、環境への提言まとめ	12/5(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安東公民館 八幡公民館	これまで学習してきたことを振り返り、これからの私たちの生活のあり方や環境に対して自分たちのできることを考える	

午前は10:00~ 午後は15:00~を予定 日時場所開始時間等変更の可能性がります。

私と地球号とエコクラブ

戸野直之

ほっと一息

1998年12月25日の第9回講座の最後に、シリブカガシのドングリを植種して、'98年度の“みどりこどもエコクラブ(以下エコクラブ)”の全プログラムを無事終了することができた。全員そろっての記念撮影の後、昼食を食べるため急ぎ帰る受講生の小学生を見送りながら、仲良くなった子どもたちとの別れを惜しむというよりも、「やっと終わったか」という安堵感を感じたのが正直なところであった。大きなため息をつきながら、あたりを見回すと、他のスタッフもやはり大きなため息をついていた。とここまで書くと、エコクラブの運営が大変で、全然楽しくなかったような誤解を与えかねないので、言っておく。確かに大変なことは大変だったが、エコクラブはとても楽しかったのである。このような思いは、エコクラブの講座が進むごとに自分の中で、あるいはスタッフの間においても広がり、深まっていったと確信している。

エコクラブに関わるまで



そもそも私とエコクラブ(小学生対象の環境教育講座)との関わりは、宇宙船地球号の会への入会動機にまでさかのぼらなければならない。当時、入会直前の私は、それまでの会社員時代にピリオドを打ち、子どもたちの教育に情熱を燃やし始めた時期であった。これまでの自分自身のライフスタイルを反省し、「このままでは今の社会や地球は持たないのではないか?」と漠然と不安に感じていた。「自分でも何か行動しなければ」と思いつつも、そのような行動力や勇気を持ち合わせていなかった。そんな時、機関誌地球号を通してこの会の存在を知り、竹本さんをはじめ、会員の方々の地道な努力や行動に、大い



に勇気づけられたことを記憶している。特に、環境問題に対しては、抗生物質のような劇的な特効薬はなく、地道に継続的に活動を続けていくことしかないのだ、ということに共感を覚えた。また、すぐに結果を求める対症療法ではなく、広く長い目で見通した上での、事実や真実に基づく判断や行動が求められることを痛感した。そう言った意味で、環境問題解決の手段として子どもを対象とした環境教育は、遠回りのようで実は近道で有効な手段ではないかと思ったのである。もちろん、それだけで世の中の環境問題がすべて解決できるとは思っていないが...

このような状況にあった私が、「高校生のための環境講座」のスタッフを募集していた宇宙船地球号の会へ入会を決めたのは、ごく自然な成り行きだったのである。「高校生のための...」とあるので、対象は当然高校生である。私個人としては、正直なところ小学生対象の講座をやってみたかったのであるが、講座の企画や運営などは全くの素人であり、そういったところの勉強も兼ねるという意味で、「高校生のための環境講座」のスタッフとしての経験は大変に有意義な活動であった。自分へのノウハウの蓄積から言っても、個人的には「小学生対象の環境講座の実施は、もう2～3年先かな?」と思っていた。

ところがその翌年、会として例年どおり「高校生のための環境講座」の企画を立てていた頃(5月)、思わぬところから「小中学生対象の環境教育講座をやりたいのだが」と打診があった。県内の大手スーパーである(株)みどりさんが、フィランソロピー(企業の社会貢献活動)の一環として「子どもエコクラブ」の立ち上げを企画され、広島市のひと・まちネットワークさん経由で、宇宙船地球号の会へ講座の企画・運営への協力を求めてこられたのである。当時、会としてもたくさんの行事を企画・実施していて、手一杯の感もあったのだが、竹本さん夫妻や、私と同様子どもの教育に情熱を燃やしている会員の久我さんの後押しで、(株)みどりさんの申し出を快諾。限られた時間やスタッフの中で、「みどり子どもエコクラブ」の企画立案・実施と相成ったのである。

実際の企画作業については、竹本さん夫妻におんぶにだっこで、自分としてはあまり力になれなかったような気もするが、ともかく、記念すべき「みどり子どもエコクラブ」第1回の講座を迎えたのである。

エコクラブが始まって

第1回の講座は、オリエンテーション。受講者の保護者にも参加してもらって、各回の講座でどのようなことを計画しているのか、などを説明した。また、アイスブレイクと言って、楽しいゲームを通して受講者同士の人間関係を作っていくことも行った。環境教育講座とは言っても、座学による知識の詰め込みによるのではなく、直接的な体験を第一に考えるということと、目の前の人間と仲良くやっていけない人間が(各個人の中にある環境問題)、一般の環境問題について考え、行動することはできないということ、スタッフの間で企画段階からの共通認識として持っていたからである。私も、おそろおそろ子どもたちや保護者の前でしゃべったのであるが、他のスタッフの助けもあり、つつがなく終了することができた。



エコクラブ全9回の講座の中でも最大の行事と言えるのが、第2回の林間学校である。実際、エコクラブの予算のほとんどを(8割?)費やすことになった。豊平町の共盛(きょうせい)地区にある老人集会所で、1泊2日かけて自然学校のような行事を行った。子どもたちも、普段接することの少ない自然の中の遊びに夢中になり、全員が目を輝かせて楽しんでた。今時の子どもたちの中で常識となっているコンピューターゲームなしでも、かれらは本当に夢中になって遊んでいた。添加物のたっぷり入ったお菓子や、ペットボトル入りの甘〜いジュースなどを欲しがる子は1人もいなかった。昼間にたっぷり遊んだ後、さすがに夜は疲れたのか、みんな早々に就寝していた。そこには、少し前の時代の子どもたちと何ら変わらない子ども像があった。現在、社会問題となっている教育問題解決の糸口の1つが見えたような気がした。

そして、忘れてならないのが、私たちにも予測不可能であった大人たちの変貌ぶりである。当初から、(株)みどりさんからエコクラブの担当者が2名、各講座に参加することになっていたのだが、はっきり言って林間学校が始まるまでは、あまり乗り気ではなかった(本

人談)のである。ところが、林間学校での行事で「沢登り」や「そば打ち」を経験されたことで、エコクラブへの認識が変わったと言われた。急流の中を救命ロープを頼りに必死で歩いたり、そばをこねたり伸ばしたりしている担当者の方々の目の色やその後の行動変化を見れば、それは誰の目から見ても明らかであった。現代の子どもの直接経験(の驚きや苦しさ、楽しさなど)不足は、私も含めて、現代の大人にも当てはまる問題ではないかと感じた次第である。私たちスタッフとしても、このような活動が、子どもだけでなく大人をも変え得ることができるとわかったことは、大きな収穫であり、今後の会の方向性や行事などに1つの方向性を与えられるのではないかと思っている。



さて、これ以後も講座は続くのであるが(全9回)、その様子を詳しく述べていたらとても長くなってしまいますので、これぐらいにしておく。受講者の子どもたちも(一部の保護者も)、毎回の講座を楽しみに参加してくれたようである。私たちスタッフも、ただ各回の講座を企画・開催・消化しただけでなく、その過程においての子どもたちとの交流が楽しかった、と言うのが正直なところであろう。現代っ子とはいえ、やはり子どもは子どもである。1人1人の子どもは、無邪気で純粹で、本当にかわいい。

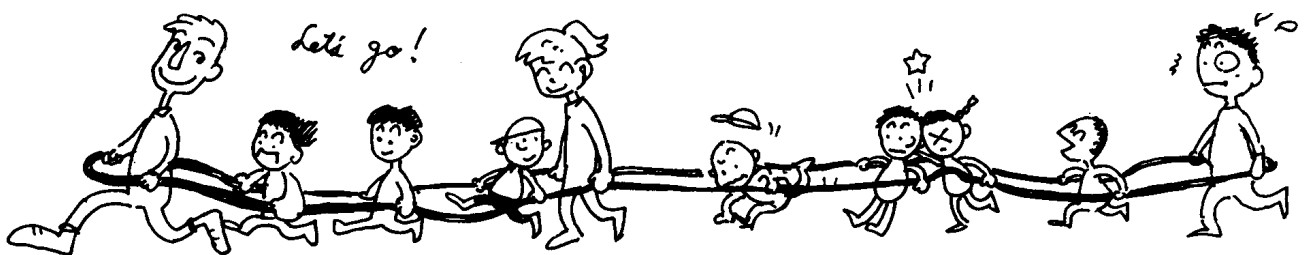
今思うこと

短いながらも、エコクラブをはじめ、環境保全の市民活動に関わってきて感じることは、「こうありがたい、こうやりたい」と強く思い、行動し続けることの大切さと同時に、人と人との縁の大切さである。小学生の環境講座をやってみたかった自分自身にとって、まさにトントン拍子に事が進んでいったように思われるのだが、実はこのことのベースには、竹本さんをはじめ、宇宙船地球号の会に関わってきた多くの方々の地道な行動や実践が積み重ねられていることを忘れてはいけない。“ギブ・アンド・テイク”とはよく言ったもので、有益な情報の発信源に有益な情報は集まるのである。そう言った意味で、たくさんの情報の集まる宇宙船地球号の会には感謝しても足りないほどだ。

また、会の活動を通して、実に多くの方々に会うことができている。年齢や性別、職業、社会的な地位などが異なる人とは普段接する機会も限られるのだが、市民活動に関わっていく過程では、努力すればいろいろな立場の方々と知り合いになり、情報交換することが可能となってくる。ともすれば、狭い範囲でかたまってしまうがちな考えや行動(独善化)が、より客観化され得るのだ。ただし、活動時間の確保が悩みの種であるが...

さて、今年度もエコクラブは実施される。現在は、事務局にて企画を練っている段階である。この原稿が機関誌に載せられ、みなさんに読んでいただけるようになった頃には、企画作業は一息ついていることだろう。今年度の活動も、昨年度の活動とそんなに違いはないのであるが、実施拠点が2ヶ所に増えたことと、新しいスタッフが加わってくれたことを紹介しておきたい。特に、新しいスタッフについては、これまでの「高校生のための環境講座」の受講修了者が数名も参加してくれていて、「高校生のための環境講座」のスタッフ経験者としては、とても嬉しく思っている。元々の受講者のレベルが高かったと言えばそれまでだが、自分としても「少しぐらいは貢献できたかな?」と勝手に思っている次第である。小さいことのようにだが、こうして自分たちの実践してきたことが、次の世代につながっていつている事実を目にすると、「あれは意味のないことではなかったのだな」と勇気づけられるのだ。

さあ、今年もまた、地球号に元気でかわいい子どもたちが集まってきます。私たちと一緒に(スタッフとして)、子どもたちと楽しく遊んで(勉強して)みませんか?



宇宙船地球号の会発

買物袋・食品トレイ利用意識アンケートについて

昨年度、皆様にご協力いただいた宇宙船地球号の会発「買物袋・食品トレイ利用意識アンケート」について、前号で報告しましたが、細かい分析を行いましたので発表します。

「アンケートの内容」

アンケート項目

年齢()才 性別 男・女 職業 会社員・公務員・パート・自営業・自由業・専業主婦・学生・無職・その他()

1. あなたはスーパーで買物をしたとき、袋をもらっていますか。

a必ずもらっている bときどきもらう cもらわないようにしている

2. 1でaとbを答えた方にお聞きます。買物袋は利用した後、どうされていますか。

aすぐに捨てる b取っておいて再度利用する cゴミ袋として利用する dその他()

1でbとcを答えた方にお聞きます。買物袋をもらわないのは何故ですか。(複数回答可・その場合、最大の理由のものに、その他2つまで)

- a 資源の無駄使いをしないため何度も使っているから
- b スーパーの実施するリサイクルカードのポイントを集めているから
- c 袋がたまって困るから
- d 段ボール箱を利用しているから
- e 買物カゴなどを持参しているから
- f その他(具体的に)

3. 買物袋が有料であれば、あなたは袋を持参しますか。

- a 持参する
- b 持参しない
- c 金額によっては持参する いくら以上なら袋を持参しますか。(5円、10円、15円、20円、21円以上)

4. 最近、食品トレーや牛乳パック、空き缶などを回収し、リサイクルを進めているスーパーが増えてきましたが、このことについて、あなたはどの様にお感じになっていますか。

a大変良いことだ bよくわからない c興味がない d意味のないことだ eその他()

5. 空き缶やペットボトルの回収方法としてデポジット制度が有効だといわれていますが、このことについてどう思われますか。(デポジット制度とは、ビール瓶のように容器代を価格に上乗せして販売し、返却時にその代金を戻す制度)

aぜひとも取り入れるべきである b値上げになるので取り入れるべきでない cわからない dその他()

6. 最近の食料品には、食品トレイ(発泡スチロールなどの皿)が多く使われています。このことについて、どう思われますか。

a必要だと思う b物によっては必要だと思う c必要でないと思う dどちらとも言えない eわからない

その理由は?(複数回答可・その場合、最大の理由のものに、その他2つまで)

食品の衛生上、清潔だ 豪華に見える 商品が傷みにくい ゴミになる 資源のむだ遣いだ、もったいない
その他()

7. 食料品を買う時、食品トレイを使用しているかどうかを意識していますか。

a 意識している

aの人にはどのように意識していますか

トレイに入っているものを選ぶようにしている
トレイに入っていないものを選ぶようにしている

物によって使いわけている
その他()

b 意識しない

bの人はどうしてですか
考えたことがない
ほとんどの商品に利用されているので選びようがない
その他()

8.あなたが過剰包装の商品だと思うものを、そう思った理由も添えて、上げて下さい。(5つ以内)

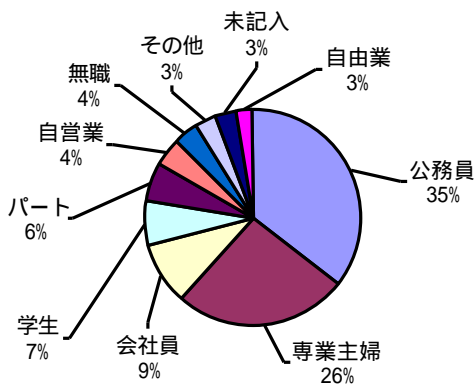
9.8とは逆に、簡易包装などあなたが感じ良く思った包装があれば上げて下さい。

10.ゴミ問題・リサイクルについて、あなたが何か思うことがあれば自由にお書き下さい。

集計結果 アンケート回収総数 270枚

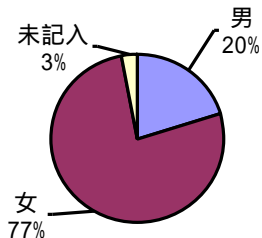
職業別集計

職業	人数
公務員	96
専業主婦	70
会社員	25
学生	18
パート	16
自営業	11
無職	10
その他	9
未記入	8
自由業	7



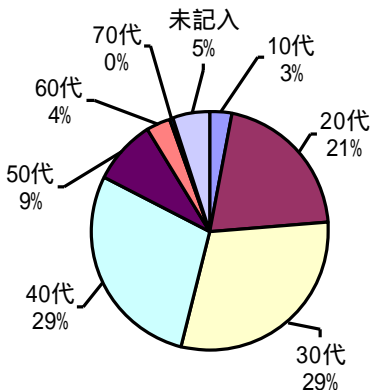
男女別集計人数

性別	人数
男	55
女	207
未記入	8



年代別集計一覧

年代	人数
10代	8
20代	53
30代	77
40代	73
50代	22
60代	9
70代	1
未記入	13



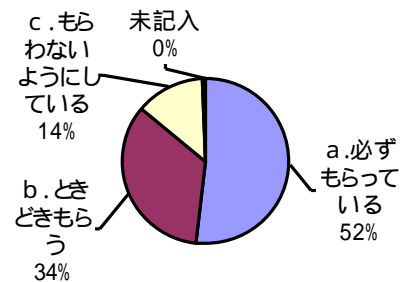
職業別の集計では、講演会場等でアンケートを回収したものが多く含まれており、結果公務員の割合の高いものになってしまった。

また男女比別の集計では、3/4以上が女性が占めており、女性の回収率の高さから、この問題に関する意識の高さがわかる。こ

のことから、男性の意識を高くすることが、結果として全体の意識の向上につながるということが予想される。

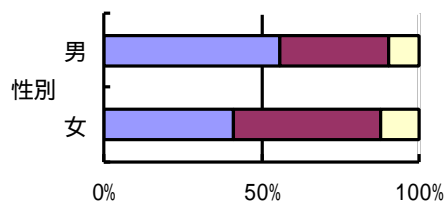
1. あなたはスーパーで買物をしたとき、袋をもらっていますか。

	人数
a.必ずもらっている	117
b.ときどきもらう	78
c.もらわないようにしている	31
未記入	1



1. の男女比

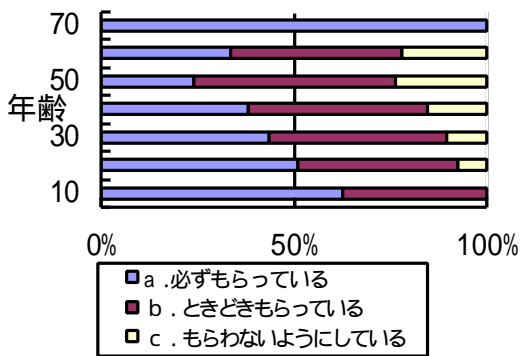
	男	女
a.必ずもらっている	29	85
b.ときどきもらう	18	96
c.もらわないようにしている	8	25



■ a.必ずもらっている
■ b.ときどきもらっている
■ c.もらわないようにしている

1.買物袋をもらっていますか?の問いに対する男女比の違いをみると、男性の方は、“a.必ずもらっている”が半数以上を占めている。その一方で、“c.もらわないようにしている”の割合には、さほどの差がない。

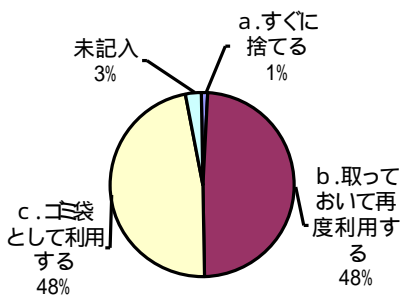
1. の年代別の割合



上のグラフから、50歳前後の人が、極力もらわないようにしている様子が伺える。年齢が低くなるにしたがい、もらっている人が多くなる傾向にある。(70歳代は人数1名のため参考資料 以下同様)

2. 1でaとbを答えた方にお聞きします。買物袋は利用した後、どうされていますか。

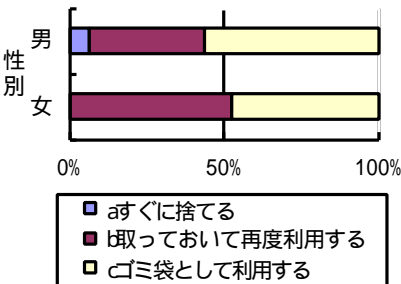
	人数
a. すぐに捨てる	3
b. 取っておいて再度利用する	118
c. ゴミ袋として利用する	115
d. その他	0
未記入	7



2. . .の男女比

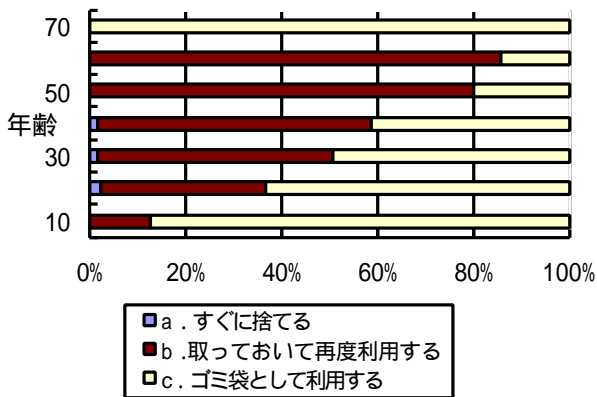
	男	女
a. すぐに捨てる	3	0
b. 取っておいて再度利用する	17	95
c. ゴミ袋として利用する	26	85

性別未記入を除く



このグラフからは、女性の方が男性に比べて、ゴミ袋に使うだけでなく、その他の有効な再利用することを考えていることが伺える。また、女性の中に“a. すぐに捨てる”という人がいなかったことは驚きである。

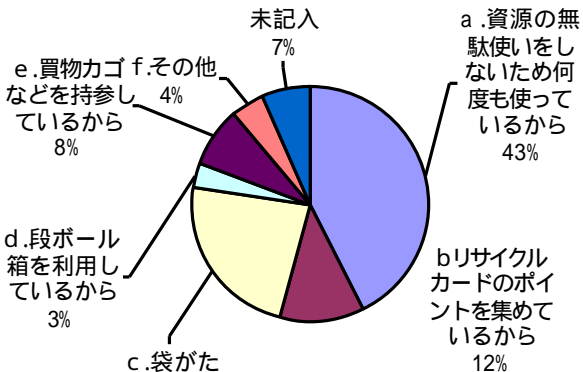
2. . .の年代別の割合



ここでは、グラフに明確な傾向が現れている。年齢が高くなるに従い、“c. ゴミ袋として利用する”が減少し“b. 取っておいて再度利用する”が増えている。高年齢層にいくほど、再利用を工夫しているということが伺える。

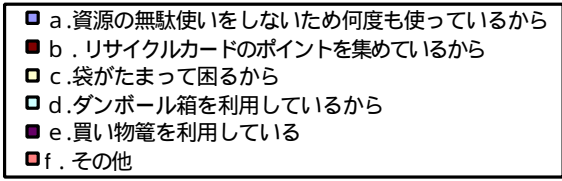
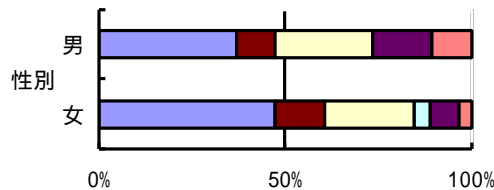
1でbとcを答えた方にお聞きします。買物袋をもらわないのは何故ですか。

	人数
a. 資源の無駄使いをしないため何度も使っているから	50
b. スーパーの実施するリサイクルカードのポイントを集めているから	14
c. 袋がたまって困るから	27
d. 段ボール箱を利用しているから	4
e. 買物カゴなどを持参しているから	10
f. その他 (具体的に)	5
未記入	8



2. . .回答b c の男女比

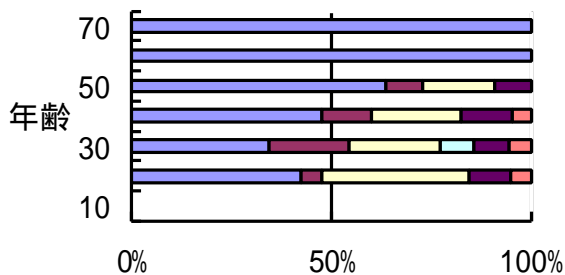
	男	女
a. 資源の無駄使いをしないため何度も使っているから	7	43
b. スーパーの実施するリサイクルカードのポイントを集めているから	2	12
c. 袋がたまって困るから	5	22
d. 段ボール箱を利用しているから	0	4
e. 買物カゴなどを持参しているから	3	7
f. その他 (具体的に)	2	3



ここでは、女性の側に“d. ダンボールの使用”という項目が出ていることが特徴である。また“f.その他”の欄には以下のような記述があった。

- ・ゴミ袋として利用するほか、タッパーウエア・氷かき機、料理用スケールなどの埃よけ。濡れた雨合羽入れ等に使う
- ・必要としているところに持っていくようにしている。でもこれからは出来るだけもらわないようにしたいと思う。
- ・ゴミ袋としてだけでなく、着替えを入れたり、野菜を入れたりするのに利用している。
- ・バザ - などの時、差し出して利用してもらう。
- ・とっておく。

2. . . 回答bc の年代別の割合

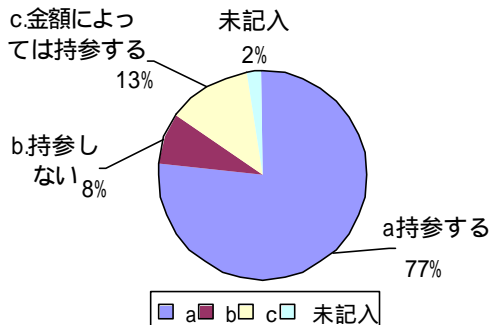


- a資源の無駄使いをしないため何度も使っているから
- bスーパーの実施するリサイクルカードのポイントを集めているから
- c袋がたまって困るから
- d段ボール箱を利用しているから
- e買物カゴなどを持参しているから
- その他(具体的に)

ここでは、年齢が上がるにしたがって、a 資源の無駄使いをしないため何度も使っているから、という項目の比率が上昇している。一方ポイントカードは30代に人気があることがわかる。またダンボールの利用も30代であり、様々な工夫をしていることが伺える。

3. 買物袋が有料であれば、あなたは袋を持参しますか。

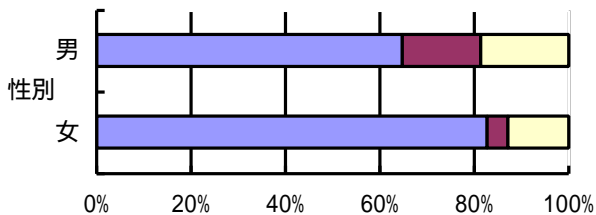
	人数
a持参する	207
b持参しない	21
c金額によっては持参する	36
未記入	6



75%以上の方が有料であれば持参するようである。

3. 買物袋が有料であればの男女比

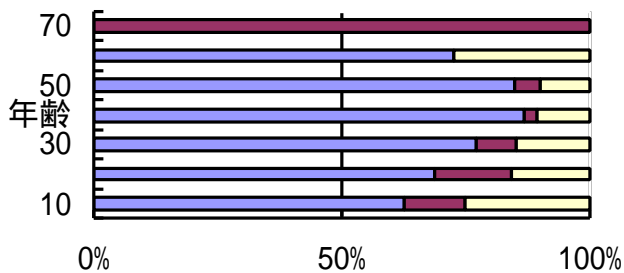
	男	女
a持参する	35	169
b持参しない	9	9
c金額によっては持参する	10	26



- a持参する
- b持参しない
- c金額によっては持参する

ここでも、女性の方が持参する率が高いことを示している。一方男性の中には、17%程度も、たとえ有料であっても持参しないという人たちがいる。

3. 買物袋が有料であればの年代別の割合

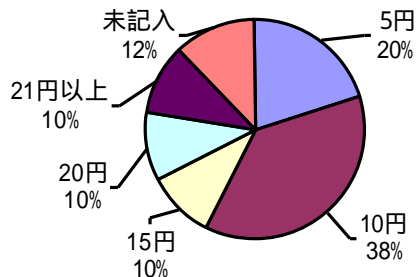


- a持参する
- b持参しない
- c金額によっては持参する

持参するという年代は30代から50代にかけて多く見られるのが特徴である。

c金額によっては持参する いくら以上なら袋を持参しますか。

	人数
5円	10
10円	16
15円	5
20円	5
21円以上	5
未記入	6

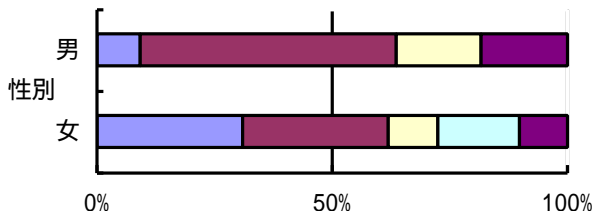


- 5円
- 10円
- 15円
- 20円
- 21円以上
- 未記入

このグラフから、10円が約4割を占めていることがわかる。さらに5~15円の間で約7割にも達している。

dいくら以上なら袋を持参しますか?の男女比

	男	女
5円	1	9
10円	6	9
15円	2	3
20円	0	5
21円以上	2	3

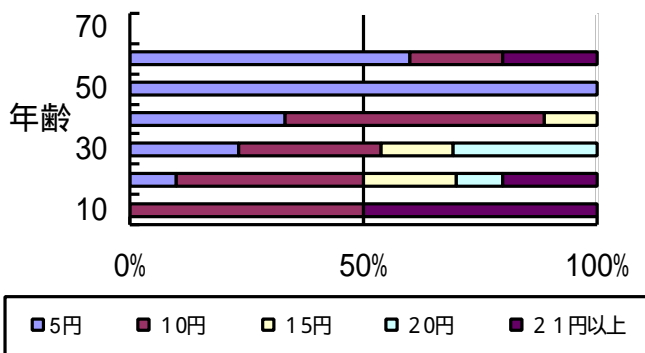


- 5円
- 10円
- 15円
- 20円
- 21円以上

性別未記入を除く

このグラフからは、予想通り女性のほうが有料の買物袋に対して敏感であることが伺える。

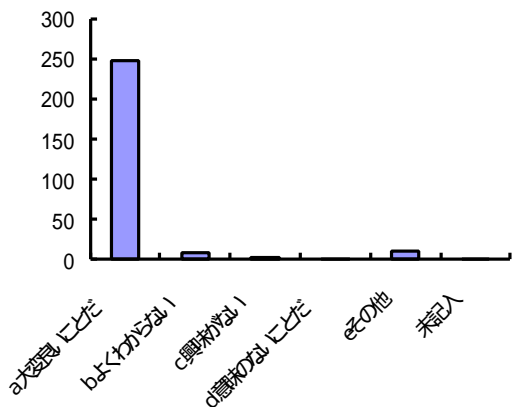
d.いくら以上なら袋を持参しますか？の年代別の割合



10歳代は人数が少ないため参考程度、20～50歳代にかけては年代が上がるほど、小額でも有料袋であるならば持参するという層が多くなっていく。

4.最近、食品トレーや牛乳パック、空き缶などを回収し、リサイクルを進めているスーパーが増えてきましたが、このことについて、あなたはどの様にお感じになっていますか。

	人数
a大変良いことだ	248
bよくわからない	8
c興味が無い	2
d意味のないことだ	1
eその他	10
未記入	1



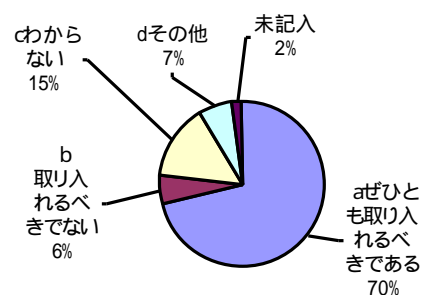
大部分の人々 (96%) が“大変良いことだ”と感じているようであり、回収リサイクルに対する意識は定着しているといえるであろう。

なお、その他の意見には以下のようなものがあった。いずれも貴重な意見であり関係者の方々は参考にさせていただきたい。

- ・良いことだと思ふ反面、本当に役立っているのか疑いの気持ちがある。
- ・リサイクルには新しいものを使うよりエネルギーが掛かり、環境にマイナスになることが多い。
- ・良いことだがそれだけ売り物にせず、食材に関して品質の良いものを扱っていただきたい。
- ・リサイクルポイント制にしている某スーパーは鮮魚と惣菜が非常に悪い。また、自分のスーパー以外のトレイは回収してくれない。リサイクルに力を入れるのも大切だが、良質な新鮮なものを取り扱ってほしい。
- ・トレイなどの使用自体を減らすことが肝要だ。
- ・良いことだと思ふが、再利用化の内容がよくわからないので、ルートを知りたい。
- ・リサイクルしたことで、免罪符になってしまうのではないかとと思う。
- ・疑いたくはないが、本当にリサイクルされているのか、ただポーズ(消費者受けのため)だけなのか、そこまで追求する必要があるのでは。
- ・もっと積極的にやってほしい

5.空き缶やペットボトルの回収方法としてデポジット制度が有効だといわれていますが、このことについてどうお考えですか。

	人数
aぜひとも取り入れるべきである	192
b値上げになるので取り入れるべきでない	15
cわからない	40
dその他	18
未記入	5



7割以上の方が、“ぜひとも取り入れるべきである”という意見であるが、15%も“わからない”と回答しているところや、その他の記入をみると、“リサイクルすれば、それでよいのか？”という疑問の声が決して小さくはないことをあらわしている。おおむね推進していかうと考えているが、そのために、このような疑問に答える取り組みが必要であると感じる。

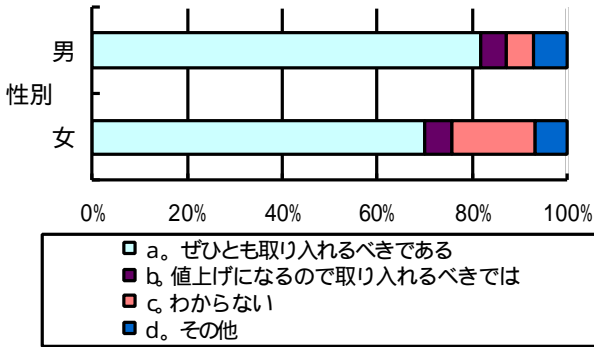
なお、その他の意見には以下のようなものがあった。

- ・便乗値上げが考えられるので、あまり有効とは思えない。基本的にはよいと思うが、回収したものを十分処理できなければ、無駄になる。
- ・どちらともいえない。
- ・会社か国が半分くらい負担すればよい。
- ・消費者責任としてリスク(費用負担:リサイクル分別の責任)を負うべき。
- ・手間がかかりそうだ。有効であるとは思うが？。
- ・取り入れることは有効だとは思ふ。ただ「制度」としては、いろんな問題を含んでいて現実味をおびない。結局は単なる値上げになるのだからと思う。
- ・悪くないと思うけれど、難しいと思う。ビールのように家とか室内でなく、屋外での利用が多いものであるから。
- ・当然それくらいしないと、ゴミは減らない。
- ・大変難しい問題である。
- ・デポジットでなくとも企業責任でリサイクルするべき。
- ・取り込んで回収率が上がればよいが、自販機などの場合はどうするか？よくわからない。
- ・自動販売機の横などにゴミ箱に山積みされている空き缶などは、資源ゴミとなっているのだろうかという思いが浮かんできました。酒屋さん牛乳屋さんへの瓶の返却と違い、空き瓶の回収については問題が多いのではと思います。
- ・取り入れる方がよいと思うが上乗せ額が少額の場合は効果が出ないのでは？。
- ・リサイクル単価の高いものは商品化すべきでない(ペットボトル、アルミ缶など)。
- ・わずかな容器代のために回収に協力する人が多くいるかは疑問。
- ・製造元が分別回収されたものを再利用、または処理するべき。
- ・あまり買わないようにしている。
- ・容器代を上乗せせず、リサイクルカードポイント制の方がよいと思う。
- ・昔ペットボトルが出始めの頃はやってはいたはずだが、それがなくなったのは何故なのでしょう。やはり何か問題があったからではないでしょうか。その辺のことが気になります。お金がかからずに、使用する側の意識が高まって回収できるのが本当は一番良いのでしょうか。
- ・リターナブルの方がよい。
- ・回収方法には工夫が必要だと思う。
- ・リサイクルできる商品売店を回収もするべきだと思う。
- ・容器類が多様多様なので、容器を限定してしまうとあまり意味がないと思う。
- ・資源を大切にするという意識が大切なので、必要ないと思うが、はじめの取り掛かりとしてデポジット制を試してもよい

このように、その他の意見として書かれている方は、この問題に対して真剣に考えている人が多い。会としてもここに書かれている意見を大切にしながら考えていきたい。

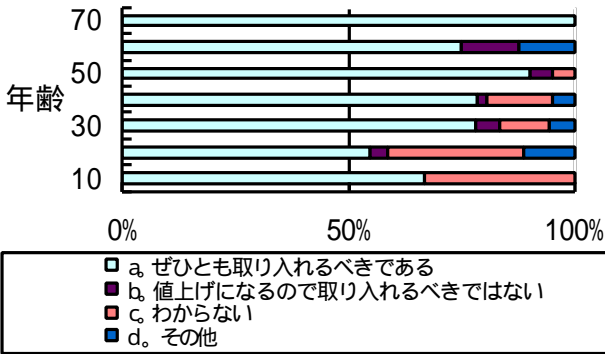
5. デポジット制度についてどう思うかの男女比

	男	女
a ぜひともし取り入れるべきである	45	141
b 値上げになるので取り入れるべきでない	3	12
c わからない	3	35
d その他	4	14



デポジット制度についてどう思うか?の男女比では、全般的に“a ぜひともし取り入れるべきである”が多いものの、デポジット制度に対して懐疑的になっている人は女性に多いことがわかる。このことはその他の意見にも反映されている。

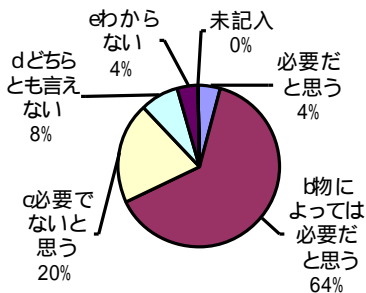
5. デポジット制度についてどう思うかの年代別の割合



このグラフの特徴的なところは、10~20代にかけて“c わからない”という回答が目立つことであり、その多くの方はデポジット制度に対して懐疑的である。この問題に取り組む時、こうした年代の特徴を把握しておく必要があると考えられる。

6. 最近の食品には、食品トレイ(発泡スチロールなどの皿)が多く使われています。このことについて、どう思われますか。

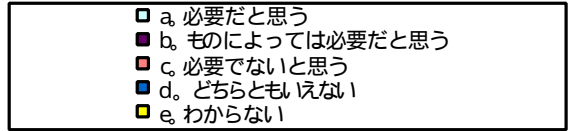
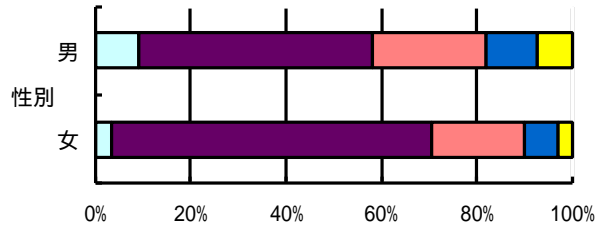
	人数
a 必要だと思う	12
b 物によっては必要だと思う	171
c 必要でないとと思う	55
d どちらとも言えない	21
e わからない	10
未記入	1



“必要でないとと思う”という人は全体の20%に過ぎず、現実の生活では、食品トレイはおおむね必要なものとして認識されているようである。もったいないと思いつつ使っていることにジレンマを感じているという姿が伺える。

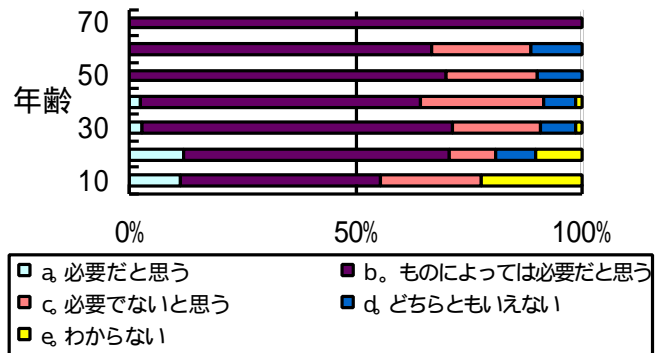
6. 食品トレイの必要性についての男女比

	男	女
a 必要だと思う	5	7
b 物によっては必要だと思う	27	138
c 必要でないとと思う	13	40
d どちらとも言えない	6	15
e わからない	4	6



このグラフでは、女性の方が、“b物によっては必要だと思う”という回答を多く寄せており、一方“a必要だと思う”という意見の割合は男性よりも少ない。これは、トレイを見る視点が男女では異なり、女性の側がより必要性について注目しているということの現われかもしれない。

6. 食品トレイの必要性についての年代別の割合

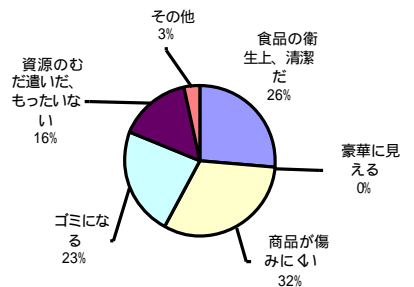


“b物によっては必要だと思う”、“c必要でないとと思う”はすべての年齢に同様(20代が少々低い)にあるが、“a必要だと思う”の回答は10~20代にかけて集中している。

6. その理由は?最大の理由のものを一つつけてください

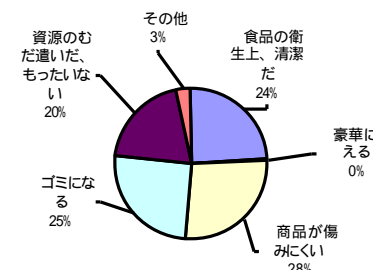
6. 最大の理由

	人数
食品の衛生上、清潔だ	32
豪華に見える	0
商品が傷みにくい	38
ゴミになる	26
資源のむだ遣いだ、もったいない	19
その他	4



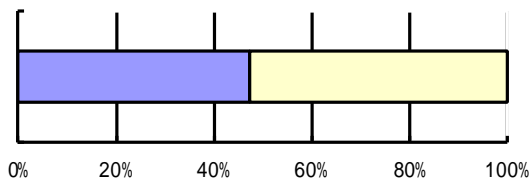
6. 最大の理由 + その他2つまで

	人数
食品の衛生上、清潔だ	74
豪華に見える	1
商品が傷みにくい	82
ゴミになる	78
資源のむだ遣いだ、もったいない	62
その他	10



6. 「a必要だと思う + b物によっては必要だと思う」という理由 (の合計)

	人数
食品の衛生上、清潔だ	74
商品が傷みにくい	82



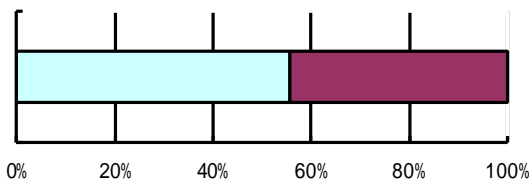
■ 食品の衛生上、清潔だ ■ 商品が傷みにくい

“a必要だと思う + b物によっては必要だと思う”と答えた回答者のうち、最大理由としては、食品の衛生上、清潔だ、商品が傷みにくいの2つが理由として挙げられており、なかでも若干商品が傷みにくいが多い。

豪華に見える、の回答は1名のみであり、しかも の項目であった。必要だと思う理由は、食品トレイの機能を消費者が認識しているからというところである。

6. 「c必要でないと思う」という理由 (の合計)

	人数
ゴミになる	78
資源のむだ遣いだ、もったいない	62



■ ゴミになる ■ 資源のむだ遣いだ、もったいない

一方、不必要と回答した集団の理由は、ゴミになる、資源のむだ遣いだ、もったいないという意見であり、特に ゴミになるとの回答が多かった。資源問題というよりも、ゴミ問題としてとらえている人の方が多いことがわかる。

なお、その他の意見としては以下のようなものがあったが、その多くは必要である理由を述べているものが多かった。

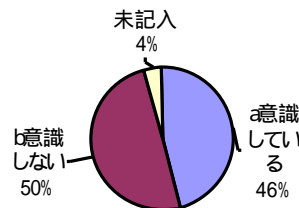
- 代替品が無い。
- ・ものによる。
- ・便利である。大勢で集まる時など、洗わなくてよい。
- ・消費者意識が高まり、購入時のマナーを守れば、たとえば食品をついて質を確かめるなどをしなければ、なくてもよいと思う。
- ・じゃがいものトレイのように工夫してあるものもあり、減らしていければと思う。
- ・材質をかえていけばよい(無害、かさばらない)。
- ・型崩れ防止のものもある。
- ・刺身などトレイがなければ痛むから、但し発泡スチロ - ル性でなくてもよい
- ・販売システム上不可欠となっている。
- ・ドリップの流出が容器外に漏れないため、運搬に便利。
- ・肉魚は小分けしてあるので利用しやすい。
- ・洗う皿が減る。
- ・販売する人手間を省くため。現状のスーパーなどではトレイ廃止は無理だと思う。
- ・再利用できるものもあるので無駄とは言えない。
- ・惣菜などはトレイに入っている方が合理的だ。
- ・形がくずれない。つぶれない。
- ・かさばる。
- ・持ち帰りやすい。
- ・物によっては必要な物もあるだろうが、それはそれで個々人で工夫して

持って帰ればよいのではないだろうか。

7. 食料品を買う時、食品トレイを使用しているかどうかを意識していますか。

a意識している、b意識しない

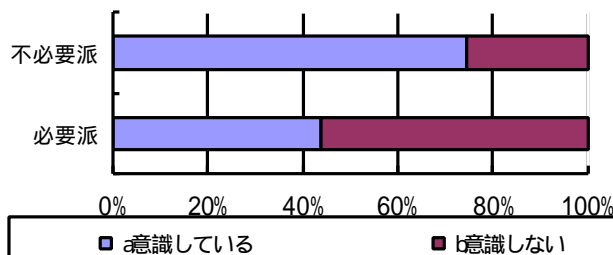
	人数
a意識している	124
b意識しない	135
未記入	11



このグラフだけを見ると、半々であるが、6の問いで、“a必要だと思う + b物によっては必要だと思う”と答えている人は全体の7割に達するが、買うときに意識をしている人は全体の46%に過ぎない。これは必要と感じている人の中に、意識していない人が多く含まれているためである。一方、不必要と思っている人の7割近くは意識しているという回答である。

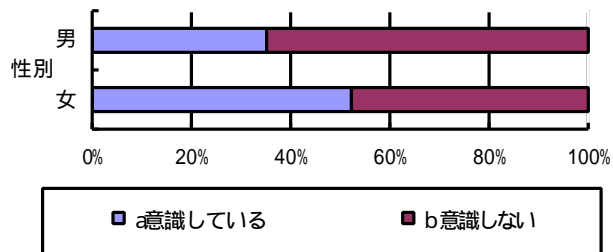
		人数
必要派 (6の a+b)	a意識している	77
	b意識しない	96
不必要派 (6の c)	a意識している	38
	b意識しない	13

必要派としたのは6で abと回答した集団、不必要派としたのはcと回答した集団。



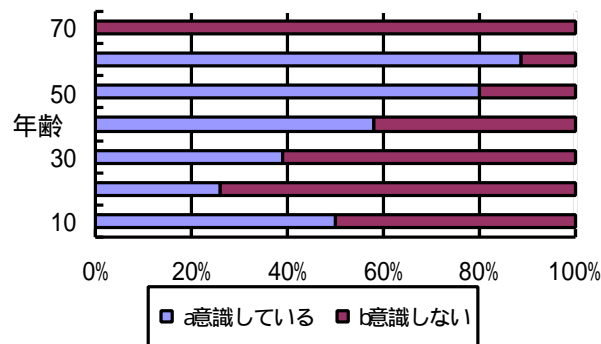
このグラフからも明らかのように、不必要と思っている人は、買う時に意識していることが伺える。購入時に食品の乗っているトレイの存在に気づくことが、大切なようである。

7. 食品トレイを使用しているかどうかを意識していますか?の男女比



ここでも、やはり女性の方が意識の割合が高くなっている。

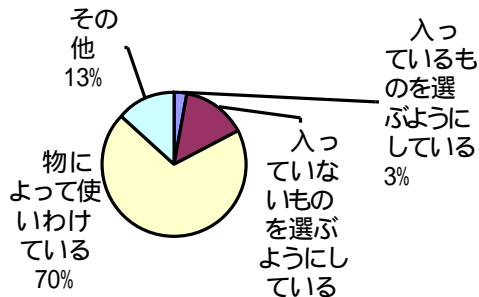
7. 食料品を買う時、食品トレイを使用しているかどうかを意識していますか?の年代別の割合



明らかに、年代とともに意識している比率が高くなっている。特に50～60歳代において顕著である。

「a.意識している」の人はどのように意識していますか

	人数
トレイに入っているものを選ぶようにしている	4
トレイに入っていないものを選ぶようにしている	18
物によって使いわけている	87
その他	14



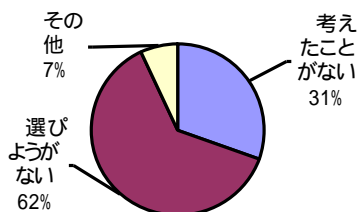
さすがに、トレイに入っているものを選ぶようにしている人は4人と少なく、圧倒的に、物によって使いわけている人が多い。

7. a その他としては以下のようなものがあった。

- ・意識することはあるが、常にそうしているわけではない。
- ・トレイに入っていないものを見つけるのは非常に困難である。
- ・回収するスーパーへトレイを持っていく。
- ・トレイは回収箱に返すようにしている。
- ・トレイのものが多くて選べない。
- ・内容で買う。
- ・イヤだな - と思うけれど全てが入っている物ばかりなので悔しいけれど仕方ない。
- ・選ぶにも選ぶようがないほどトレイ商品が多い。
- ・一人暮らしに必要な物を買う。そうするとトレイのある物を買わざるを得なくなる。買いたい物にトレイ無しとトレイ有りがあれば無しを選ぶ。
- ・だいたい商品が入っているの、スーパーで買い物をするようにしている。肉は肉屋、魚は魚屋、という風に今近くに商店街があるので実行できます。
- ・ほとんどの物がトレイに入ってどの店も売られているが同じ物でトレイに入っていない物があればそちらを選ぶようにしている。
- ・必要なものならトレイに入っているでも仕方なく買う選べようがない。
- ・資源の無駄使いだ。
- ・何でもトレイに入っている。
- ・価格による。
- ・使ってない方がよいが、商品そのものの品質重視で買っているの、トレイの有無で買い物を選んでいない。

「b.意識しない」と答えた人の理由。

	人数
考えたことがない	38
ほとんどの商品に利用されているので選べようがない	79
その他	0



選べようがないというのが多い。また、その他の意見の中の「トレイを考えていたらきりがない」とい意見に代表されるように、消費者の努力

だけでは、思うようにならない現実が伺える。

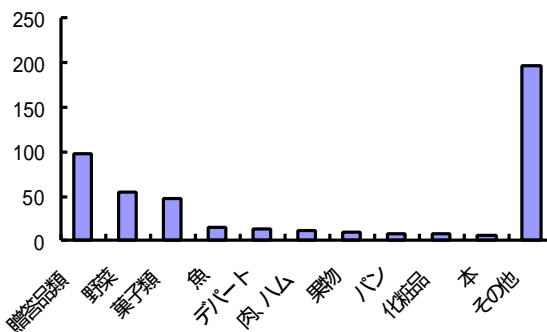
7. b その他としては以下のようなものがあった

- ・自分の意識が不足
- ・かんがえている
- ・考えた時期もあったが、最近ほとんど使用されているのでいつのまにか買っていた。
- ・トレイを使用しているか否かと言うよりその商品を見て選ぶ
- ・トレイは欲しい商品と関係ない。たまたま欲しい商品がトレイに入っただけのこと。購入する商品の善し悪しで選ぶので、トレイのあるなしで商品を選んでいない。
- ・個人商店で買うことが多いのでほとんどトレイは使われていない。
- ・トレイを考えていたらきりがなく、回収するようにしたら別に問題ないと思う。
- ・生協でほとんど買い物をしている。
- ・トレイの有無よりも商品の内容で買い物をするため。

8. あなたが過剰包装の商品だと思うものを、そう思った理由も添えて、上げて下さい。(5つ以内)

最も多かったのは贈答品等の包装、続いて野菜、お菓子、この上位3種で、全体の半数を占める。(総数 392)

商品種類	人数
贈答品類	97
野菜類	51
菓子類	48
魚類	15
デパートの衣類、食品の包装	14
肉、ハム類	11
果物	10
パン	8
化粧品	7
本	6
その他	196



「贈答品が過剰包装である」と答えた人の理由の代表的なもの

- ・タオル1枚に箱・ビニールなど多すぎる。
- ・中味を出した後のゴミのかさにびっくり。
- ・もらった瞬間からゴミになる。
- ・中味に対して入れ物が立派すぎる。
- ・上げ底、見栄えよくしようとしてもゴミが増えて困る。
- ・個々の包装に中仕切・外箱・のし・包装紙・紙袋。
- ・総じてギフト用のものは手間のかけすぎだと思う。
- ・開けてみれば解るでしょう。
- ・使ってある木箱、捨てる時かさばって困る。

野菜類が過剰包装である」と答えた人の理由の代表的なもの

- ・トレイに乗ったきゅうり、とうもろこし等。
- ・トマト・キュウリ・ナスなどバラバラでかまわない。
- ・トレイが必要ない物まで使われている。
- ・キュウリにラップ 取りにくいし、ラップしなくてもいい物だから。
- ・野菜はばら売りかラップで十分。
- ・直接手に取ってみる方がよい。
- ・いたみにくい野菜 2~3本にパッケージがついている。
- ・トレイとラップの二重包装。
- ・切ってラップしてトレイに入れている。
- ・少量の野菜がトレイに乗せてある(袋ですむ)。

菓子類が過剰包装である理由と答えた人の代表的なもの

- ・食べ終わった後、ゴミの容積が増えている。
- ・食べるたびにゴミが出る。
- ・袋に入ってさらに中袋があり、中に入れ物まである。
- ・菓子類 個別パックの上にトレイに入っている。

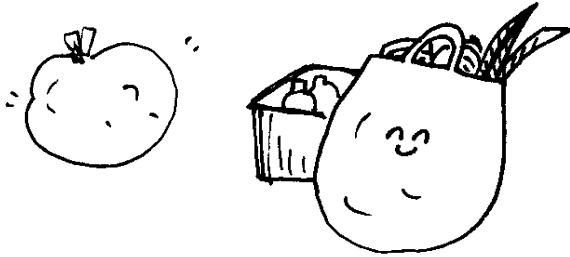
その他回答のあったもの、およびそれらの理由(抜粋)

- ・おもちゃ(中身はたいしたことないのに)。
- ・箸がラップに包んであるもの。
- ・デパートで服を買ったときの2重の包装
- ・カッターなど型紙で形を整えているもの。
- ・漬物(トレイは無意味)、牛乳やジュースの紙パック(ビンにすればよい)、ペットボトル(ビンにして再利用すればよい)
- ・シャンプーや石鹸の箱。
- ・クリーニングの針金のハンガーやビニール袋、下着類(型紙入り)、衣類(デパートで購入したとき)。
- ・イカの塩辛をビニール袋に入れて、それを2ヶずつトレイにいれている。
- ・食パン(3斤)を買ったとき、パン用の立派な箱に入れられる
- ・運動靴の箱、衣類の中に挟んである型紙。
- ・パン屋さん(個包装)、タオル等、弁当、本、コンビニの商品
- ・卵豆腐を入れるレトルト、カニ風味かまぼこ(パックされてトレイに)
- ・卵豆腐(パックされているのがトレイに)、コーヒーシュガー(個包装)、マーガリン(箱や容器)、ビール、飲料水のカン、ボトル。
- ・お土産(過剰包装)、通販(過剰過ぎる)。
- ・ファーストフードショップの持ち帰り。
- ・電池などに包装はいらない。ビニール包装も多すぎる。

- ・いくつかの家電製品の箱など。(かなり)改善されてきたが紙でいいところを発泡スチロールなど。
- ・ケンタッキ-の持ち帰りの時。各々の商品を紙で包み各セットを紙袋に入れ、大袋に入っていた。
- ・宅配ピザの箱。捨てる時かさばる。
- ・結婚式の引き出物。大きめの箱にカタログ一冊だけ。
- ・レトルト食品等。
- ・一つ一つきれいな箱に入れる必要はない。歯ブラシは1本1本頑丈に包装してある。すぐ買い換えるのだから数本まとめればよい。
- ・個数をまとめてパックにするためビニ-ルの輪っかですつないだりしている。(カンピ-ル)
- ・個体でも良い物がわざわざ液体の商品になってその容器がまたゴミとなる。(せっけんなど)
- ・過剰包装と言うより過剰サ-ビスと思う物に自動販売機があります。炎天下の中あれだけ冷たい飲み物を供給するためにはかなりのエネルギー-を使っているのでしょう。さらに容器の缶。消費者も考えなければならぬと思います。
- ・海苔、乾燥剤、刺身魚介類(多く見せるためだけのもの)。
- ・衣料品 ストッキング下着など(型紙の入っているもの必要ないと思う)。
- ・化粧品(瓶を捨てるしかなく無駄)。
- ・瓶詰めの食品(可能な限り袋物にすべき)
- ・飲み物のガラス瓶で1回使っただけで捨てられるもの。
- ・市販されている冷凍食品(例えば餃子)。
- ・仙台市の「萩の月」という菓子。
- ・クリスマス用贈り物(捨てるのが惜しいほど)。
- ・万年筆、ボールペンの入った箱、腕時計、宝石、ネックレスの入ったケース。
- ・郵便局で切手等、買ってわざわざナイロンの袋に入れる(無駄)。
- ・手巻き寿司(個別包装の上にパックしている)。
- ・商品券(包装紙の上から袋に入れている)、商品券などの木箱。
- ・カツオミニパック、味付け海苔(小袋と缶の二重になっている)。
- ・カップラーメン(家ではカップでないのを食べてほしい)。
- ・カニカマボコ(パックに入っている上に1個ずつビニールに入っている)
- ・冷凍食品(バラ冷凍でもいいのでは、凍っているのに、トレイを使わなくても良い)。
- ・そうめんの木箱10キ口入りなど(あとの処分に困る)。
- ・高級な日本酒(容器だけが大きい物もある。運送のためか?)。
- ・図書券(専用パッケージの上に包装して、のしまで付いている)。

中味は1000円なのに)。

- ・量販店で売っている文房具(ボールペンなど)1つ1つビニール袋入りでかけてある。
- ・本屋(盗難防止のためらしいが、断っても袋に入れる。)
- ・ふりかけなど、袋の中にまた小袋があるもの。
- ・カセットテープのケース。(最近はケースなしのいいのが出ている)
- ・デパートの食料品全般(ビニール袋で包み、さらにビニール袋で包み、その上それを更に、大きなビニール袋に入れるため。)



9.8とは逆に、簡易包装などあなたが感じ良く思った包装があれば上げて下さい。(抜粋)

- ・プレゼントの包装などはあったほうがいい。
- ・シャンプーなどの詰め替え商品など。
- ・プレゼントなど、中身を楽しみできる花に似ているとか。
- ・THE BODY SHOPのラッピング。
- ・詰め替え用の商品(洗剤、リンス、シャンプー等)。
- ・お中元の簡易包装。
- ・天満屋の贈答品の簡易包装。
- ・100円均一セール等で、肉魚等をバイキング形式にして、必要量だけビニール袋にとっていく方式。
- ・化粧品などの通信販売で、緩衝材にその会社の紙を小さく切ったものが使われている商品プレゼントをもらった時、見た目の美しさでよいと思うこともある。
- ・(トレイに入った)生鮮食料品(肉魚)は衛生的によく見える。
- ・お肉などを真空パックにしてあるもの。
- ・昔、肉を包装した竹の皮。
- ・あるスーパーでは、野菜は裸で売っている。(ノー包装)
- ・コンビニ・ディスカウントショップなどでは、商品を包装しないで、テープのみにしている。わざわざ袋に入れられないことが多い。
- ・デパート等でもこちらが言えば簡易包装をしてくれる。いいことだ。それを通常のこととし、特別に申し出た人だけ丁寧な包装をすればよい。
- ・新聞で包んでくれたり持参袋で買い物ができる個人のお店。
- ・裸のきゅうり さわれる。

- ・無印良品など簡素にしてあり、最初は新鮮で感じよく思われましたが、商品の値段や、また簡素にすることがファッション性のようにになっている点、何とも言えません。
- ・オルビスという会社の化粧品を使っているが環境のことを考えてありとても気持ちがよい。化粧品は簡単なポリ袋に入っているだけで詰め替え用もそろっている。シャンプー - 等も詰め替え用がある。
- ・リンゴなどパック用の箱の中に「ごろん」と入っていてレジで中味だけもらいその箱はまた店で再利用されている様子。
- ・商品を買うとレジで店のシールをその商品に貼ってそれだけで終わる物。
- ・三越から送られて来る物は比較的包装が少ないと感じています。
- ・母の日などハンカチなどの小物の贈答品は簡易なかわいい紙袋に入れてくれること。
- ・お中元の海苔やそうめんの箱にデパートの紙1枚だけつけてあって包装してないものを受け取った。(内容がすぐ分かる、ゴミが少ない)
- ・自動車は買ったとき包装していない。ワックスとは異なるコーティングが施してあるだけ。座席のビニールは余分だが高価なものの割にあっさりしている。
- ・商店街の店など対面販売の店でかごに盛った果物や、陳列台の上で生のまま並べられている魚、パックに入っていないのがよい。但し客に渡すときはやはりビニールにいれる。
- ・シャンプーなどの容器無しの商品(袋入り)
- ・中のお菓子だけ見えてシールで最低必要な事が書いてあるもの
- ・農協の朝市の野菜、町の八百屋、魚屋などの無包装の商品、時々あるキュウリやトマトの一個売り
- ・最近お中元などの簡易包装が定着してきたこと。また、包装紙など再生紙が使われているのが嬉しい。
- ・もっと再利用の品が手元に届くようにしたい。(鉛筆、ノート...)リサイクルプラザを見学して。
- ・肉の量り売り、感じよいと言うことではないが洗剤、トイレトペーパー、米などを買った時はテープを貼ってもらうだけにしてもらえ、その他2,3品の少量の買い物の時も極力袋はもらわずにすます。
- ・近所のスーパーでは新聞でくるんだり、食パンなどが入っていたと思われるビニール袋に魚などをに入れてくれた。
- ・近所のJAで週2回の野菜市があるが、その時の買い物袋は皆から集めた使用済みの袋を使っている。
- ・田舎にはないですが、都会の路地の八百屋さん。新聞紙の袋に入れてくれたり、ざるの一山をかごにあけてくれたりなつかしさと

ともにそのことの大切さを感じます。

- ・生協の冷凍食品は例えばコロケにしてもビニール袋で覆われているだけ。トマトやキュウリをバラで売り、ただ、ポリ袋に入れてくれるなど。または希望に応じてポリ袋に入れないなど。
- ・野菜を新聞紙でくるんでもらう。・子どものおやつは、テープで買ったことにしてくれるスーパー
- ・このメーカーの包装紙は小麦粉、砂糖等の業務用袋の再生紙で作られていて、封筒として再利用されるように印刷されている。
(株)叶 匠寿庵大津市大石龍門町 285番地 電話0775(46)5300
- ・生協の中元歳暮等の包装 (前もって説明してある)
- ・ディスカウントショップでは、買い物袋がないので自分でも持っていくようだが、その方がよいと思った。
- ・品物を包装として使ったり (スカ - フ、パンダナなど) 無駄がないと思う。見栄えも良い。
- ・西区にはふれあい市場というのがあるんですがそこは買った物を仕入れの時に使ったダンボールを利用していいんです。
- ・ミカンなどビニール袋に入っているもの。
- ・デパートからの帯だけの包装、その店のシールを貼ると良いと思います。
- ・アゴの焼き魚 ~ 荒縄にはさんであった。
- ・ポテトチップス (新聞紙に包んでくれた時)、むすびを竹の皮で包んでくれた時。
- ・東京のデパートから贈られてくるお中元・お歳暮はとても簡単な包装にしてある。
- ・海外通販で、Gamet Hill の包装が感じよかった。再生紙に草花を散らしたボックスで、あと金色のゴムで閉じる形になってい

た。

- ・野菜などのかご盛り、魚の対面販売などが、直接目で確かめられるものに安心感があります。
- ・スーパーでの野菜のばら売りとか。箱にたくさん盛ってあって、好きな量だけ取っていく方法。
- ・生協商品は、トレイの廃止や卵パックのリサイクルなど、力を入れている。
- ・お中元などのビールの包装
- ・肉屋とかで買う肉とか、その場で色々な種類を同時に入れてくれる。
- ・スーパーの野菜売場の量り売り。自分の必要な量だけ、選んで買うことができるから。
- ・神戸ではコープこうべが買い物袋の持参運動 (持参しない場合は 1枚5円) をやっているためか、ローソンやヤマザキデイリーマート等のコンビニでも袋を持参している時、袋に入れますかと聞かれ、「いいえ」と言って、自分の袋を見せると「ありがとうございます」と言って商品を渡してくれる。
- ・贈り物で、箱の上に包装が気持ち程度のっかっているもの。
- ・簡易包装といえるかどうか分かりませんが、衣類の「ユニクロ」紙袋でそれも店名など全く何も書かれていない無地なので、いろんな用途に使えて便利です。
- ・互いの了解があればシールを貼るだけですませられるとき。
- ・厚あげを自分で必要分のみナイロン袋にとって買う。ざるに入れて売っているフルーツやキュウリなど。
- ・デパートで買い物をした時、簡易包装でもよろしいでしょうか。」と聞かれた。家で使用するの、ゴミも増えずに助かる。

10. 自由にお書きください

たくさんの方に記入をしていただき、膨大な量になりました。できるだけ原文に忠実にしたつもりですが、多少の訂正をしています、ご了承ください。なお読みやすくするために、いくつかの項目に分けています。

10.1 できることからやっという、もっとわれわれが努力すべきである

- ・包装しないのが一番である。やはり、ゴミを出さないようにするのが一番である。
- ・こういうのがいけないという人たちが集まって、紙コップを使って話をしているのを見たことがある。不思議なことである。
- ・学校の授業や保護者の懇談会などで、もっと啓発すべきである。ダイオキシンの問題はあまり知られていないので、知ることからはじめなければいけないと思う。
- ・ゴミ問題、リサイクル問題が、取り上げて取り組むべき課題ではなく、一人一人のモラルで解決できるような世の中になったらと思う。
- ・ごみなどは自分が出したものは責任を持って回収すべき。
- ・リサイクルは必要だが、その前にいらぬものを購入しないのがよい。
- ・自分を含め、資源と公害などの環境を守ることをもっと意識し努力していかなければならない。まずは、自分に何ができるのか?、買い物袋をもらわない、分別収集、ゴミを自ら拾う、ポイ捨てなどしている人に「ダメ」という・・・などをしていきたい。また行政として分別収

集や包装などの指導をしていくことを望む。生活と一致した教育も必要であると思う。そしてこれらが実現するために運動をおこし、市民レベルから企業、行政を変えていき、推し進めていかなければいけない。

- ・家庭ではできるだけゴミを買わないように努めているが、それだけでよいのかもどかしさを感じる。
- ・今とても大切な問題だと思い、興味を持っている。まず自分の家庭できっちりとゴミの分別からはじめようと思っている。
- ・なかなかリサイクル品としておいておけず、つい焼却してしまっています。今問題となっているダイオキシンなどもよく考えながら分別していくことを心がけなければならぬと思いました。少しでもゴミを少なくしていけば、生活への影響はかなり違ってくると思います。
- ・食事を家で作っても、手軽な弁当を買っても、すぐに不燃物のゴミがたまる。リサイクルというよりもまわりを片付けていく発想になりやすい。時々無公害のナイロンだとかいう商品もあるが、新製品を作っていくだけでなく再利用でき、品物の中にお金が含まれていてもしかたがないと思う、売る側と買う側がいっしょに取り組みたい。
- ・先日、お盆で里帰りした義姉は(広島市在住)、スイカをゴミ収集の前日にしか購入しないこと、スイカの残りは十分に水分を手で絞った後、牛乳パックに細かく切って入れて始末をすると、話していた。何も考えず食べたいときに食べ、ポンポン捨てていた自分を反省した。
- ・ナイロン袋を使用していると、その利便性が当然となり、必要な意識になってしまう。利便性を考えると無駄を伴う。
- ・ゴミの処理に対してコストがかかる物だということを一般市民が理解していくことが必要。
- ・自分の身の回り、家さききれいに片づけばという感じでゴミを無意識に出していた何年前(はずかしいけれど知らないことは恐ろしい)ゴミ問題の大変さがクローズアップされ、これは大変と少しずつ自分の出来ることから意識して暮らすようになった。生ゴミは出来るだけ土に返す、残し物を減らす(残飯)落ち葉、枯れ葉は腐葉土づくりに利用したり、時々には燃やしたり、(年2~3回)但し、最近では煙公害も気になり出した。一人一人が本気にゴミを減らす努力をしないといまに日本列島はゴミにうまる、そんな危機感さえ感じるこの頃だ。リサイクルできる商品をしっかり知って利用したい。広島市西部リサイクルプラザの作業の様子など見学させてもらい強く感じたのは、ゴミはとにかく少なくするというか、「ゴミを作り出さない」ことの大切さでした。消費者がゴミをものと一緒には買わない姿勢をとり、企業にゴミをつけて物を売らないようにしてもらわなければ、リサイクル法ではゴミ減量は実現しないと思います。リサイクルできるからよいのではなく、一番地球を守るのは、ゴミを作らない(エネルギー・物を大量に消費しないこと)事を、多くの人が意識して行って欲しいと思います。
- ・たとえば豆腐一つを取り上げても、一つ一つパックに入っておれば清潔ですし、遠くに持ち帰ることが出来るので、パック詰めは必要だと思うが、これを肯定すればゴミがでるし悩ましい問題だと思う。近所の八百屋さんへ行くときは、スーパーでもらったビニール袋を再利用している。
- ・子供服、身の回りのまだ使える物を身近な人へとリサイクルさせていくこと、あまり物を買わない、増やさない様にする、ある物で工夫していくことをとりあえず自分の出来ることとして努力しています。生ゴミは、土の中に(エコロ-ス使用)戻していますが最近ではビニールゴミの多さを感じています。
- ・日本の行政は欧米に比べて環境に対する意識が薄いと思う。自治体や個人に任せていたのではいけないと思う。「自分さえよければ」という人が多いのだから、環境の事を考えざるをえない状態にすべきだと思う。企業に対してもゴミを出さない、容器の回収義務等規制して行くべきだと思う。
- ・消費者がもっと賢くならなければならないと思う。ペットボトルなどはリサイクルすると言うよりも買わない、売らないという方法が良いとは思いますが意識が低いほう(自分も含めて)多いので少数派はしんどくなる時がある。少しずつみんなの意識を高めていく事が必要だと思う。
- ・何年も前から問題になっているゴミ、それに対する消費者の気持ちがどのくらい変わっているか自分自身も出来ること(トレイのリサイクル、ゴミの少量化等)はしているつもりだがそれでもまだまだ無駄の多い生活をしているのも実感している。以前、皆さんと見学したゴミ処理場のことはしっかりと印象に残りいつまでも頭から離れない。子ども達にも、また大人にも実感できる機会があると良い。
- ・ゴミを減らすこと、分別すること、出来るだけリサイクル出来るようにすること、排水のことなど個人レベルですが気にしながら暮らしてきたように思います。そんな中で子ども達が我が家を築立ち自炊生活を始めたアパ-トにしてみると私がしていた事に似ていることをしていたので少しうれしく思いました。それにしても毎日出るゴミのなんと多いこと。しかもそのほとんどがナイロン、ビニール、プラスチックなどそのまま地球のゴミになる物です。この度講演を聴き社会の仕組みにもきちんと目を向けること、消費者として企業を育てること、処理の前に「入り口で拒否すること」等に気づかされました。明日からはまず第一歩として買い物袋を持参しようと思っています。また教室でも子ども達と一緒に「生命を守る」視点で考えていこうと思っています。

- ・出来るだけゴミを出さないよう心がけていますが住宅事情もあり生ゴミをたい肥にまで出来ません。自分の出来ることからやっけていきたいと思います。
- ・物を大切にすること、余分に買わないこと、電気、水などの使い方について家庭でもっと私自身が励む事で子どもに伝えてゆかなければと思う。
- ・ゴミの回収車には出来るだけ出さないで自分で始末する。缶ジュースやペットボトルは出来るだけ購入しない。
最近、スーパーのレジでは有無を言わず買い物袋をかごに入れてきます。やはりレジにて要、不要の問いをしてもらえれば、潜在的に袋は必要のないと考えている人にとってよいのではないかと。
- 最終ゴミ処理場をどこにするのかということで田舎の人ほど迷惑をする！
- ・1人1人が身の回りを意識して生活することが当たり前になればいいですね。家族という小さな社会が最善を尽くしたとしても大きな社会に残っている問題が大きいですね。皆の意識を高める為にもこう言ったアンケートは役立つと思います。私自身も意識を高めて、家族と自然を守りたいです。
- ・身近な事からリサイクルして行こうと思っているがなかなか実行できていない。ついつい便利な方へと流れたり、ぼいと捨ててしまったりするのでもったいないと思うのだが・・・。牛乳パックのリサイクルは子どもの協力を得て実行している。買い物袋がただでもらえるので、つい前のを持っていかず、家にたまっている。時々、捨てて整理している。牛乳パックを切らずにリサイクルできればよい。
- ・牛乳パック、プリンカップ、トレイ等、子どもの工作用菓子作りの容器となるべくリサイクルしているつもりです。
- ・どんなに牛乳パックやトレイを洗ってリサイクルするのはこの中に入れていても純パルプのトイレトペ - パ - が安売りとそれを買っている人を見かけると残念。少々割高になってもリサイクル商品を購入、使用しないと運動が根付かないと思う。エコおばさんは女子高生から一番嫌われるんだそうです。
- ・地球の温暖化については、様々なゴミを再利用する必要があると思います。
- ・少しでも使えなくなるとすぐに捨ててしまう物が多いと思う。高度経済社会の中にいる私たちだから "すぐ買える" という甘い考えが多いのではないかと。空き缶、空き瓶、再利用できるものがあるのだからもっと有効に使うべきだと思う。資源は無限ではない。"有限" という考えを持ってもっとこれから先大切にしていける必要があると必然的に考えられるのではないかと。
- ・リサイクルは地球の汚染などを少なくするのでどんどんやっけて行くべきだと思う。牛乳パックなども集めると結構な量になるのでそれを再利用すれば、もっと良くなると思います。
- ・9に書いたお店のようにして行くだけでもゴミは減らせると思うし、パックじゃなくてビン類でもいいと思う。ただビンだと水が大量に必要だからそれはそれで環境上問題あり。今の自分も大切だけれど明日の自分のことを考えてやっけていったらいいのに。もっとパックなどを回収してリサイクルできるように、集める場所を多くしてほしいと思う。
- ・エソールで社会にやさしい環境システム作りを学んでいます。今年のテーマはゴミ、リサイクルです。特に捨てるゴミに関心があります。最近スーパーなどでトレー牛乳パックの回収がどの店でも行われているので必ず捨てるのではなく洗って持っていくように心がけている。小さな試みだがトレーゴミは少なくなったように思う。ゴミは団地住まいのため土に返すことも出来ないと思っていたが水分を充分切るだけでも全然違うと気づかされ今、始めたばかりですが水分を充分に切ってから出すことにした。(1日 100gゴミ減量を目指して・・・) 私たちの出来ることから気づいたことからしていくことが大切だと思う。
- ・思いついたことを書いてしまいましたが、世の中が豊かに便利な生活をすればする程、ゴミ、環境問題は切っても切っても切り離せない事です。私のような一市民がほんと出来ることから実行することで少しでも良くなることを願います。
- ・ゴミ問題は今後、地球規模で考えていかなければならない問題である。"自分だけはいい"と思わないで出来ることから一人一人がしていけばよいと思う。
- ・瓶の蓋まで分別する根性でゴミに取り組んでいる。散歩の時ビニ - ルもって歩き空き缶集めしている。公共意識を夫や子どもにも伝達すべきだと思う。
- ・まず、私たちが心掛けなければならないのはきちんとした分別となるべく出さないこと。出さなくするためにはなるべく買わない持たない必要なものだけを。食品は食べることだと思います。洗剤等も用途別にたくさんの種類が売り出されているけれど必要な物だけを選ぶ目を養わなければならないと思います。
- ・生協でゴミ問題について市の方のお話を聞きました。その時オランダにいた方が日本のゴミ事情は中途半端ではないかといわれていました。ペットボトルを回収するようにゴミ箱を置いたりして消費者も動くべきではないかともいわれていました。またビニ - ル袋について

は市政、ス・パ・などゴミが増えるので自分で持っていくことをもっと出して良いと思う。

- ・生ゴミの捨て方・出来る人と出来ない人がいますが生ゴミに関わらず再利用できる物はどんどんすべきだ。
- ・包装を簡素化すべきである(むしろ各々が買い物袋を持参する)
- ・ゴミにうもれてしまうくらいゴミを毎日引き出しているが、早く取り組まなければ大変なことになると思う。処理のために相当な費用もかかるし、環境汚染も大変なことだ。リサイクルなどして早く取り組まなければ資源もなくなるばかりである。何とか一人一人だけできることを少しでもやっていきたい。
- ・ゴミの分別収集により資源ゴミとして生かして欲しい。リサイクル商品、即ち再生品を消費者が積極的に使用しないとリサイクルにつながらないと思う。店頭回収された牛乳パックやトレーの行方をチェックする必要があると思う。店頭回収に金がかかるとも聞きます。また再生品は値段が高くつくとも聞かれます。資源の少ない我が国ではリサイクル運動を進めていかなければいけないと思う。
- ・他の団体と連携して運動を進めることもとても大事だと思う。
- ・大型ゴミの日など、まだ使えそうなものがたくさん出ますが、もっとものを大切にしたいものです。また電化製品は修理、部品交換で使えるようにしていただきたいものです。(メーカーに希望、廉価であればなおよい)
- ・あきらめず、努力する必要があると思います。

10. 行政 企業もっとがんばれ

- ・広島市においては、ごみ戦争なるものが過去にあり、収集焼却が行政から民間に移っている。行政レベルの指導では限界である。本人の努力もさることながら、業者、生産者側もゴミになる包装を極力減らす努力をすること、ゴミの収集とリサイクルを行政といっしょに進めていかなければ進まない。たとえば分別収集するもの、リサイクルできるものを知らない市民もいるし(ゴミとしてしか扱えない場合もある)、もっともっと行政責任として広報でアピールしたり、リサイクルセンターを設立したりしていくべきだ。自分自身もまずは自分のゴミを減少できるようにしたいし、再利用したい。ペットボトルのリサイクルをする店がたくさんあればよい。
- ・すべてのスーパーでトレイや牛乳パックの回収をしてほしい。・デポジット制をぜひ、全国に定着させたい。
- ・ドイツのように製造者に責任を負わせる制度。そして製造業がリサイクルをする制度が必要であるし、ゴミ処理は有料化すべきであると思う。人に迷惑をかけるということで法律の中でも制度化していく必要がある(社会問題として様々な角度から考えていきたいものです)。現在家庭科の中でドイツの実践例をもとに日本のゴミの問題の実情について考えています。私も徹底した指導の必要性を感じます。リサイクルなどは回収する企業の責任にし、私たちも分別し、国の責任において続けてほしい。
- ・市町村単位での意識の差が大きい、特に家庭でいくら分別しても回収時にはまとめてになるので意味が薄い。
- ・行政の設備(その前に意識)が遅れている広島市もそうだが、ゴミ埋立地がパンク寸前です。果たしてどう解決していくのか？
- ・処分・リサイクルは事業者の責任において行うべきである。地方自治体が税金で処理することは限界である。その財源を福祉(特に児童・少年対策)に使うべきである。
- ・主婦としてゴミの出し方、買い物袋を持参することなど努力はしていますが、いま願うことは企業のあり方です。スーパーなどリサイクルについて積極的な店に行くようにしていますが、トイレットペーパーやティッシュの再生紙を利用した製品がなかなか見つかりません。問題は生産している企業です。ペットボトルが溢れ修理しにくい物を作り、どうなっていくんでしょうか。デポジット制度は早く実現してほしい。市役所にゴミの質問で電話した友人は「市民から電話じゃ、市民から」というやりとりでびっくり。知識もなく、役所のゴミに関する人でさえそうなのですから、もっと、行政の方も勉強していくべきだと思います。
- ・ゴミは減らすように皆が協力すべきと思う。特に業者(食品など出しているところ)の意識を高めてほしいと思う。それを役所がしっかり後押ししてもらいたいと思う。
- ・コスト問題がすぐにあげられてリサイクルなどよく役にされてしまうのが悲しいです。就職難の折から手間をかける時間もゆっくり流れる社会になればよいと思います。
- ・商品の製造時からゴミにならないシステムが必要なのに現在取り組んでいるのはゴミとして出された物をどうするかという方向に片寄りすぎている。社会システム全体を変えるのは困難だが一つのきっかけとしてリサイクルは評価しています。
- ・この問題については国民全員が何らかの負担を行うことでのみ解決されるものと思っている。多少の不便、金銭的な負担は当然のこととして行うとのいしを何らかの形で表明し、その行動を示さない国、製造メ・カ・などが十分に機能しない。また、今理想としているリサイクルは軌道に乗らないと思う。

- ・食品トレイの使用は多すぎるように思う。しかしメーカーがリサイクルに取り組んでいるので容認できるかなと思っている。調味料、酒類は1Lびんが使われると良いと思う。2Lでは重すぎるので扱いにくい。ポリ製容器からの溶出の恐れもあるため。デポジット制度を法制化しリサイクル瓶を使って欲しい。PETボトルや缶入り飲料が日本では異常に多いと思う。製造メーカーの責任を果たさせたいと思う。
- ・リサイクルをしてもペイできないので回収してもらえないことがある。経済的にはデメリットをある程度考慮しながらリサイクルを進める方策が必要
- ・リサイクル商品が店頭（とくにコンビニ）あまり並んでいないと思う。リサイクルされた商品を買って初めてリサイクルが完結すると思うので、コンビニにリサイクルコーナーでも作って欲しい。コンビニの数は多いので全部のコンビニがコーナーを持てば（このときコーナーに素敵な名称を付けるアースプロテクトコーナーとか、若い人向けにする）意識改革になるのではないかと。トレイや牛乳パックを集めてスーパーのリサイクルボックスに持って行ってはリサイクルされた製品を買えないような気がする。
- ・ゴミについて、出す側はもちろん再生できるものなど分別して出し、出すゴミが少なくなるよう簡易包装のものを選んだりしなければいけないと思う。しかし売る側の方がリサイクルしやすい容器に統一すると、簡易包装に変えて行くしかないとなかなか減らせないと思う。
- ・今パッケージされていない商品は、野菜、魚などを除いてはないと思います。せめてスーパーの商品の50パーセントぐらいまでノーパッケージまたは簡素化するべきだと思います。
- ・ペットボトルの回収は、会社に義務づけるべきだと思う。
- ・ゴミ回収は有料にすべき、その上で不法投棄は厳罰に処す。ゴミ減量につとめている人にそれなりのメリットを感じるようにすべき。（今はその人達の意識の高さに甘えているだけ）生ゴミをたい肥化するための酵母購入には行政はゴミ減量となるのであるから補助をすべき。
- ・ゴミにシールを貼りある枚数までは無料にし越えたものは有料にして減量を心がける人とそうでない人を区別し、不法投棄者は取り締まってもらいたい。（守らないものはそうでもしないと環境はよくなる。手遅れになる。）
- ・粗大ゴミの中には、そのままでも使用可能なものがたくさんある。（勉強机）、破碎施設の近くに保管場があり、そこへ行けば無料か、格安で手にはいるようにすればゴミも少なく資源も特になる。一定期間を過ぎても必要とされないときは処分。
- ・買い物袋も有料にすべき。ゴミの中に紙類が多い。それを資源ゴミ回収に回すだけでも随分減量になるが、それが本当に有効に使われているのか実際のところが知りたい。
- ・再生紙などリサイクル品をそうでないものより安くするべき。・デポジット制を取り入れる。
- ・新聞、段ボールなどの回収を市が補助してでもすすめていくべきだと思う。
- ・ゴミを有料化にすべきである。（あまりにも認識が深まらないので）
- ・まだまだ各々が自覚して「自然環境を考える」「リサイクルを考える」というところまで行かないため牛乳パック、卵、食品トレイ等のポイントでリサイクルを促すのがやっとというところだと思う。やはり私は企業（生産者）側がもっとこの件については考えなければ改善は難しいと思う。
- ・出来る限りピンにすべきである（それを繰り返し利用する）
- ・会社などでの色々なコピー用紙の無駄が多いと聞いた。リサイクルができるが、高額ということなので考えていった方がいいのでは。学校でもパソコンなど、備品でみんな同じ物を使い、送信が出来るように個人ごとであれば、紙は使わずに済む。とても無理だが、売らんかなの企業中心主義ではだめですし、私たち消費者も「安いから」「見栄えがいいから」ではだめだと思います。企業は勿論ですが、私たちが環境のための必要なコストは払うべきだと思います。
- ・ス・パ・などでトレイに入れた食品が多いので何とかならないかと思う。昔は買い物かごを持って行って、とうふなどはボ・ルを持って行ってかっていたと思う。今は衛生上の問題や人件費節減で無理なのかなと思う。瓶とか缶は新聞雑誌は資源ゴミの日には捨てるよう習慣づいたが、はじめの頃は面倒に思っていた。

10.3もっと情報を！

- ・リサイクルとか取りに来るならという人もいると思うが「いつ」「どこで」という情報が少ない。
- ・ゴミの処理に使うお金はとてももったいない！！、そのお金があれば何が出来るか・・・？ ・ゴミ処理は行政も含めて大きな問題だと思う、

リサイクルに金を使えない国民ではないかと思うのですが・・・。リサイクルといっても、したくても、例えば、トレイ回収を全ての店でしているわけではないし、せめてどこでそういったことをしているのか、わかると良い。でなければ、どこへ持っていけばいいのかわからず、困ってゴミに出すだけだ。

- ・学校でもっと教えて欲しい。みんなそれぞれ関心があるのだから、もっと情報がほしい。
- ・ダイオキシンなど、マスコミでもっと取り上げるべきである。
- ・地球の温暖化とかTV等でいろいろやっているのを見ると、もっと環境問題に私たちは取り組むべきだと思うが、知らないことも多い。学習する機会が多いといいと思う。
- ・ゴミ処理について迷ったり、困ったりしたとき市の環境施策課に電話で尋ねると、いつも親切にアドバイスを下さるので、とても助かっています。
- ・燃えるゴミ、燃えないゴミの区別が判らない物があるので困る。例えば冷凍食品を包んでいる袋とか、冷凍食品のトレイなど。
- ・ゴミを出さないような教育をしていかなければとつくづく思う。
- ・身近な地域に資源ゴミ収集場があり(公民館や学校)住民は清潔にして搬入し協力する地域に何らかの利益を出す。(選択)その状況を広報等で知らせる。意識を高める教育を学校だけに任せるのではなくテレビ等も1日1回お休み前の戸締まり、火の用心のように流し続けてもらいたい。
- ・区役所で毎年、配られるゴミの日の説明の紙はいつも思うが非常にわかりにくい。このゴミは何?と思うことがいつもある。もっと具体的に欲しい。
- ・さてどこまでが過剰包装なのでしょうか?考えたことがないのでわからない。

10.4 難しい問題である!

- ・ペットボトルの処理についてはよい方法を考えていかなければならないと思う。
- ・リサイクル法、廃掃法の制定・改定の動きもあるが、中身や各自治体の取り組み姿勢が見えない。ダイオキシンと一言で云うが、分類であり、毒性物質は多岐にわたると聞いている。毒性を含め原子力同様の見方が求められると考ええる。
- ・ごみ問題は出す出さないもあるが、排出(家庭)、運搬(収集)、処理(焼却等)の現状について把握が十分にできないと、当面の取り組み、長期的な取り組みが分類できず、前進しない。
- ・何でもプラスチックでできていて、ゴミを出すときため息が出る。燃やすと汚染の原因になるのでできるだけ使いたくはないが、買い物にいけば、全部プラスチック製品である。
- ・リサイクル法ができてプラスチックのリサイクル記号が表記してあっても、リサイクルできないだろう。
- ・リサイクルのメリットが少ない、たとえば、リサイクル商品が少ない。
- ・ゴミ箱(もう再生できない物の捨て場)に対して再生箱(いわゆるリサイクルボックス)が少ない。生ゴミも、プラスチックも、何もかもゴミになっているが必要でなくなったとは限らない。まだまだゴミが生きる道は残って(肥料、そのまま再利用、溶かして再利用など)ということ・・・世の中にゴミ箱がいったい全体必要なのだろうか?と考えてしまうのである。ゴミ箱の必要性という視点で環境問題を見れば、おもしろいのでは?以上素人の私見でした。
- ・拝金主義的な風潮が諸悪の根元だと思います。便利さや快適さ或いは短絡的な快樂はお金で簡単に手に入ります。お金を得るため忙しく働いたり心の中のゆとりを失ったりしていますが、そうして失ったモノの穴埋めのためにまたお金を使う—そういったライフスタイルはたくさんのゴミを生み出しその時さえよければという風な行き当たりばったりの環境負荷の大きい生活につながっていきます。本当の豊かさを実感できずにいる人達に本当の豊かさとは何かを啓発したり教育することが必要ではないでしょうか。
- ・とにかく物を買えば、ゴミがついてくるといっても言い過ぎではない。人から物を買ったりしても悪いけどあとのゴミにうんざりすることが多くある。自分が物を買ったときなるべく包装を断るようにしているがそれでも半日買い物をして帰るとたくさんのゴミがでてしまう。もっともっとゴミ問題を社会的なものとして訴えていき、社会をあげて取りくまなくてはゴミは減らせるものではないと思います。最近うちの町では燃えるゴミ(生ゴミなど)、燃えないゴミ(プラスチック等)分けて回収していたものを新しい焼却施設が?億とかけて出来上がり「はい全部一緒に出して下さい。完全に焼却します。」となりました。と同時に粗大ゴミは有料となりました。ゴミとは燃やせば済む問題なののでしょうか?
- ・一度使ったものをリサイクルするのは大切なことであると思う。ただ、リサイクルに要するエネルギーの総量も考慮しないといけないの

ではないかと考えている。例えば、ガラスの瓶を再利用しようとする場合、瓶が油などで汚れている場合は、再利用するまでのエネルギーの総量は相当なものになる。このような場合は、再利用しない方が地球にやさしいと言える。(これはたとえ話です。)

- ・いろんな所でトレー等のリサイクルがされているが全てではないのは意味のないと思う。やるならやるでいろいろ問題はあると思うがやって欲しい。スーパーが遠くだったり、すぐ行けない状態の時は困る。
- ・私の住んでいるところは田舎ですが最近ペットボトルなどのリサイクルも町で取り組み始めよいこととは思いますが、その他ほとんどの物は家で燃やして降りそれが空気になるわけで結果、害を及ぼしていると思います。ゴミ問題を徹底することは難しいと思います。

10.5分類なし

- ・新市にもゴルフ場ができ、農薬は地下水に入ると、離れるほど濃くなるそうです。
- ・プラスチックなど焼くとすごく臭いにおいがする。オゾン層を破壊するから怖い。
- ・リサイクルショップをたくさん作って欲しい。
- ・ガラス瓶、空き缶は西日本環境(協)を利用してリサイクルして欲しい。
- ・最近、リサイクルのお店、ガレージセール等よく見かけます。とても良いことだと思う。
- ・サランラップを使用することは(ナイロンゴミ)が増える



集計を終えて...

今回のアンケートから、いくつかの興味深いことが類推できる。詳しくはグラフの注釈に書いてあるが、まとめて箇条に記してみると以下のような特徴があった。

回答者の性別は圧倒的に女性が多く、この問題に関する女性の意識の高さがわかる。

袋をもらっている人は男性の方に多い。半数を超えている。

50歳前後の人が、極力もらわないようにしている。年齢が低くなるにつれて、もらっている人が多くなる傾向にある。

女性の方が、ゴミ袋に使うだけでなく、その他の有効な再利用することを考えている、女性の中に、すぐに捨てるという人はいない。

年齢が高くなるに従い、袋をゴミ袋としてだけでなく、工夫して様々な再利用をしている。また資源節約という意識も高い。

有料であれば多くの人が持参する。7割の人が、その金額は5～15円の間であると回答している。

スーパーのリサイクル運動については、大部分の人々(96%)が“大変良いことだ”と感じているようであり、回収リサイクルに対する意識は定着しているといえる。

デポジットに関しては7割以上の人が、“ぜひとも取り入れるべきである”という意見であるが、15%も“わからない”と回答しているところや、その他の記入をみても、“リサイクルすれば、それでよいのか?”という疑問の声が決して小さくはないことをあらわしている。また男性のほうが賛同する人が多い。一方懐疑的な回答は女性に多い。また20代までの層では“わからない”が目立つ。

トレイに関しては“必要でないと思う”という人は全体の20%に過ぎず、現実の生活では、食品トレイはおおむね必要なものとして認識されているようである。一方年代別に見てみると、“必要だと思う”の回答は10～20代にかけて集中している。

トレイを不必要とする人の理由は、“ゴミになる”の方が、“資源の無駄使い”よりも多い。

買うときにトレイを意識しているかどうかの問いでは、必要派と不必要派に分けてみると不必要派のほうが意識している層が多くなっている。また年代とともに意識は高くなっている。

買うときにトレイを意識しない、最大の理由は“選びようがない”というものであった。

過剰包装として、最も多かったのは贈答品等の包装、続いて野菜、お菓子、この上位3種で、全体の半数を占める。

個包装、二重包装を過剰な包装と捉えている人が多い。

その他の意見の中には、草の根からやろうとする人と、その限界を感じ、システムの構築を求める人たちの意見がある。また様々な情報や教育に対する期待も伺える。

アンケート結果から見えてくるポイント

男性の意識を高めることが、社会全体の意識を大きく変える

男女の性別の差による回答の違いから見えてくることは、この問題に対する女性の意識の高さである。多くの回答のうち、その殆どの項目について、女性の方が真剣に買物袋の持参のことを考え、ゴミ問題として問題視しているということであった。これは、つまり、社会全体の意識を高めていくためには、何よりも男性の意識を高めていくことが必要となってくることを示している。現在の男性が女性と同等の意識を持つだけで、社会全体は大きく変わるはずである。

青年層の意識を高めることが必要

それぞれのアンケートの分析で、年代別のグラフから見えてきたことは、青年層の意識の低さ、情報の乏しさ、危機感のなさであった。青年層のアンケートの数が十分ではなく、はっきりとは言えないが、男性と同様、この層の意識を高めていくことが必要であることがわかる。最近、学校などで取り上げられている環境教育は果たして効果が上がっているのか?といった内容の調査アンケートを実施すると興味深いデータが出そうである。

この問題に関する正しい情報が必要である

とも関連するが、意識を高めて、市民レベルでの運動にしていくためには、正しい情報が不可欠である。女性の30歳代以降、急激に意識が高まっていく背景には、実際に買物に行き、食事を作る...という体験から得られる確かな情報があるのであろう。一方男性や青年層にはそのような体験が乏しいのではないかと。無論、そのような体験が女性にばかり押し付けられている現在の社会の問題もあるが(ここでは触れない)...、体験の乏しい人も、また切実に情報を求めている。それはリサイクルに対するアンケートで96%の人が賛同していることからわかる。多くの人は「なにかしなくちゃいけない」と思いつつ「何をどうすればいいのか、わからない」という状況に陥っているようである。また賛同しつつも、リサイクルに対して懐疑的な少なくない。それらの指針となるものを提示できないものか。

この問題の解決には、市民・企業・行政の連携・協力が不可欠であり、制度の確立を求める声が大きいの

8, 9, 10の回答の中には、市民として行うべきこと、実践していることなどが多くあげられている、同様に行政の強力な施策を求める声も数多く上がっている。また企業の製造者としての企業責任を求める声もある。現在では、市民は、消費者として自らが環境に対して加害者になっていることを十分に認識している。それゆえ多少コストアップしようともリサイクル・デポジット制度を求める声が大きくなってきているのである。それら様々な制度の確立は、行政はもとより、企業の協力(責任)なくしては成立し得ない。企業にとって環境に配慮することは、今はマイナスであろうが、長期的に見れば、社会が本質的に成熟し豊かな時には、結果プラスに転ずるのではないだろうか。

なお、地球号では91年にも同様のアンケートを回収しているので、今回はそれと比較して、どのような変化があったのかを調査してみたいと考えている。

環境教育教材ネタいろいろ（うたあり、おどりあり、くいずあり...）

その1 今回、各方面より環境教育に関する資料を投稿していただきましたので、ここに紹介します。まずは、広島地球ウォッチングクラブ事務局 環境サポーター松本誠一 さんからの資料です。松本さんありがとうございました。



はじめに
私たちが毎日なにげなくいろんなものを使っています。このものについてみなさんは何か考えたり思ったりしたことはありますか？この“もの”についてこれから学んでいきましょう。

私たちが使っているこのものは、ほとんど使いおわったり、用がなくなったりするとすててしまいます。これらの『もの』はこれから先、どこへいくのでしょうか！？みなさんはどうしていますか。ものといってもいろいろなものがありますよね。かたいもの、やわらかいもの、いたいのもの、こわれやすいもの、冷たいものなどあります。

このあとや、いろいろな人たちによって集められたり、分けられたりして、新しいものになったり、使えないものはうめ立てられたりされています。このほかにも、ものはすべて集められているのでしょうか。ひごろ道を歩いていて、ふと見かけたことはありませんか？どこにありますか。もともどこにあったのでしょうか？どうしてここにあるのでしょうか？これらのあちらこちらで見られる『もの』について考えていきましょう。分からないことやどうしても思ったら自分でしらべてみるといろいろと分かってきます。

広島市環境局環境企画課
—広島地球ウォッチングクラブ事務局—
環境サポーター 松本誠一

1.ごみのしゅらい

- 燃やせるゴミ ...燃やされる(焼却)
- 燃やせないゴミ ...埋立
- 資源ゴミ ...生まれ変わる=再生
- 大型ゴミ ...こなごなにこわす=破砕
- 有害ゴミ ...保管後無害化処分

2.ごみについて

焼却 } → これらの「場所」がない

埋立 }
ゴミをそのまま捨てるのではなく

ゴミがあちこちにちからないように

まちをきれいにするために

ごみをへらすために私ができることは

『ごみ』について学んでどうでしたか。

今日学んだことをこれからの生活のなかで、自分のできることからはじめてみよう！私たちの国は“資源”が少なく外国から買っています。一度、使いそのまま捨ててしまうとまた買わなければなりません。捨てる場所もかぎりがあります。年々その場所が少なくなりいろいろな問題がおこっています。どうすればいいのでしょうか？

『ごみ』といってもいろいろありましたね。ごみでもその人によって考え方や使い方がことなります。あなたはどうですか？スーパーやデパート、電器店などにはいろいろなものがあります。これらの『もの=商品』はどのようにしてここまでたどりついたのでしょうか。自分でしらべてみると新しいことやおどろくことが出てくると思います。

これだけは覚えておこう

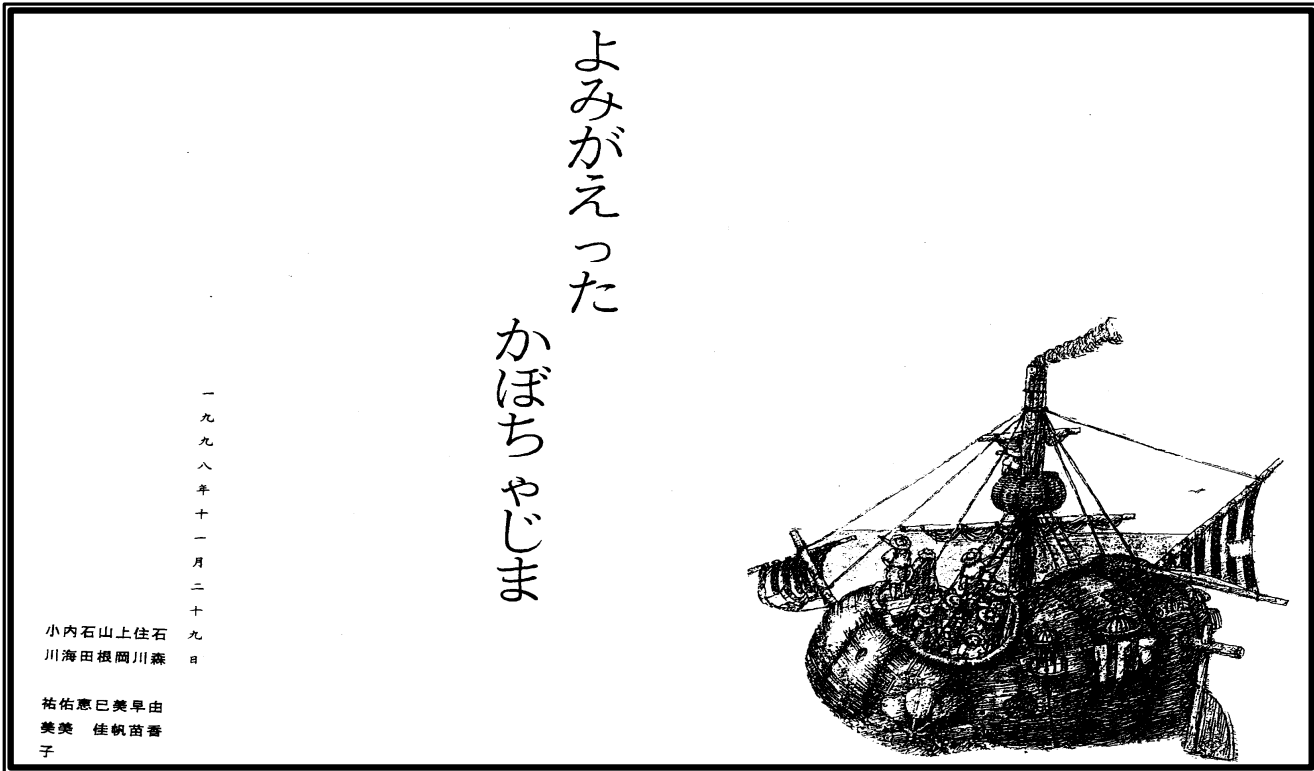
ごみは一度捨ててしまってもう必要ではなくなりますが、それがたくさん集まると再び別な「もの=商品=資源」になります。

その2 ここに紹介する「よみがえった かぼちゃじま」及び「かぼちゃ島物語」はいずれも「かぼちゃ人類学入門」(川原田徹/作・福音館書店発行)という絵本をもとに作られたものです。

よみがえった、かぼちゃじま

劇の台本より

小学校で先生をされている、添田紀恵さんから、学校行事で作成されたオリジナル劇の台本を写真、感想とともに投稿していただきました。



よみがえった

かぼちゃじま

一九九八年十一月二十九日

小内石山上住石
川海田根岡川森

祐佑恵巳美早由
美美 佳帆苗香
子

よみがえった かぼちゃじま

1 ばめん こんにちはですよ

(ナ 1) 大きな、大きなかぼちゃがありました。
あとおと、みずみずしいかぼちゃだったので、やがてかぼちゃの
なかに、いのちが、めばえました。

(ナ 2) かぼちゃじまの人たちは、かぼちゃのなかにすんで、かぼちゃをた
べてくらしていました。
しまは、たいへんにぎやかになっていきました。

(ナ 1) しまは、いきています。かぼちゃじまは、たべられます。
しまの人たちは、かぼちゃじまをたべていきているのです。

(ナ 2) かぼちゃのみは、とてもおいしく、えいようがあるんです。

(子 1) ここは、かぼちゃじまです。わたしは、かぼちゃじまの
です。かぼちゃじまつて、とつてもたのしいよ。

(子 2) わたし、どうぶつも大すぎ ○○です。

(子 3) わたし、お花も大すぎ ○○です。

(子 4) わたし、かぞくも大すぎ ○○です。

(子 5) わたし、本大すぎ ○○です。

(子 1) かぼちゃ山には、つかれがとれるいいおんせんがあつていいねえ。

(子 2) そうそう、みんなが入るとよりいっそうつかれがとれたみたいって
おかあさんがいつていたよ。

(子 3) おいしいかぼちゃにくでできたケーキも、いっばいたべれて、しあ
わせだよ。

(子 4) しあわせをひきだせるこうふくそうごうぎんこうもあるよ。

(子 5) せかいじゅうから、たくさんふねがやってきて、たくさんかぼちゃ
酒をかってかえるから、おおもうけしたつて、おとうさんがいつて

(子 1) まちには、めずらしいものがあるからいいねえ。

(子 2) ゆうえんちやレジヤランドもたくさんあつて いっばいあそべる
から しあわせ

(子 3) おいしいパンキンスープも、たくさんあるよ。

(子 4) かぼちゃパイは、かぼちゃがたくさん入つていて さいこうよ。

(子 5) やきたてのかぼちゃパンは、いいかおりがして、5こもたべちゃつ

たよ。

- (子 1) かぼちゃ酒でいためたおにくが入ったかぼちゃカレーは うまいよ
- (子 2) かぼちゃのところがしは、やわらかくておいしいよ。
- (子 3) あげたてのかぼちゃのコロッケは、あたたかくて とってもおいしいよ。
- (子 4) かぼちゃじまは、おいしいたべものもたくさんあって、さいこうだね。

2ばめん おみせのようす

- (店 1) かぼちゃジュースは、いらんかねえ。いらんかねえ。おいしいよ。
- (子 1) ○○ ちゃん、なんぼかね。
- (店 1) 大は1つばい、500円で、中は、400円で、小は、250円で す。どれにしますか。
- (子 1) 大をください。
- (店 1) 500円です。
- (子 1) ああ、おいしい。おいしい。でものめないから、すてようつと。
- (店 2) (バケツにうつす) かぼちゃチップスは、いかがですかあ。いかがですかあ。
- (子 2) 1ふくろ300円です。
- (子 2) 3ふくろください。
- (店 2) 900円です。まいど ありがとうございます。
- (子 2) こんどのふれあいまつりに いく? (おかしをたべながら)
- (子 1) いくよ。○○ちゃんも さそおうね。
- (子 2) ああ、おいしかった。もうおなかいっぱいよ。もう、いらぬい。
- (子 1) のこちゃったねえ。すてようか。
- (子 2) うん。そうしよう。
- (店 3) かぼちゃポッキーも、ありますよ。かぼちゃポッキーはいかがですか。1ふくろ100円です。
- (子 3) かぼちゃポッキー5はください。
- (店 3) 5はここで、500円ですよ。(ナイロンぶくろにいれる)

- (子 3) おいしくて、あまくて しあわせ。でももういいわ。(つつみを すてながらあるく) (ナイロンぶくろをすてる)

- (店 3) かぼちゃピザは、いかがですか。1こ、1500円ですよ。
- (子 4) 5こかおう。(ナイロンぶくろにいれる)
- (店 3) 7500円ですよ。
- (子 4) おいしそう。ありがとうございます。いえにもってかえったら、おかあさんが よろこぶよ。はやく、かえろうつと。

3ばめん しにかけたかぼちやじまよみがり

- (ナ 1) このようにひとびとは、ものが、あふれるほどいっぱいあるなかで しあわせにくらしていました。
- (ナ 2) こんなせいかつが、ながくつづくはずがありません。かぼちやじまは、ほりつくされてしまいました。
- (ナ 1) そして、とうとう、かぼちやじまは しにかけてしまったのです。
- (子 1) しまのめぐみをたくさんつかって、たくさんのもをつくったけど、たたくさんのものを、つかってくらしていくのは、むりなんだなあ。
- (子 2) しまも、いきているんだな。
- (子 3) しまのめぐみも、かぎりがあるんだなあ。わかったよ。
- (子 4) これからは、しまのめぐみをたいせつにして、たのしくくらそうや
- (子 1) すごいごみやねえ。きたないねえ。みんなで ごみをひらおうか (みんな) やったあ。しまが、きれいになったね。
- (子 2) きれいになったからきもちが いいねえ。
- (子 3) うん。
- (子 4) しまのめぐみをたいせつにしようや。みんな、ひとりひとりどんなことをする? しゃいていても やらなきや。かんきょうは ぜんぜん かわらないんだよね。
- (子 1) みんな どんなことをする。
- (子 5) わたしは、紙のおもてもうらもつかうよ。新聞こうこくの紙も できるだけすてないで、おりがみにしてあそぶわ。
- (子 1) わたしは、水もだいに使うよ。歯みがきをするときも、コップに 水をいれてすると、ながしっぱなしにしてみたくより水が9リットルもむだにならないからね。

(子 2) わたしは、えんぴつを小さくなるまで大事に使う。そして小さく切ったえんぴつを、こけしにしてとっておくわ。山の木もたくさん切っていたら、たいへんなことになるのよ。

(子 3) これ、あおぞらマーケットで買ったものよ。いいでしょ。きにいつているの。

(子 4) でんきも、つかいたいだけつかっていたら、エネルギーがなくなるよね。へやをあたためるときもエネルギーをつかいすぎないようにしてきとうな温度にしようって。

(子 5) かいものについてたときのナイロンぶくろは、これからは、もらわないで、いえからマイバックをもっていこうって。

(ナ 1) あんしんしました。しまのひとたちが、かぼちゃじまのめぐみをつたえさせて、たいせつにしました。

(ナ 2) よごれてしまったかんきょうも、もとにもどるようにつけたので、やつと かぼちゃじまは、よみがえりました。

(ナ 1) かぼちゃじまのせいめいりよくと、しまの人たちのどりよくで、ふたたび あおあおと、みずみずしいしまにもどったのです。

(ナ 2) おめでどう、おめでどう。かぼちゃじまが、よみがえりました。

4ばめん はなびまつり

(ナ 1) きょうは、1ねんに1どのしまのおまつりです。

(ナ 2) しまのよみがえりをいわれます。しまのえいえんのいのちをねがうおまつりですよ。

(花火の音)

(子 1) きょうは、おまつり。たのしいな。ポテトフライかって、かきごおりをかって、わたがしや、フランクフルトもおおう。

(子 2) わたしも、おなかいっぱいたべようって。

(子 1) おまつりっていいねえ。なんだってあるんだもん。

(子 2) あ、おみこしがきたよ。

(子 4567) まつりだ、まつりだ、わっしょい わっしょいー(おみこしをかついで) (くりかえす)

(子 3) (ふえ) ビッピー。ビッピー。

(子 4567) みんな あつまれ まつりの はじまり (くりかえす)

(子 3) まつりだ、まつりだ、わっしょい わっしょい！

(子 1) たのしいね。たのしいね。

(子 2) うん。

(子 1) ねえ。自由にミルクココアをのんでもいいみたい。

(子 2) のめるだけのもう。ミルクココア1ばいのもう

(子 1) うん。おいしかったね。

(子 2) おいしい。ちようどのめるりようだったわ。むだにならなくて、よかった。これを200ミリリットル川にながすと、さかながすめるよ。うな川になるのに。ふるおけいはいのみずがいるんだもんね。

(子 4567) まつりだ、まつりだ、わっしょい わっしょいー (くりかえす)

(店) よってらっしゃい。みてらっしゃい。さあ。ポテトフライはいかがさあ。さあ。こちらへよってらっしゃい。

(子 1) 3ふくろください。ちよつとまってください。ふくろは(いれものは)もってききましたから、いりません。

(子 2) えらいねえ。ふくろもおかねがかかっているよね。わたしも、まねしようって。

(子 4567) おみこしわっしょい わっしょいーさいこうちよう (くりかえす)

(子 3) あ、〇ちゃん、ごみをちゃんともってかえるんだね。えらいね。

(子 2) そうよ。しぜんをたいせつにしなくちゃ。

(子 1) ものをたいせつにするときもちがいいよ。それに、だんだんころがきれいになっていくみたい。

(子 2) これからうまれてくるいきものも よろこぶよね。そうよね。そうよね。きつと よろこぶよね。

(ぜんいん) さいごにみんな「さあとびたとう」をうたいます。

さあ とびたとう さあ とびたとう

3 2 1 みどりのかげに ふかれながら みんなの よろこびもどめ

3 2 1 あおいそらの かなたまで みんなの しあわせのり

3 2 1 ひろいうちゅうの はてまで みんなの みらいみつめて

3 2 1 みどりのだいちには みどりのままで のこしていこう いつまでも

3 2 1 あおいちきゅうには あおいままで まもっていこう いつまでも

3 2 1 ひろいこころには ひろいままで つたえていこう いつまでも

出演者の感想より

げきをして思ったこと

かぼちゃじまのげきをして、きんちようして、わすれるかなと思ったけれど、いきおきなこえですること。ナレーターになりきることをがんばってやったから、とてもうす。

それに二年のとき、さぎそうのさく村をしていたから、あまりきんちようしませんでした。それから、げきのせりふを言うとき、大きなこえを出したのでしんどかったけど、いっめいがんばってやる事ができた。がんばってやれたから、とてもうれしかったです。

これからも、うたとか、げきとかをするときは、口を大きくあけて、はっきりいってりしてがんばります。

それにおかあさんが、マイバックをもっていったってなかったら

「ちゃんと、マイバックをもっていったほうがいいよ」

とおしえてあげます。おばあちゃんにもおしえてあげます。

「こんどからもっていきな」ってあげます。

それにナイロンぶくろもお金かかっているし、いえにぶくろがいっぱいたまるからです。

「紙もだいにじつかうと、山の木や、林の木や、森の木をきらなくてもすむんだよ」

と言ってあげます。



保護者の感想より 劇 かぼちゃ島を見て

まずバックの幕に掲げてあったかぼちゃ島は、とても色合いがよく塗りこんであり(こどもたちと一緒に作られたそうですが)とてもきれいでした。また、それぞれの場面で出てくる、いろんな道具も、こどもらしさが出ていて、とてもよかったです。

劇の内容についてですが、消費は美德と呼ばれる時代がありましたが、現在ではゴミ処理の問題が浮かび上がってきています。産業の発達、文明の発達によって、人間はいろいろなものを開発し、生活は向上し便利になりました。しかしその反面、人間が作り出された産物の処理の仕方によって地球が破壊されていると思います。

たとえば、ビニールやカラーコピーなどが低温度で燃焼することによって、ダイオキシンが発生します。その煙を吸うことによって体が蝕まれます。人間がよかれと思って作り出したものによって、環境が破壊され、ひいては人類破滅にまで及ぶかもしれません。

また人間が作り出したものを大切にしていない現状もあると思います。お金さえ出せばなんでも手に入る世の中、まだ使えるものでも、気に入らないと捨てる。自然の恵みとともに作り出したものを、もっと大切にしなければならぬと思います。かぼちゃ島の劇の中でありましたが、寒いときには、すぐにストーブをつけるのではなく、服をいっぱいきて寒さをしのいだり、スーパーに行ったときでも、マイバックを持って行けば、無駄にビニールを使わなくても良いのです。一人ひとりのこころがけによって、無駄を省くことができます。私も今年はストーブをなるべくつけなくて、服で調整しようと思っています。

またスーパーに行くと、レジ所でこどもが「おかあさん、マイバック持ってきた?」といつも訊きます。「ああ、そだった」と思うのですが、ついつい忘れてしまいます。気をつけなくてはと思っています。

それらが大きな力となってクリーンな世の中になっていくと思います。

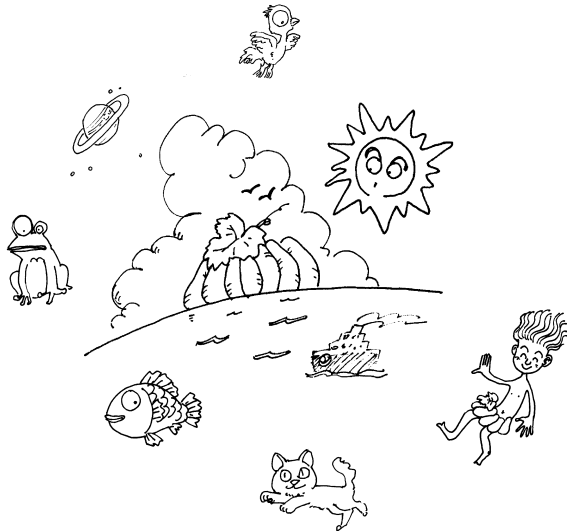
日常生活の中でそういうことを認識し、環境問題を意識した生活をするのが、今現在、必要だと思います。



われらが代表、しんがあ そんぐ ていいちゃあ こと しんさん とせみ しんがあ そんぐ ていいちゃあ こと ぐがっち & とのつち の3人が、小学校に招かれて、環境クイズコンサート?をやっちゃったので、その中身をお知らせします!

大芝小学校4年生PTC活動 「カボチャ島物語」

とりお しんがあ そんぐ ていいちゃあ ず



みなさん 今日、おじさんは、今日「カボチャ島」というとっても楽しいところからきました。一応名前があって、竹本といひます。

となりにいるのは、戸野さんといひます。お殿様じゃないよ。そういう名前なんだよ。

もう一人いる人が、久我さんといひます。

今日は三人で、みんなにカボチャ島の話をしなが、楽しい時間を一緒に過ごしたいと思ひます。

カボチャ島の人、みんな歌が大好きです。おじさんも大好きです。時々でたらめな歌を作って歌うこともあります。

さて、今日は名刺代わりに「大芝小学校の歌」というやっばりでたらめな歌を作ってきました。まず、今日はいっちょうこの歌からスタートです。

(歌 ロックンロール大芝すたーと)

さて、カボチャ島がどんな島かみんな知っているかな。知るわけないよね。

じゃあ、ここでカボチャ島がどんな島で、どんな風にしてできたのか知りたいよね。知りたいよね。知りたいよね。知りたいよね??

カボチャ島が昔どんなだったか。(それを歴史といひます。)いまだどんな島になっているのか、皆さんがどうしても知りたいといひるので、(ご要望に答えて)ちょっとだけ、お話ししたいと思います。

まず、我カボチャ島のことをわかりやすく歌にしましたので、この歌を聞いて下さい。題して「カボチャソング」さびと一緒に歌ってね。サビってわかるかな。鉄にできるものじゃないよ。

(歌 カボチャソング)

実施日 : 98年10月31日(土) 9:30~ 11:30

場 所 : 大芝小学校体育館(広島市西区大芝町)

内 容 : 前半で環境クイズを行い、後半で「カボチャ島物語」を実施
環境クイズは、OHPでクイズをだし、3タクで正解を答える。優秀者にはPTA手製のメダルを授与。正解を言うときには簡単な解説をつけるよう配慮する。「カボチャ島物語」は、OHPで様々な映像を見せながら、環境問題について考えるきっかけ作りを行うもの。途中でギター伴奏で歌をはさむ。

実施者 : 竹本伸・戸野直之・久我教之

ロックンロール大芝 (詞/曲 竹本 伸)

眠い目をこすりながら、やってきたんだ
オンボロワゴンをとばし、54号を
校長先生もまっているぜ マイホームタウン大芝
次のカーブを曲がれば、見えてくるよ
めざすは我が母校 大芝小学校
今日はカボチャ島のおじさんが 歌いに来たよ

ゴー 大芝ゴーゴーゴー
大芝ゴーゴーゴー 大芝ゴーゴーゴー
ゴーゴーゴー 大芝ゴー(繰り返し)

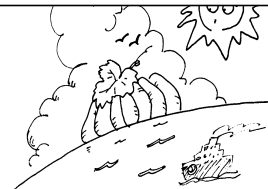
ドングリまなこのあいつと
お茶目なあのこと
ちょっときれいな先生が
勉強してるぜ
ここにいる子はみんな 元気一杯
目の輝きまして、走り回っている
空がこんなに高い マイホームタウン大芝

(繰り返し)

ドングリまなこのあいつと
お茶目なあのこと
ちょっときれいな先生が
勉強してるぜ

ここにいる子はみんな 元気一杯
目の輝きまして、走り回っている
空がこんなに高い マイホームタウン大芝

(繰り返し)



カボチャソング (カボチャ人類学入門)

原作 / 川原田 徹
詞 / 曲 竹本 伸

(セリフ)

でっかいかぼちゃがあったのである
青々とみずみずしいかぼちゃだったので、
やがて、かぼちゃの中にいのちが芽生えたのである
虫が生まれ、魚が生まれ、カエルが生まれ、
鳥が生まれ、けものが生まれ、人が生まれたのである
かぼちゃ島のかぼちゃ人は、かぼちゃの中に住んで、
かぼちゃを食べてくらしただのである
かぼちゃ島はだんだんにぎやかになったのである

かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ
かぼちゃ人のすんでるかぼちゃ島

- この大海原のそのまた向こう
かぼちゃの顔した人がすむという
その名もかぼちゃ島 形もかぼちゃ島
すてきな夢の国
幸せ預ける 幸福相互銀行
足りなくなったら出しにいこう
温泉に入りたければかぼちゃ温泉
芝居見たけりゃかぼちゃ座

かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ
かぼちゃ人のすんでるかぼちゃ島 (繰り返し)

- かぼちゃ島が大繁盛した時代があったのだ
世界中からたくさん船がやってきて
かぼちゃ肉や かぼちゃ粉や
かぼちゃ酒を積んでいった
かぼちゃ人は大もうけたそうな
高いビルが建ち並んだ
掘りつくされて島の中はからっぽになって
かぼちゃ島は死にかけた
(繰り返し)

PAGE 1

Capo: 0
play: C

カボチャソング (かぼちゃ人類学入門)

2. 4 番は次の通り

2. 3 番は次の通り

2. 4 番は次の通り

PAGE 2

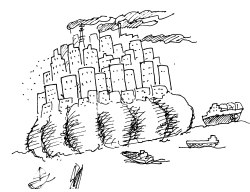
さて、歌の中に、カボチャ島が死にかけた時があったとありました。その頃のカボチャ島がどんなに大変だったか、どうしてそうなったのか、少し詳しくお話したいと思います。

私たちはもうあんな島になるのはこりごりです。思い出したくもないのだけれど、みんなが聞きたいというものだから、ちょっと話します。皆さんの住む町や村もあんな風になって欲しくないのです。だからこそ、本当はかぼちゃ島の昔の事を知って、そうならないようにするにはどうしたらいいのかを考えて欲しいのです。

カボチャ島は食べられるものだから、歌にあったようにカボチャ肉やカボチャ粉やカボチャ酒を売って大儲けしたことがあったのです。大儲けをして、カボチャ島には高いビルが建ち並び、町には珍しい品物がたくさん並び、せまいカボチャ島の中をカボチャからつくったカボチャガソリンで走る車がたくさん走り回り、とっても便利になりました。

それで、私たちは幸せになった、豊かになった、よかったよかったと思っていたのです。でもカボチャガソリンをつくるのにはたくさんのかぼちゃ肉が必要で、ビルを作るためには、たくさんのかぼちゃからできたものを売らなければならなかったのです。あんまり働くのが好きでないはずの私たちが、あくせく働かなければならなくなり、いつのまにか「働く」ことが目的となってしまって、何のために働いているのかわからなくなってしまいました。働けば働くほどもっともって働かなければならなくなったのです。働き過ぎて死ぬ人もでてきました。幸せになるためだったはずなのに、働くことで不幸せになってしまおうようになってしまったのです。

さて、その頃の島がどうだったかという、.....空気が汚れ、そのために森の木は枯れ、こんな状態になりました。



OHP（松枯れ・酸性雨） 説明を行う。

どうしたらいいか、みんなで考えました。薬もまいてみたけどダメでした。「お金持ちになったんだからいいじゃないか」という人もいましたが、ほとんどの人はお金をいっぱいもらっても、（それはちょっとはうれしかったのですが）なにか満たされないものがありました。小さな島がなくなってしまったら、私たちは生きていけないんだということに気がきました。島からたくさんものをとってしまうことは、私たちの体から血や筋肉やそして心を吸ってしまうのと同じことで、絶対に無理だったのです。

その頃、海はどうだったかという話をしましょう。

たくさんものがあるということは、たくさんいらぬものがあるということで、たくさんいらぬものがあるということは、たくさんゴミがあるということなのですが、その頃、私たちはこんな簡単なことに気が付きませんでした。たくさんゴミはどんどん海に流れていきました。海はゴミだらけになってしまったのです。実は、カボチャ島でできたものは、全てカボチャでできているので、埋めれば全てカボチャに戻るのです。私たちのおじいさんやおばあさん、いえいえ、お父さんやお母さんはみんなそうしていました。だから、カボチャ島にゴミはなかったし、埋めることでカボチャ島もかえって元気になっていたのです。ところが、よその国のものがたくさんくるようになると、その中にはプラスチックとかいう私たちの島の中でできたものとは違うものがあって、それはどこに捨てても、いつまでもそのまま残ってしまおうもので、それがどんどん増えてしまったのです。そのために、海の生き物たちが、大変な目にあってしまいました。

OHP（海洋生物の被害） 説明を行う。



私たちは、海の生き物たちとは友達だったので、友達がこんな風になってしまうということは、自分がこうになってしまうことと同じで、だからとても悲しくなりました。カボチャ人は一生のうちで、数えるほどしか怒らないのですが、さすがにその時は、みんなが怒りました。そして言いました。

「こんなゴミになるもの、最初からいらぬ。ものがたくさんあるよりもともだちがたくさんいるほうが、絶対に幸せだ。」って。

その頃、幸福相互銀行では、幸せがたくさん引き出されていました。もうほとんど残っていなかったそうです。その代わりに、お金はたくさん預けられていたそうですが、お金と幸せは交換できないので、やがていくらお金を預けても何も引き出せなくなってしまったのです。

海のゴミをちょっと持ってきました。

いろいろあります。説明しましょう。（持ってきたゴミの説明を行う。）

ちょっと珍しいものを紹介しましょう。（レジンペレットを見せ、その説明を行う。）

さて、森の話に戻りましょう。

カボチャ島が大金持ちになった頃、たくさんの人がやってきて、いろいろなおいしいそうな話を島の人たちにしました。おいしいと言ってもケーキの話じゃありません。大人の世界では、お金がたくさんもらえそうな話を「おいしい話」というのです。でも「おいしい話」というのは、たいてい話をする人の方がおいしいことが多いのです。

さて、そんな難しいことはよしとして、日本という国の人たちはそんなことは慣れっこらしいのですが、カボチャ島の人たちはすぐ人を信じてしまうので、おいしいというだけで「いいよ」と言ってしまう人もいました。そういうおいしい話をした人の中に、ゴルフというスポーツをするところをつくらうという人がいました。

「ゴルフっていうのはとっても楽しいよ。」っていったのです。

カボチャ島はすぐにいいよと言いました。

それで、島の一番景色のいいところにゴルフをするゴルフ場というのが作られました。

ブルドーザーという車がやってきて、森をどんどん壊していきました。森からは友達だった鳥たちがいなくなりました。

カボチャ人は誰もゴルフというものを知りませんでしたから、誰も遊びには行きませんでした。いえ、行こうと思ってもそこに入るにはすごくたくさんのお金がいるようになっていたのです。よその国のお金持ちの人ばかりが来て遊んでいました。



やがて、そこから出てくる水も汚くなって、カボチャ島の水は飲めなくなってしまったのです。小さい子どもたちが泣きだしました。

「ぼくたちの遊べる森がなくなってしまったよう。」

さっき言ったようにそこに入るにはすごくたくさんのお金がいるのです。私たちは考えました。

「もしかしたら私たちはとんでもないことをしているぞ。ゴルフ場は大人の遊び場。森は子どもの遊び場。大人が子どもの遊び場をとるなんて、大人らしくないなあ。」

そして、私たちの森を返してくれるよう、ゴルフ場の人に頼んだのです。でも、ゴルフ場の人はいませんでした。

「ここはワシが買ったのだからワシのものだ。もし、かえしてくれというのなら、ワシが土地を買ったお金とゴルフ場を作ったお金を返してくれ。」

初めはそうのように全然聞いてくれなかったのですが、儲からなくなると、さっさと引き上げてしまいました。木がなくなって、ひどかったのだけれど、カボチャ島の大人たちは、「子どもたちにひどいことをした。罪滅ばしに元に戻そう。」と、一生懸命やったので、やがて、森に子どもたちの声が戻るようになりました。

そしたら、水もきれいになりました。子どもたちの歌声が森から聞こえます。ホーム（歌）

この森には、たくさんの友達がいます。かぼちゃ人じゃなくて、木や動物の友達です。一人紹介しましょう。「ドン君」です。では「ドン君」の登場！（OHPでドン君の写真を見せる。）

僕達とドン君は大の仲良しです。ドン君にはテーマソングがありますので、その歌で、ドン君を紹介しましょう。（ドン君に会いにいこう（歌））

この国には自転車ってありますか。カボチャ島は小さいので、車は本当はいらないのです。車だと空気も汚れます。自転車だと、空気も汚さないし、第一、まわりの景色がゆっくり見れるよね。さあ、みんなで、自転車に乗ろう。（自転車に乗って（歌））

カボチャ人は、たくさん売って、たくさんの物を使うとどんなことになるかわかったので、今はいるだけしかカボチャをとらない、いるだけしかカボチャを売らない、元に戻る量しかとらない、

カボチャ島を大切にしたいから、楽しく暮らすことを選んだのです。

カボチャ島の人々は、みんな9時になる前に寝ます。9時まで起きていると「9じおぼけ」というこわいこわいおぼけが起きている人の前にだけ出てくるのです。（9じおぼけのらばい（歌））

カボチャ島では、
楽しく暮らすということは、みんなとなかよく暮らすということ、
楽しく暮らすということは、自分の町を好きになるということ、
楽しく暮らすということは、生きていてよかったと思うこと、

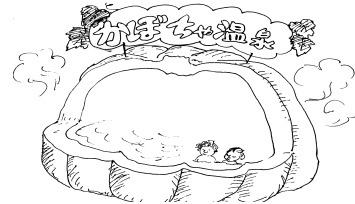
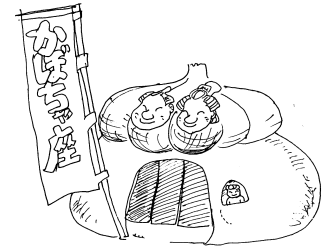
カボチャ島では、
生きるということと、食べるということと同じ言葉、
生きるということと、勉強するということと同じ言葉、
生きるということと、愛するということと同じ言葉、

ということは、
生きるということと、食べるということと、勉強するということ、愛するということが同じと言うこと、

何か変だね。
でもそうなんだからしかたない。

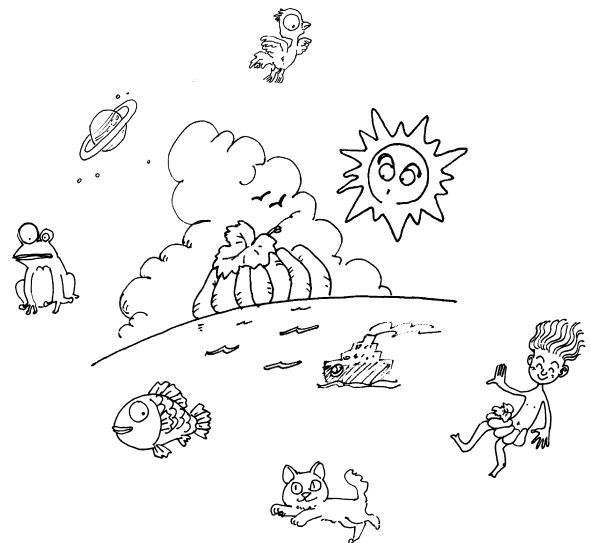
カボチャ島は島だけど、どこにあるかよく考えてね。
ヒント 小さな島だけど、とっても大きなところにあるんだよ。
じゃあ、またね。

カボチャソング（歌）



これにておしまい

とりお しんがあ そんぐ ていいち
やあず



ミジンコのぼやき

1999年2月末 その1

ええと、まずは御挨拶と参ります。ほとんどの方が初めましてとなります。畑本佳香（はたもとよしか）と言います。私が宇宙船地球号の会に出会ったのは、2年半前の秋でして、広島市青少年センターの高校生講座です。その時から、相棒の川岡論之（かわおかさとし）とつるんで宇宙船や、ひと・まち・ネットワークの方に、結構参加してます。お互いに、学校や受験、他の活動の方が忙しくなりなかなか参加できなかったのですが、私の方が一段落ついたのでこのたび復活という事になりました。これからよろしくお願ひします。

ええと…タイトルの理由なんですけど、私自身一人言が多く、ボソボソ何か言うのが癖なんです。それに私は、これから大学に進学し、いろいろな基礎知識や応用力を身につけていくとても小さな存在です。それを何故か「ミジンコみたい」とひらめいてしまったので、まあこういうタイトルになりました。毎回、私と論之が日常会話として語り合っている、環境に関係することを、私が文章にしていきたいと思っております。

では、今回のお題と参ります。

街づくりと自然環境の関連性について

昨年秋に、二人して参加した、ひと・まち・ネットワークの講座「五日市の町づくりプランニング」で、町づくりの勉強をしていた時のことです。広島市佐伯区の五日市町はベッタウン化が進み、大型スーパーが何件もあるような大きな街になってきました。しかし、今の姿からは想像もつかないような自然環境が戦前までは存在していました。国道2号線より南の海には海水浴場がありました。駅前も区画整理されておらず、小高い山もありました。五日市公民館区域ですが、コイン通りや八幡川沿いを散策して、私は驚きました。昔の面影の残る住宅地には、庭木が多く住宅街にも緑は点在していました。が、しかし、近年建設されたマンションの多くは、田畑の中に建っている大半でした。その上マンション付近の道路は、車一台がやっと通れるくらいの道幅しかなくきちんと舗装もされておらず、鉄板が置かれているだけのところもありました。道路の横にはふたのされてない川幅約1メートルのドブ川があり、空き缶やビニールゴミなどが捨てられており、白く濁った水が溜まっていました。近所の住民はそれを見て何も思わないのでしょうか。自分で掃除しようとは思わないのでしょうか。それが本当に快適ライフをうたっているマンションの在るべき姿なのでしょう。五日市という街は、文化だけではなく、住民の街への愛着、すなわち自意識自体が薄れつつあります。環境保護も、国という巨大組織する物ではありません。個人同士が集まり、町単位で行えるようになればすべての物への愛着が沸くはず。それが自然環境であったり人間関係であったり。

私はこれから、慈善活動や偽善活動的でない、環境活動を行うため勉強していきたいと思います。

~~~~~ビオトープ付き分譲住宅完成!?~~~~~

1999年2月25日(木)の中国新聞朝刊を読まれた方ならもうわかるはず。今全国各地の小学校で授業教材としてつくられている、あのビオトープが、一般住宅にも進出してきたわけです。

ビオトープとは、ドイツ語で「野生生物の生息空間」を意味するわけですが、そう簡単に作れる物ではありません。雨水の循環する池を掘らなければならないし、水草を植えたり、メダカを放流したり。池の周りにも自然と同じような条件をつくってやらないとなりません。それが、人工的な物であっても、それが人工的な自然とは一味違う工夫が必要となってきます。ですから、最低限の生態系の知識が無ければ作ることは不可能なものです。ビオトープをつくるには、環境や条件が揃わなければ非常に困難なものです。

省エネ住宅の電化住宅が今、話題です。確かに生活は便利です。高層マンションの上層部は虫が寄りつかず、快適です。それは人間がつくり出した人工的な住居空間です。そのような空間での生活に疑問を抱いている人は何パーセントいるのでしょうか。本来の人間の生活とは自然との共存の中で営んでいくものであります。しかし、失っていく森はそう簡単には原形通りには戻せません。今回、記事になった「関さんの森をはぐくむ会」の方の発想には驚きました。教材のイメージの強いビオトープを、昔の面影を取り戻すためにつくろうと、私なら思いもつかないし、行動もなかなか取れずにいるでしょう。しかし、このビオトープづくりに、近隣の学校の教師や、地元住民が集まり、森の保護や保全にだけでなく地域全体の自然復元にも取り組む向く姿は、とても理想的な図である。このニュースを機に、私自身も思考を柔軟にし、このような活動を今後発足したいものである。

文章をかくのは、本当に難しいものだと実感しております。けれど、毎日新聞を読んでいると必ず興味のある自然環境の記事が掲載されており、今までその記事に関しての私自身意見を言う場が無かったので、このスペースを今後活用し、皆さんに私たち自身の姿勢などを見て頂きたいと思います。

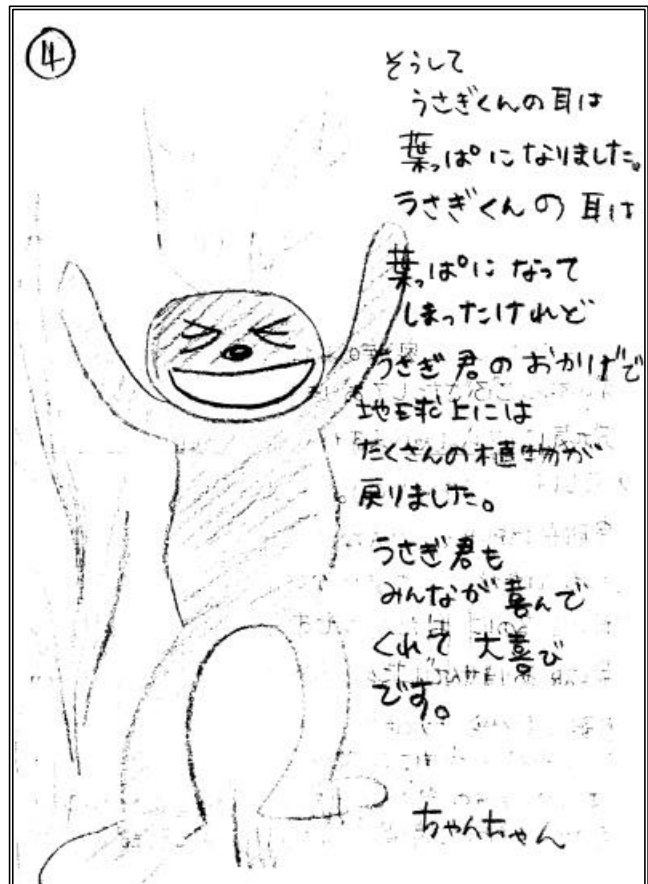
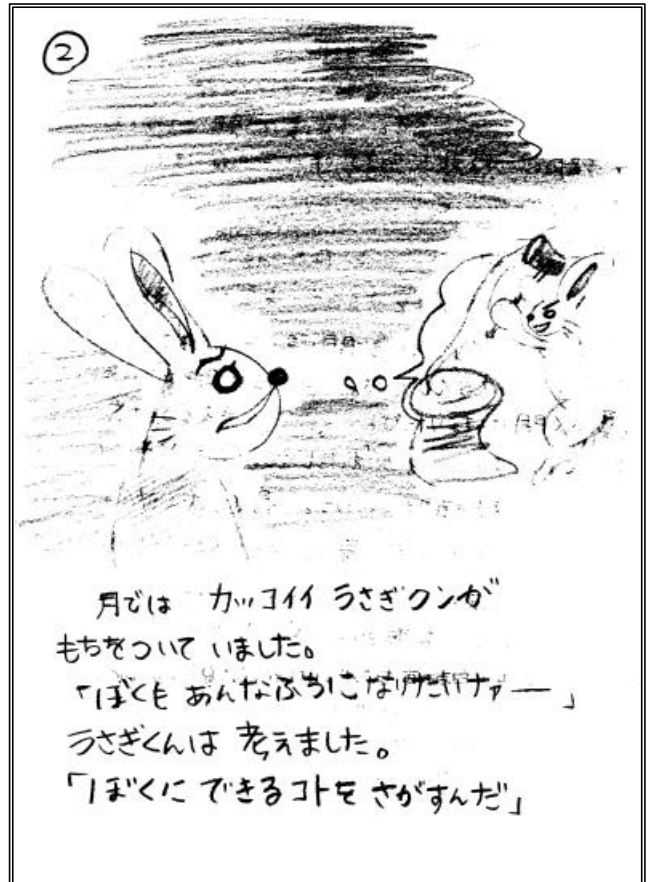
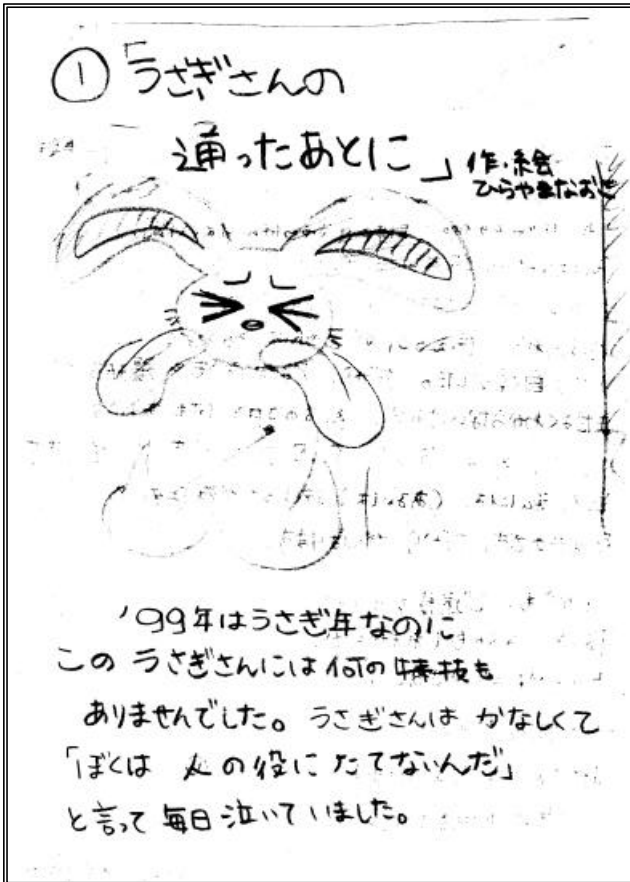
相棒共々、春から本腰を入れていきますのでどうぞよろしくお願いします。

1999年2月26日

水田本 仁 啓

絵本のコーナー 今回は地球号高校生講座 06 の「ひらやまなおこさん」の作品です

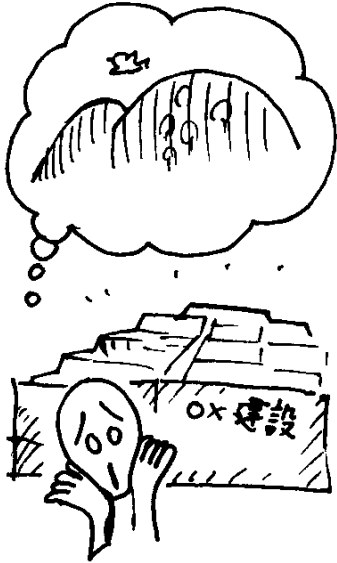
とてもきれいな色に(しかも色鉛筆で)塗ってあったのですが、白黒ではうまくいきませーん、おまけに色が飛びまわって...ひらやま大先生、まことに申しわけありません。



マチャプチと二葉山

小島正雄

「1月23日10時からモハニの会があります」と会長さんから電話があった。去年のデザインのことを書くことになっているが、そうでなくともよい、ということだった。また何日かあったので「わかりました」と答えた。そうこうしているうちにあっという間に、その時がきた。



このところ毎日が激動の連続である。私の家の隣はダンスホールができ、老若男女が出入りする。一軒先の2階建ての家も、今度は15階建てのビルになる工事で、朝からドンジャラドンジャラやっている。

12月は27日間ネパールに行ってきたが、帰ってみると広島の様子が変わっている。1月10日牛田東区の住民のSOSが私の所へ発信され、現地を見て驚いた。二葉山の裏側は現在も宅地造成中なのだ。そこにトンネル工事が入り込んでいる予定。まだ出来上がっていない宅地造成の現場が寒々しかった。

ネパールでメタセコイアの植樹を思いついたのは1991年の1月、広島の木を守る運動をするだけでなく、アジアの国でも始めたいと思ったからだ。広島にグリーンマザーという植樹団体があり、その青写真にインド・バングラデシュ・ネパールにこの木を植えようといううたい文句があった。3つの国は無理なので、ネパールを選んだ。ネパールは私の尊敬する釈尊の生誕の地、ルンビニがあり、世界最高峰のヒマラヤ山脈がある。

植樹の基点、ポカラには、92年3月に行った。そこから見えるマチャプチは7000mには足りないが、人が近づいてはいけない、登ってはいけない山とされている。この国の人は、この山を神聖な大としている。この国にきてそういうことを学んだが...それと二葉山は比べるべきものではないが、いくら小さくても、この二葉山が傷ついているのを見ることはできない。つらい...ほおってはおけないと考えている。

この度のネパール行きはブラディ君の結婚式参列のためだった。モハニの会からもお祝い金をいただいたので、お渡ししておき、ブラディ君からは、皆さんによろしくとのことでした。

結婚式は盛大で、その準備から終わるまで一ヶ月とはいわず、3ヶ月ぐらいはかかったので

はと思った。親類縁者がみな遠いので行ったり帰ったり、泊まったり大変だった。

1998年度はばたけひろしまっ子21推進事業

太田川はひろしまっ子のいのち 報告の概要

1. 会の概要と「高校生のための環境講座」の実施

私たち『宇宙船地球号の会』は、1989年10月に結成し、広島市民として地球環境問題を身近な視点で考え行動しているという観点から、これまでゴミやライフスタイルに関するアンケート調査・見学会・講演会・シンポジウムの実施・環境に関わるイベントへの参加・ゴミ拾い・海岸ゴミの調査・子どもエコクラブの企画運営・カヌーツアー等を行ってきた。1998年8月現在で会員数約60人というささやかな会であるが、『Think Globally, Act Locally,』（地球規模で考え、地域で行動する。）の精神を大切に、地域に根ざした活動、遊び心のある活動、次世代につながっていく活動、そして自分自身の生き方を見つめなおすことを心がけて活動している。メンバーは高校生から孫のいらっしゃる方まで年齢も職業も様々だが、それぞれのペースで無理のないように参加しており、環境問題に関心のある方なら誰でも参加できる。

そうした活動の一つとして、95年より「高校生のための環境講座」を毎年実施してきている。これは「環境問題は21世紀につながる重要な問題であり、その21世紀を担う高校生たちにはぜひその時代の中心になって環境問題に取り組んでほしい。そのために我々にできることとして高校生を対象としたこのような講座を開催し、環境問題を考えるきっかけ作りにもらいたい」というような、環境問題に取り組む若い世代を育てる目的から、実施してきているものである。

今年度の講座については、97年度の参加者のうち何人かから「今年度の講座はいつから始まるのでしょうか。もしあるのなら今年も参加したいし、内容についても希望があるのできてほしい」という要望を受け、私たちとしては自分から行動するそういう姿こそ講座の重要な意義の一つと考えていたので、喜んでその申し出を受けるとともに、「同じ行おうのなら自主的に講座の内容を自分たちで企画してみよう」と逆に高校生に持ちかけた。高校生たちが内容の企画を作りはじめた頃、今回の「はばたけ ひろしまっ子21推進事業」があることを知り、まさに我々の趣旨と一致するものであったことから応募し、テーマを「太田川はひろしまっ子のいのち」として、身近な川と自分との関わりを学習することになったのである。

2. 「太田川はひろしまっ子のいのち」の活動

今年度の高校生講座は、前記のように高校生自らが企画し実行していった。6回の全体活動と三つの班の延べ26回に渡る班別活動内容は、9月に作成した報告書をご覧いただきたいが、中心は私たちの街の生活や心のよりどころである太田川と清流で名高い隣県の錦川を比較する中で、この二つの川の違いを水質・生物・人との関わりという三点から分析することにより、太田川に昔のような清流を取り戻すためには何が必要かを、高校生の視点でとらえた各班のグループワークである。委嘱を受けた特派員は13名であったが、さらに第1回のオリエンテーションから加わった2名を加えて、15名で調査やまとめを行った。メンバーは環境に関心を持つ広島市内や近郊の国公立の様々な学校の高校生が集まった。学校を越えて集まるということは、活動していく上で傍から見て以上の以上色々と困難な点があることが、今回の活動を通じてわかったのであるが、一方で学校外で集まっているからこそ、本当の意味での自主的活動が出来るのだという意義も見出すことになった。今回の活動は日程的にも自主的という意味においても非常にハードな活動であったが、自らの意志でこの活動に加わったメンバーたちは、この活動の中で学校教育で体験することができない貴重な体験をしたはずであり、その意味において本当にいろいろと勉強をしたようである。

3. グループワークの概要

各班のグループワークについては詳しくは報告書をご覧いただきたいが、1班は水質調査を中心に活動を行った。第2回の全体学習会で佐々木健先生（広島電機大学教授）から教えていただいたことを元に、太田川の上流・中流・下流の水を、さらにその比較対象として清流といわれる山口県錦川において3か所で水を採取し、それを佐々木先生の研究室に持ち込んで分析をしていただいた。流域の条件の違いを資料収集し学習する中で、特に太田川は下流に行くにしたがって生活系の汚れが多いことがわかり、その結果から住民としてできる対策や課題を模索した。

2班は生物調査を中心に活動を行った。県立図書館等で資料収集した後、太田川で生物の採取、続いて1班と同じように、比較対象として山口県錦川の上流・中流域で生物の採取を行った。また両川の水でご飯を炊いて食べてみるなど、川の実際の様子を体で感じる試みを行ったりした。その結果、指標生物から判断した川の自然度は錦川中流・錦川上流・太田川中流・太田川上流の順に、採取場所の周囲の様子などから判断した自然度は錦川上流・太田川上流・錦川中流・太田川中流の順となった。特に太田川は錦川に比べ人工護岸が多いことが、調査中、メンバーには強く印象に残ったようである。

3班は川と人の関わりをテーマに、流域に住む住民の方への聞き取りを中心に活動を行った。また、聞き取りの中から住民の方々がダム建設による周囲の自然の変化など様々な弊害を感じておられることに着目し、ダムの見学も精力的に行った。その結果、これ以上ダムを作り続けることの是非も含めた検証、さらに私たちの生活の中で河川の汚れを防ぐために改めていくべきことを課題として整理した。

4. 学習の成果と課題

環境問題を自らの問題として考え行動を起こすことが大事だとよく言われるが、行動を起こすためには環境問題に対する知識や考え方が重要なものと同様に（時によってはそれ以上に）、企画力・行動力・忍耐力・リーダーシップ・判断力といった組織運営のノウハウを身に付けることも大切であるということ、私たちはこの実践を通して学んだ。環境問題やそれに関わる活動に対してすばらしい考えを持っていても、それを具体化する能力がなくては絵に描いた餅に終わってしまう。この学習や報告書を作成することを通して、私たちは地域の自然を守っていくがいかに重要であり、同時にいかに困難であるかということも学んだのであるが、一方で私たちが行動を起こすためには何が必要であるかということも実践的に学んだ。学校を越えたグループであることや高校生に自主的活動を求めあまりに、活動途中で様々な困難があったことは事実であるが、その困難さを割り引いてもなおこの活動を通して得たものは、皆、大きかったと言えるであろう。

活動の記録

全体の活動

	テーマ	日時	場所	内容
1	オリエンテーション	7月17日(金) 17:00~20:00	広島市青少年センター	代表(高橋)あいさつ 自己紹介 水についての話・講師 久我 教之(ひろしま NPO センター) 宇治郷 整(3班) きき水大会
2	水質について(講義)	7月23日(木) 15:00~17:00	広島市青少年センター ・河川敷	水質調査方法等水に関する学習会を行う ・講師 佐々木 健(広島電機大学大学院教授)
3	太田川について	7月30日(木) 15:00~17:00	建設省太田川工事事務所	太田川に関する学習を工事事務所の職員の方を講師に行う
4	キャンプに向けての調理実習	8月7日(金) 17:00~20:00	広島市青少年センター	キャンプでの自炊に向けてカレー・サラダなどの調理実習 テーマ 残飯等のゴミを出来るだけ出さない ・講師 坂口 千絵(2班)
5	キャンプ	8月13・14日(木・金)	横川駅集合・山口県錦川上流の南桑	1泊2日のキャンプ実習(グループワークを兼ねる)
6	まとめ	8月20日(木) 15:00~18:00	広島市青少年センター	報告書作成に向けてグループの学習成果を発表
7	報告書作成	8月下旬~9月中旬		
8	報告書完成・提出	9月18日(金)		

グループワーク

1班(水質調査班)

	日時	内容
1	7/23	佐々木先生を講師として招き、飲料水などにリンがどれくらい含まれているかを聞く。講義の後、青少年センターの横の太田川で、パックテストの実験と太田川の様子を見る。
2	7/31	太田川工事事務所いき、太田川の水質についての質問や意見を聞いた。
3	8/02	太田川の上流(明神橋) 中流(安佐北大橋) 下流(安芸大橋)で水を採取する。
4	8/12	中央図書館で太田川の水質についての資料を収集した。
56	8/13~14	山口県錦川上流の南桑でキャンプをし、錦川の上流(錦町) 中流(南桑) 下流(錦帯橋付近)で水を採取。
7	8/24	太田川と錦川で採取した水を佐々木先生の研究室で分析。
8	9/03	グループワークのまとめを行う。

2班(生物調査班)

	日時	内容
1	8/01	県立図書館で資料を収集し、事前学習を行う。
2	8/04	太田川で生物の採取を行う。
3	8/06	県立図書館において太田川で採取した生物の調査を行う。
45	8/13~14	山口県錦川の南桑でキャンプをし、13日に中流域、14日に上流域において生物の採取を行う。
6	8/16	班員の河野宅において錦川で採取した生物の調査を行う。
7	8/19	青少年センターにおいて20日のグループ発表に向けての準備を行う。
8	8/22	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
9	9/04	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
10	9/07	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
11	9/08	学校において、まとめ作業を行う。
12	9/09	学校において、まとめ作業を行う。

3班(川と人の関わり班)

	日時	内容
1	8/14	錦川近くの地元の人、保健センターの人にインタビュー
2	8/15	戸野寿美江さんに太田川についてインタビュー
3	8/18	太田川漁協の谷口さんにインタビュー
4	8/19	資料整理
5	9/06	津伏取水ダム、温井ダム、立岩ダム視察
6	9/07	資料整理

地球号事務局員 久我教之（くがっち）から、なんと大学のレポートそのままの投稿です。

正しい肌着の洗たくの仕方について、留意する点を説明します。（何故？）

久我教之（くがっち）

総論・肌着の重要性

我々人間は、恒体温の動物であるから、生活環境の条件が変化する中であっても、体温を一定に保っておく必要があるのである。また、我々の体が、生きて活動していることによって、皮膚に分泌物すなわち汚れを吸収して、常に皮膚表面を清潔にしておく役割が被服に求められているのである。特に、この保温や清潔について、重要な役割を果たしているのが、肌着である。このように、我々の健康を維持するために、肌着は大切なものなのである。

洗濯による環境におよぼす影響の留意点

自分の生活が地球環境に大きな影響を与えているという意識をもつべきである。つまり、自分の身の回りを清潔に、快適にすることが、環境を破壊しているのではないかというチェックを怠ってはいけないのである。

洗濯において、効率よく汚れを除去する方法を求めると同時に、その洗濯排水が自然環境に悪影響を与えていないかという点検の目を忘れてはならない。もし利便性があつたとしても、水系にマイナスの影響を与えるのであれば、多少の不便さをあえて受け入れていくという選択をするか、最小限の範囲内で利用するかなど判断が求められている時代である。近視眼的に自分の生活を大切にす立場からだけでなく、広い視野から、人類の将来を、地球全体を展望した上で、自分の生活を守ることが求められている。

肌着の手入れの必要性

汚れには、ほこり、どろ、化粧品、機械油などのように生活環境に起因するものと、身体からの汗や皮脂などの分泌物や角質化した皮膚の老廃物などがある。特に肌着類に付着するのは、後者の汚れである。汚れが付着すると、被服は吸水性の面などから機能は低下する。さらに汚れの付着は、保険衛生上好ましくなく、汚れ成分の変質による黄変、細菌やかびの繁殖、悪臭、繊維の劣化や着色、染色物の変体色などのトラブルを生じるのである。故にこまめな洗濯をして清潔に保つことが必要となるのである。

肌着の洗濯方法

1・繊維の種類・色・衣類の種類・形・用途などによって分類する。

綿の肌着は、洗濯に強いので石鹼や弱アルカリ洗剤を使って、手もみ洗いや洗濯機の強水流で洗い、ブラウスなどは、中性洗剤を使い弱水流で洗うことがもとめられる。このように同じ条件で同時に洗濯できるものを集めて、効率よく効果的に洗濯する必要がある。

2・効果的な洗濯をする。

そしてなにより汚れたら、はやく洗濯することが大切である。汚れた被服を放置しておくとも汚れが落ちにくくなる。高温多湿な環境に置いておくほど、汚れが落ちにくくなるのである。その他にも下記の留意すべき点があるのである。

- ・ 予浸と予洗をする（汚れが落ちやすい）
- ・ 洗剤液の量（洗濯機では1:15-20、手洗いでは1:10-15の浴比が適当）
- ・ 洗濯液の温度（エネルギーの節約、手で洗うことなどから、30-40度が最適）
- ・ 洗剤の濃度（適量）
- ・ すすぎの方法
- ・ 脱水の方法（遠心脱水で、ある程度、水分を残した状態で形をととのえる。）
- ・ 乾燥の方法（洗濯物を広げ、風通しの良い日陰干しがよい。）

以上のように効率のよい肌着の洗濯は、各過程において注意が必要である。

検証

我々消費者は、どのような洗剤を選ぶかということと同時に洗剤の使用量を、合理的にどこまで減らせるかを考えることが、環境資源を守る洗濯には必要である。

（生涯学習時代の社会に開かれた大学。仏教大学通信教育 家庭科概論のレポートより）



宇宙船地球号の会 98～99年の活動記録

[1999年3月31日現在]

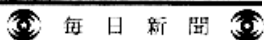
宇宙船地球号の会 98～99年の活動記録

- 1998.1.22. 代表 大竹市中央公民館主催高齢者大学「くろがね塾」で講演
 1998.1.26. 1997.6～8.に行った「買物袋再利用調査」の分析結果をマスコミに発表
 1998.1.29. 会員の小島正雄「写真集/二葉山原生林」を発表
 1998.1.30. 滋賀県「びわこ会議」との交流会を実施
- 1998.2.03. 代表が『NHK/ひるまえフレッシュ便』で「買物袋再利用調査」の分析結果を説明
 1998.2.12. 代表 宇品公民館で講演
 1998.2.13. 代表が『NHKラジオ』で「買物袋再利用調査」の分析結果を説明
 1998.2.15. 『ひがしひろしま「水」を考えるシンポジウム』に事務局長が運営で参加、代表がコーディネータで参加
 1998.2.17. ひろしまNPOセンター主催「NPOサロン テーマ 環境」を代表が コーディネータ 企画運営で参加。
 1998.2.20. 代表 海田公民館のNPO講座で講演
- 1998.3.03. 代表 庄原市川北小学校の環境教育研修会で講演
 1998.3.08. 二葉山へ登ろう 実施
 1998.3.10. 代表 福山地区学校保健会の研究協議会で講演
 1998.3.15. 福岡先生送別講演会 送別会
 1998.3.20. 97年度高校生のための環境講座 高校生討論会実施
 1998.3.28. 97年度高校生のための環境講座 まとめ完成
 1998.3.28.～4.10. 代表 ひろしまNPOセンター理事として日本NPOセンターからの視察団の一員となり、ヨーロッパの市民活動の視察を行う。
- 1998.4.03. 97年度高校生のための環境講座参加の高校生有志がまとめを持って県教委に行き、環境教育の必要性を訴える。
 1998.4.23. 機関誌 12号完成
 1998.4.29. 「クリーンアップin宮島」実施 宮島包が浦
- 1998.5.09～10. 錦川にてカヌーツアー
 1998.5.15～31. 中国新聞「新せとうち学」に関するアンケート「海の環境家計簿」に協力(1400枚配布)
 1998.5.30. 代表 広島YWCAで講演
 1998.5.31. 代表 長束集会所で講演(水援隊が実施)
- 1998.6.06. 代表 全電通の研修会で講演
 1998.6.10 中国新聞「新せとうち学」に関するアンケート「海の環境家計簿」に関わる討論会を中国新聞と共催で実施(司会:代表 パネラー:事務局長)1998.6.26～28. 中四国ミーティングに事務局長が助言者で参加,事務局長(戸野)が会の活動報告
 1998.6.28. 98年度の高校生講座が県の「はばたけひろしまっ子21」の事業となり、知事の出席する委嘱式に高校生と代表が参加
- 1998.7.5. カヌーで宮島一周ゴミ拾い下見
 1998.7.10. 代表 府中東小学校保護者会で講演
 1998.7.17. 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第1回 オリエンテーション・水との関わり
 1998.7.23. 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第2回 佐々木健先生講演
 1998.7.27. イオングループ・ひとまちネットワークより「みどり子どもエコクラブ」の企画運営の依頼を受け第1回実施(公民館) オリエンテーション
 1998.7.30. 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第3回 太田川工事事務所でのピクニック
- 1998.8.07. 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第4回 IC料理教室
 1998.8.10.～11 「みどり子どもエコクラブ」第2回林間学校(豊平町)
 1998.8.12. 環境フォーラム主催シンポジウム「市民が考える広島の緑 二葉山をめぐる」に、小島(会員)が主催者として、久我(会員)が司会者として、代表がパネリストとして参加
 1998.8.13.～14 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第5回 キャンプ実習・錦川
 1998.8.20. 98年度高校生のための環境講座「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」第6回 まとめの発表会
 1998.8.25. 代表 県立高校広島支部事務長会研修会で講演
 1998.8.25. 西岡恭蔵ライブ「西岡恭蔵地球を唄う」を実施 於:西区民文化センター・スタジオ
 1998.8.27. 「みどり子どもエコクラブ」第3回「回収トレイの行方」実施(広島ホームテレビ・スバル・Jチャンネルで放送)
 ビッグ安古市店・北部資源選別センター・玖谷埋立地・エフビコ見学
 1998.8.29. 代表 亀山公民館で講演
- 1998.9.06. 「みどり子どもエコクラブ」第4回「買物袋の再利用調査」実施
 (第3回と合わせて広島ホームテレビ「ホップ・ステップ・ポラソニア」で9/12放送)
 1998.9.12.～13 カヌーで宮島一周ゴミ拾い (広島ホームテレビ「地球派宣言・地球の声を聞きたい」で10/10放送)

- 1998.9.21. 代表 MIXの学習会で報告 「会の概要と環境問題」
- 1998.9.23. クリーンアップin宮島 実施 「みどり子どもエコクラブ」第5回と兼ねる (参加者61名)
(RCCテレビの「ニューブリッジ」で同日放送)
- 1998.10.11. 錦川にてカヌーツアー
- 1998.10.13. 代表 「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」を同実行委員会で報告
- 1998.10.15. 代表 勤労青少年ホームで講演 「社会人のボランティア入門講座」
- 1998.10.31. 代表 大芝小学校P TC (4年生対象)で講演 「カボチャ島物語」
- 1998.11.02. 宇宙船地球号の会高校生グループが「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」の内容を広島市教育長に報告
- 1998.11.05. 代表 赤い羽根まちづくりセミナー「ちゅうごく」の分科会にパネリストとして参加
- 1998.11.08. 「みどり子どもエコクラブ」第6回 川の生きものさがし 実施
- 1998.11.15. 「みどり子どもエコクラブ」第7回 きみはもう二葉山のドン君に会ったかい? (二葉山自然学習)実施
- 1998.11.16. 宇宙船地球号の会高校生グループの代表 (高橋俊彦君)が「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」の内容を青少年育成大会で発表
- 1998.11.23. 宇宙船地球号の会高校生グループが「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」の内容を広島県知事に報告
- 1998.11.24. 代表 安芸高校で1年生に講演
- 1998.12.06. 「みどり子どもエコクラブ」第8回 環境にやさしい商品さがし
- 1998.12.19. 竹本伸・戸野・久我 中筋学区の子ども会の運営を行う
- 1998.12.23. 地球号 忘年会
- 1998.12.25. 「みどり子どもエコクラブ」第9回 まとめと反省会
- 1999.1.25. 代表 比婆郡口和町 きらめき講座 (対象は主に口和中の中学生)で 講演
- 1999.2.22. 代表 賀茂郡公立学校事務職員研修会で講演
- 1999.2.28. 宇宙船地球号の会高校生グループが「はばたけひろしまっ子21～太田川はひろしまっ子の命～」の内容を水援隊 (広島市環境企画課主催)の大会で発表
- 1999.3.18 代表 比婆郡高野町 (対象は主に中学生)で講演

98.7.23(毎日)

98.10.8(中国) (第三種郵便物認可)



(第三種郵便物認可)

ゴミを拾って 海をきれいに

小学生 生田 叔子 10歳
私は環境市民グループ「宇宙船地球号の会」の子ども組織「みどり子どもエコクラブ」に参加しています。九月下旬の休日、広島県宮島町の海岸で「ビーチクリーンアップ」という行事がありました。

「ゴミを拾ってよとして海岸を見るとき、たくさんゴミがありました。私は、ゴミを集める気がしなくなりました。でも、「まっいっ」た行事に参加して、海をきれいにすることに少しお役に立ちたいと思いました。

「ゴミを拾ってよとして海岸を見るとき、たくさんゴミがありました。私は、ゴミを集める気がしなくなりました。でも、「まっいっ」た行事に参加して、海をきれいにすることに少しお役に立ちたいと思いました。

（広島市安佐南区）

高校生のための環境講座を開催

竹本 伸さん (44)

〓西区安佐南

環境を考える市民団体「宇宙船地球号の会」の代表を務める。今日17日から8月20日までほぼ毎週1回、計8回の「8高校生のための環境講座」を開き、キャンプなどを通して、若い世代に環境問題を考える機会を提供している。

広島北高校 (安佐南区 祇園8)の社会科教師。9年前に、「ゴミ問題をテーマに勉強会を開いたり、清掃活動などをする地球号の会を約30人の仲間

若い世代で将来を

問と作った。「会を立ち上げてしばらくの間は、会の活動と教師の仕事を分けて考えていた」と振り返る。ある時、会員の一人から「環境問題に取り組みたい」という声が出た。竹本さんは「地球規模で考え、身近なところから行動する」という基本、竹本さんの身近



と「言ったら学校では」と指摘され、分けて考えるのを勧めた。今では、学校でも環境教育をすすんで行っている。

高校生講座は4回目。今回は太田川の水質調査やゴミをできるだけでなく、出さないキャンペーンなどを話した。

講座の内容は昨年の参加者が企画した。「環境問題のツケを私わされるのは、今の若い世代。こういう志を持った人たちが、将来を担う力になってくれればいいな」と思っています」と話した。



インターネット 交差点

日常生活の身近な視点から環境問題に取り組む市民サークル「宇宙船地球号の会」(竹本伸代表、六十人)が、今年四月に開いたホーリーを「ハイキング」として、葉山へのハイキングと「三ムベージ」。「充実感と楽しさを実感する」がモットーのユニークな活動を、約二

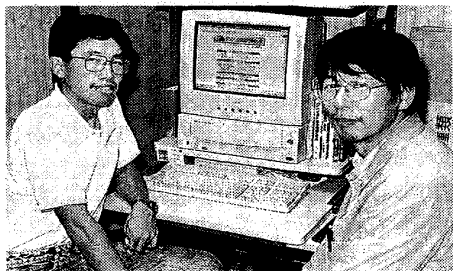
「楽しんでる様子」を伝える。百枚の写真で鮮やかに紹介する。車で行くことのできない環境問題に興味を持ってもらって、面白いイメージのある環

宇宙船地球号の会

<http://www3.hiroshima.isp.ntt.co.jp/~momiji6/>

身近な環境問題訴え

「ごみ問題に関する独自のアンケートの結果も立体グラフで発信。「買い物袋が有料ならいくらまで出しますか?」という問いへの回答から、スーパーの買い物客の「袋持参率」まで、対象は千人単位。会員の地道な調査の結果だ。アクセス数は半年で二千五百件を超えた。ホームページは、竹本伸代表と戸野直之さん(左)が手がけた。会員の戸野直之さん(左)と竹本伸代表(右)は、「見たい」に「ごみ」を拾う意識と出さないう意識の両方を深めてもらえれば」と期待している。



「宇宙船地球号の会」のホームページを更新する竹本代表と戸野さん

(25) 広島

98.7.17(中国)

7月

98.10.24(読売)

顔の見える活動盛り

寄付は急減

フィランソロピー。業の社会貢献活動と眠られ一九九〇年々々米蔵から国内に入ってきた。県内でも大手企業を中心に機運が高まったが、その結果、低所得の層。寄付金の減少に悩んで、社会貢献のやる気も弱まってきた。正統派も「(広島) 西郷(幸子) 寄附は急減」



大切な太田川学ぼう

きょうから 高校生が環境講座

高校生のための環境問題講座「太田川はひびく」が十月十日、ひびくNPOセンターの市青少年センターで開講する。環境問題に取り組む市民団体「宇宙船地球号の会」(竹本伸代表)の高校生グループが企画し、当日の参加希望も受け付けている。講座は八月二十日まで計



廃校アトリエで芸術祭

廃校になった小学校をアトリエなどに再利用する山県郡大朝町の「復興芸術村」が二十日、オープン二周年を記念して「アート・フェスティバル」を開催。「学び」を

比較するため山口県内の錦川上流でのキャンプもする。電機大の佐々木健教授、

高校生グループ代表の修道高校二年高橋俊彦君(左)は「大切な広島の水源である太田川の現状を、自分たちの手で調査してみたい」と話している。問い合わせは竹本代表宅(082)27(2)4000。

広島都市圏

情報・話題をお寄せ下さい
報道部 082-270000
西広島支局 082-270000
大竹支局 082-270000
加計支局 082-270000
千代田支局 082-270000

地球号INFORMATION

「デポジット法制定ネットワーク広島」へのご参加のお願い。

大量生産、大量消費、大量廃棄という経済社会システムの中で、ゴミ問題は年々、深刻化して来ています。

処分場の公害問題と共に処分場不足も深刻です。広島県全体では後12年で、広島市はあと3年で、一般廃棄物最終処分場は満杯になります。

一般廃棄物の内、ビン、缶、ペットボトルなどの容器包装廃棄物の占める割合は容積比で6割に当たると言われています。再使用するより「捨てた方が安くつく」ためゴミの量も年々増加傾向です。

広島市では、容器リサイクル法の施行にともない、昨年4月から佐伯区で試験的なペットボトルの収集が始まりました。この収集費用を計算すると、ボトル1本につき直接経費だけで、約26円もかかっています。

地方自治体の過大な費用負担と、消費者各個の意識に頼って、ゴミの減量とリサイクルを推し進めようとする、現行の容器リサイクル法には限界を感じます。

そこでデポジット制度

デポジット制度とは、ビール瓶などのように、商品代金に容器代を加えて支払い、容器を返却すると容器代を払い戻すシステムの事。

この制度下では、この容器により商売をし利益を得る側が、容器を回収します。消費者はきちんと容器を戻せば少しの負担、容器を捨てればたくさんの負担、商品を利用しない人は負担なしです。

このように大変合理的な制度ですから、自治体の過大な負担や、消費者の意識に頼る事なく、経済的手段により容器の回収が進みます。回収が嫌な企業は使い捨て容器は使わないでしょうし、メーカーの元にたくさんの容器が戻ってくるので再利用、再使用が自然に進みます。

海外では

欧米や台湾韓国などでは、既に飲料容器以外にも、自動車や電化製品などにも取り入れられ、飲料容器では回収率80~90%という大きな成果が見られます。

国内では

やっとデポジット法制定、推進の動きが高まって来ました。既に東京都、福岡市・北九州市・田川市等では議会から国に対し、デポジット法制定を推進するよう意見書が上げられました。

日本がゴミで埋まってしまわないよう、広島でもデポジット法制定を皆で進めましょう。ご協力お願い申し上げます。

田房ダム仮処分決定を聞いて

東広島の水を考える会」集会への連帯メッセージ

宇宙船地球号の会
代表 竹本 伸

日頃の活動、大変ご苦労様です。そして、条件つきとは言いながらこの度の地裁の決定、本当におめでとうございます。新聞を目にした時、暗いニュースに慣れっこになっている中で、「えーっ 本当？」と思わず大声を出してしまいました。

全国でも初めてであろうと言われる今回のこの決定は、まぎれもなく皆さんのこれまでの地道な運動の成果であると思います。そして、皆さんの活動は、各地で行われてきたこれまでの同様の運動のやり方に加えて、周辺の地域住民の方のみならず地域外の方へも積極的に連帯を求め、運動への理解や支援者を増やしていったという点、地道な学習会の一方でイベントなどへの参加などやわらかい発想の運動スタイルを模索したという点において、市民団体に与えた影響も少なからぬものがあります。さらに、今回の決定は、同様に裁判闘争をしている全国の市民団体に大きな希望を与えたことはまちがいありません。

私たち「宇宙船地球号の会」は、力量不足から十分に皆さんのお力になれていないことを心苦しく思っていますが、同じ広島で活動する環境系の団体として、これからもできる限りの支援や連帯をしていきたいと思っていますので、今後とも何卒よろしく願いいたします。

まだまだ、予断を許さない状況はこれからも続くと思いますが、今回の広島市長選挙といい、保守王国と言われながらも広島もまだまだ捨てたもんじゃないようです。これまで以上に一致団結してがんばってください。

資料は原告団ニュースおよび新聞記事より

田房ダム上流のゴルフ場建設の 撤回を求める訴訟原告団ニュース 〇〇〇 速報 第3号 〇〇〇

1999年2月7日
発行代表 島原 政春
担当 事務局長 奥田 眞理子
東広島市八本松町正力130-57
(TEL. FAX. 0824 (28) 6791)

仮処分決定！

ゴルフ場の建設工事を してはならない。

【仮処分申請 決定文抜粋】

平成九年(三)第三八五号 建設工事等禁止仮処分命令申立事件

決 定

当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり

主 文

- 1 別紙債権者目録1記載の債権者らが共同して本決定送達の日から三〇日以内に債務者恋文字開発株式会社のために金五〇〇〇万円、債務者株式会社間組のために金一〇〇〇万円の各担保を立てることを条件として、債務者らは、本案の第一審判決の言渡しがあるまで、別紙物件目録記載の土地において、ゴルフ場の建設工事をしてはならない。
- 2 別紙債権者目録1記載の債権者らのその余の申立及びその余の債権者らの申立をいずれも却下する。
- 3 申立費用は、債務者らに生じた費用の二分の一及び別紙債権者目録1記載の債権者らに生じた費用を債務者らの負担とし、債務者らに生じたその余の費用及びその余の債権者らに生じた費用を同債権者らの負担とする。

理 由

以下(2から83ページまで)省略

平成一年二月一日

広島地方裁判所民事第四部

裁 判 官 能 勢 顯 男

(朝日)

1999年(平成11年)2月3日(水曜日)

中

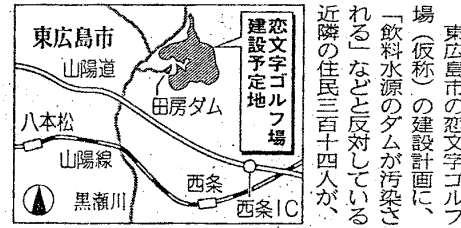
画

東広島の ゴルフ場訴訟

判決まで建設禁止

広島地裁 仮処分 ダム汚れる危険

事業主体の恋文字開発(本社東広島市)と、工事を請け負う予定の間組(本社東京)に建設工事の差し止めを求めた仮処分申請で、広島地裁は二日までに、住民側が計六千万円を供託することを条件に、現在、同地裁で係争中の同工事差し止め訴訟の判決が言い渡されるまでの間は着工を禁止する決定を出した。



東広島市の恋文字ゴルフ場(仮称)の建設計画に、「飲料水源のダムが汚染される」などと反対している近隣の住民三百十四人が、事業主体の恋文字開発(本社東広島市)と、工事を請け負う予定の間組(本社東京)に建設工事の差し止めを求めた仮処分申請で、広島地裁は二日までに、住民側が計六千万円を供託することを条件に、現在、同地裁で係争中の同工事差し止め訴訟の判決が言い渡されるまでの間は着工を禁止する決定を出した。

に基づき、開発許可を出した広島県に対しても許可の取り消しを求める行政訴訟を提起しており、いずれも係争中。

また、住民らは昨年十月には、建設予定地内に砂防指定地があるのに、同県が開発許可したのは災害を引き起こす恐れがあり、違法として、許可の取り消しを求める別の行政訴訟も提起している。

市の画 東広島の ゴルフ場

工事差し止め仮処分

広島地裁 中止訴訟判決まで

命じる決定を出した。住民を擁護することを条件に、側弁護士によると、ゴルフ場建設中止の仮処分決定は極めて珍しい。

決定は「濁水によるダム湖水の汚濁の危険性が推測できる」といううえで、「紛争の争点を解明するには第三者的な立場の専門的な判断が不可欠」と指摘。住民側が恋文字開発に五千万円、工事請負のハザマ(東京・港)に一千万円の担保を立てをしいとしている。

「真正面から私たちの主張を認めてくれたことはうれし。これを機に業者は工事を取りやめたい」と話している。これに対し、恋文字開発の財源社長は「決定には不服だ。弁護士と相談しううえで、異議申し立てをしい」と話している。

新聞記事より

ゴルフ場建設差し止め

広島地裁「濁水の恐れ」と住民仮処分認める

環境破壊につながる」として、広島県東広島市の住民三百十四人が、ゴルフ場建設計画の工事差し止めを求めた仮処分申請について、広島地裁(能勢裁判官)は二日までに、「建設中に濁水が出る恐れがある」と、開発業者の間組(本社・東京)と恋文字開発(東広島市)に、住民側がそれぞれ一千万円と五千万円の担保金を支払うことを条件に、

「工事差し止めを命じた。住民らは、同市内の山林約百六十一畝に及ぶゴルフ場建設で水道水源のダムが農薬で汚染されると、工事差し止め訴訟を提起することにも、判決までの工事差し止めの仮処分を申請した。

能勢裁判官は仮処分命令で「建設中に出る濁水を防ぐ工事がなされていない」「ゴルフ場の地盤が構造物に耐えられるか十分に調査

していない」などと差し止めを決定した。恋文字開発の中川敏興・総務課長は「異議申し立てするが検討する」としている。

富井利安・広島大総合科学部教授(民法、環境法)の話「ゴルフ場の建設差し止めが認められたのは珍しい。産廃処理場反対などで実績があったが、ゴルフ場計画に対しても有効な手法

になる」といえる。

「真正面から私たちの主張を認めてくれたことはうれし。これを機に業者は工事を取りやめたい」と話している。これに対し、恋文字開発の財源社長は「決定には不服だ。弁護士と相談しううえで、異議申し立てをしい」と話している。

東広島の ゴルフ場計画 工事禁止の仮処分

広島県東広島市に計画されている「恋文字ゴルフ場」(仮称)の建設に反対する地元住民三百十四人が、開発業者の恋文字開発(東広島市)とハザマ(東京都)に対して工事差し止めを求めた訴訟の判決が出るとして、住民側は、

「真正面から私たちの主張を認めてくれたことはうれし。これを機に業者は工事を取りやめたい」と話している。これに対し、恋文字開発の財源社長は「決定には不服だ。弁護士と相談しううえで、異議申し立てをしい」と話している。

(毎日)

(日本経済新聞)

環境情報

98年11月～99年3月末日

地球号では、新聞等からの環境問題に関する情報を収集して掲載します。記事についての詳しい資料をお求めの方は、編集部川口(0824-25-5114)までご一報下さい。

「環境汚染・破壊・自然保護」、「住民・市民運動」、「ゴミ問題・リサイクル」、「科学技術」、「政治・経済・施策」、「環境教育」、「コラム・特集」、「広島関係」、「各種イベント」

「自然保護・環境汚染・破壊」

99/03/02 東京朝刊 地方版 神奈川 A面 T990302MKN2-03
ダイオキシン：上 声の交差点 / 神奈川

「ダイオキシン騒動」のテーマに、百二人のご意見が寄せられました。二日付と三日付の二回に分けて、その一部を紹介します。

投稿者を年齢層で見ると、もっとも多かったのが六十代の二十四人でした。三十代の十九人、五十代の十五人と続きます。仕事別で一番多かったのは主婦の三十四人でした。子育て中のお母さんからの「子どもには安全な野菜を食べさせたい」という訴えが数多く寄せられました。

騒動の発端となったテレビ報道に誤解を与えた表現があったものの、行政の対応を促した点を評価する声全体を通して目立ちました。そうした投稿者は「ダイオキシンの主要発生源である廃棄物を減らす努力を始めよう」となど提案しています。

「ごみを出すのは消費者」ということを自覚して生活を見直したいという人、買い物袋を持参した客に金を還元するスーパーを教えてください、これからはトレー回収に協力したいという人……。騒動をきっかけに、自分たちで出来ることを始めたいという方々がたくさんいました。企業にダイオキシンを出さない製品づくりを求める声もありました。

政治家が所産産の野菜を食べる「パフォーマンス」で安全性をアピールしたことには、批判が集まりました。「ダイオキシンの毒性をきちんと教えて」と不安を打ち明ける人や、「日本人はちょっとしたこと騒ぎ過ぎだ」と、騒動を批判する生産者もいました。[朝日新聞社]

99/01/31 東京朝刊 5頁 オビ1面 T990131M05--12
環境破壊が目に見える 富士山(社説)

歌に詠まれ、書画や写真の題材にもなる。遠くから見る富士山の美しさは、いつも変わらない。

しかし、近づけばごみとし尿にまみれ、環境破壊を象徴する山でもある。

富士山の環境破壊の現状を国民に知ってもらい、環境保全と復元に取り組もう、という市民団体「富士山クラブ」が、三十日に旗揚げした。発起人には、ふもとの静岡県三島市出身で詩人の大岡信さん、環境問題に関心をもつ歌手の喜納昌吉さんが名を運んだ。

傷つけられた自然環境の復元は、日本各地に共通する課題である。全国のモデルとなるような環境復元事業に、新しい運動が成果を上げることが期待したい。

長年、富士山で写真を撮り続けてきた動物写真家、中川雄三さんによると、惨状は目を覆うばかりだ。

富士山には年間三千万人も観光客が押し寄せる。うち十分の一が五合目まで車で登って来る。部分的に実施されているマイカー乗り入れ制限を強化するなど、なんらかの入山規制が必要だが、観光客が減るのを恐れる業者らの反対が強い。

観光客が捨てるごみと、夏の二カ月間に頂上をめざす三十万人の登山客が山小屋に残すし尿は、自然のもつ分解能力をはるかに超えている。

ふもとの環境破壊も見逃せない。ゴルフ場が二十カ所以上もあって、山林はずたずたに切り開かれている。

原生林の残る青木ヶ原の遊歩道には、オフロード車がはいり込む。捨てイヌやネコが、ウサギやリス、野鳥のひなといった野生動物を襲う。

旧登山道には、産業廃棄物がごっそり捨てられる。富士五湖の湖岸には、釣り糸や、えさのついた針が放置されているので、それを飲んだり足にからませたりする野鳥の被害があとを絶たない。

五年前、富士山を世界遺産に登録する運動が繰り広げられた。地

元の静岡、山梨両県を中心に二百五十万人近い署名を集めたが、環境破壊がひどくて、登録の基準を満たせなかった。

こうした富士山の環境破壊に、地元の環境保護団体や自治体は、これまで手をこまぬいていたわけではない。

活動している市民団体はいくつもある。だが、取り組みが地元中心で全国的な広がりには欠けていた。「富士山クラブ」は市民団体主導で行政や企業を巻き込み、三者による国民運動をめざすという。

具体的には 富士山の周辺で活動している市民団体や自治体を支援するため、環境ボランティアのネットワークをつくる 生態系、ごみ、山小屋のトイレ問題など、富士山について何でも調査し、提言する「富士山学会」を設立する 山ろくで富士山の水を使っている企業や自治体に呼びかけて、「水と緑の育水基金」を創設し、その資金を環境復元事業や森づくりを生かす 清掃や森づくり、エコツアーなど、実践・啓蒙(けいもう)活動に取り組む。

富士山の環境破壊の現状は嘆かわしい。でもそれは、日本のあちこちで普通に見かける光景でもある。

この国の縮図である富士山の環境問題に取り組んでいくことは、各地の環境問題に取り組むさまざまな団体や人々に新たな刺激と希望を与えるに違いない。掛け値なしに美しい富士山を取り戻し、日本の誇りとしたい。[朝日新聞社]

99/02/10 東京朝刊 16頁 スポ2面 T990210M16--02
外国登山隊のゴミ、深刻 環境問題訴え 中国、ヒマラヤ開放20年

ヒマラヤ山脈にそびえる世界最高峰チョモランマ(八、八四八メートル)など数多くの高峰を抱える中国が、外国の登山家に門戸を開いてから今年で二十年目を迎えた。その窓口を務める中国登山協会の張江援・交流部部长(四五)ら代表団が、日本ヒマラヤ協会の招きで来日。十六日まで各地で登山家たちと交流を深めているが、外国登山隊の残すゴミ問題の深刻さを訴えている。

日本ヒマラヤ協会によると、昨年まで日本から二百八十九隊、約二千六百人が中国の高峰に挑んだ。

開放初年の一九八〇年、最初に日本隊が登頂したチョモランマは昨春、ネパール側を含め登頂者が延べ千人を超えた。昨年は、中国側だけで世界各国から十九隊、約三百人が入山。最高峰の人気は衰えそうもないが、ネパール側同様に登山隊の残したゴミによる環境破壊が問題となっている。

張部長によると、九二年に中国登山協会などが清掃登山を行った時、ポーター十人、家畜のヤク三十頭を使って上部ベースキャンプ(六五〇〇メートル)から約2トンのゴミを下ろした。空き缶やビール瓶、ポリ袋などほとんどが自然に分解されないものだった。八二年からゴミの持ち帰りを呼びかけている。日本ヒマラヤ協会は「テイクイン・テイクアウト運動」(余分な物は持ち込まず、持ち込んだ物は持ち帰る)を進めており、現地では日本隊の評判は良いという。

だが、現在も外国登山隊の一部には、ゴミを残したまま帰国する例もあり、張部長は「ヒマラヤの自然はかけがえのない資源、ということに登山者が自覚してほしい」と話している。[朝日新聞社]

「住民・市民運動」

99/02/04 大阪朝刊 地方版 奈良B面 O990204MNLB-07
吉野町のゴルフ場工事差し止め訴訟が結審 判決は来月予定 / 奈良

吉野町で村本建設などが計画しているゴルフ場「吉野桜カントリークラブ」(仮称)の建設工事差し止めを求めて住民が起こした訴訟の第三十四回口頭弁論が三日、奈良地裁葛城支部(宮本定雄裁判長)であり、結審した。判決は三月二十四日の予定。

住民側は、森林の破壊や治水対策が不十分であり、下流域で災害が発生する可能性が高い 農薬が使われると、健康を害する可能性がある 「歴史的環境権」が侵害される、などと主張した。

一方、村本建設側は、吉野町も計画ビジョンに賛同しており、原告らの主張はごく少数であるとしたうえで、災害が生じるとは考えられない 河川への流出防止策を最大限とるため、農薬の問題はない 「歴史的環境権」を法的な権利として認めることは困難だ、などと主張している。[朝日新聞社]

99/02/05 東京朝刊 地方版 静岡C面 T990205MSOC-11

県の開発許可取り消し、市民団体申し入れ 伊東のゴルフ場 / 静岡

相模鉄道(本社・横浜市)が伊東市赤沢地区で計画しているゴルフ場開発をめくり、市民グループの「伊東の自然と命を守る会」と「緑と水の環境会議」のメンバーは四日、開発計画の許可を取り消すよう県に申し入れた。

開発計画によると、相鉄はゴルフ場百二ヘクタールと別荘地三十四ヘクタールを建設。土地造成に伴う増水に備えるため、開発地区を流れる赤沢川の下流域を中心に改修工事を行うことになっている。

この計画に対し、県は一九九四年七月、「二年以内の工事着手」を条件に開発を許可。しかし、着工が遅延し延び延びになっていたため、県は九六年七月に工事着手の期限を改めて二年間延長した。相鉄側は期限ぎりぎりの昨年七月、河川工事に着手するとの届け出を伊東市に提出していた。

しかし、「緑と水の環境会議」の岡本裕市さんらは「実際には工事に着手した形跡がなく、期限を過ぎている」と主張。「開発により海岸への土砂の流入が減って砂浜がやせる」という理由とあわせて、開発計画の許可を取り消すように求めている。

相鉄地域開発部は「計画は県と市の指導を経て許可されており、環境への影響は問題ない。工事はまだ準備段階であるというだけで、すでに着工している」と説明している。[朝日新聞社]

99/03/16 大阪朝刊 地方版 奈良B面 0990316MNLB-05
「ゴルフ場の開発許可取り消せ」 吉野の住民、県に申し入れ / 奈良

吉野町の吉野山近くに計画されているゴルフ場「吉野桜カントリークラブ」に反対する地元の「吉野町六田区水利対策委員会」(梅本愛作委員長)は十五日、県に開発許可の取り消しを求めた申し入れをした。

申入書は「乱開発で環境破壊が進んでいる。県は開発許可を取り消し、吉野町への指導を徹底すべきだ」としている。[朝日新聞社]

99/03/25 大阪朝刊 33頁 3社面 0990325M33--05
吉野山ゴルフ場建設工事差し止めを命令 奈良地裁葛城支部【大阪】

桜の名所として知られる奈良県・吉野山の隣にゴルフ場が建設されると歴史的な景観が壊され、災害をもたらす可能性もあるとして、地元住民らが村本建設(本社・大阪市)などを相手に工事の差し止めを求めた民事訴訟の判決が二十四日、奈良地裁葛城支部であった。宮本定雄裁判長は「事実上倒産した村本建設に安全管理が十分できるか疑問」などとして、工事の差し止めを命じた。住民らが主張した歴史的環境権については「権利として明確でない」として認めなかった。住民側弁護士によると、判決でゴルフ場の工事が差し止められたのは珍しいという。[朝日新聞社]

99/03/14 大阪朝刊 20頁 2家庭面 0990314M20--03
ゴミを学び、ゴミを反省(きしゃきしゃ走れ) 【大阪】

「吉永町の女性パワーと行動力に脱帽です」「ドイツ人の環境に対するすさまじいばかりの考え方に驚きました」「授業で教材として使います」

昨年、全国で三例目の住民投票で産廃処分場建設を拒否した岡山県吉永町の主婦らでつくる「水を守るグループ」が、環境対策先進国のドイツを訪問した記録を冊子にまとめ、自費出版した。家庭面で紹介したところ、グループには全国各地から冊子の注文と反響が多数寄せられた。二千部発行した冊子は売り切れ、増刷を検討中だ。

安全な水を守り、子どもたちによりよい地球を残したい。ゴミを少しでも出さない社会に変えるにはどうすればいいのかを考え、できることから行動しよう。これが、彼女らが冊子で一番言いたかったことだ。

世話人の岡本富美子さん=写真=は「ゴミ問題に悩んでいる人がこんなに大勢いるんだと実感しました。私たちにできることは投票と購買力。この二つの力を駆使して社会を少しでも変えていきたい」と話す。

吉永町では現在、家庭から出るゴミの分別収集を徹底するばかりでなく、食品トレーや牛乳パックなどは資源として再利用し、生ゴミのたい肥化にも積極的に取り組んでいる。

我が身をふりかえった。新聞、原稿を印字したモニター、コピー。

おびたしい紙に囲まれた職場で、どれだけ紙をむだ遣いしているだろうか。家庭でもリサイクル、リユースが実践できているだろうか。便利な生活に慣れて、ゴミを出しすぎているような気がして、反省することしきりだ。(浅)[朝日新聞社]

99/03/25 東京朝刊 地方版 東京C面 T990325MTK2-04
市民立ソーラー発電所 江戸川で準備、NGO助成・寄付募る / 東京

地球温暖化を防ぐために自前の電気を作ろうと、江戸川区の市民グループが太陽光を利用した「市民立発電所」建設を進めている。発電量は五キロワット余と少ないが、余った電気を電力会社に売りながらノウハウを蓄積し、将来は第二、第三の発電所も建てる計画だ。行政や電力会社に頼ってきた電源開発を市民の手でできることを示すのが狙い。助成金や売電などを含め、定期的に収支などを公開、自然エネルギー自給システムが広がるのに役立てたいという。

自前の発電所を持つ計画を進めているのは、江戸川区の市民グループ「足元から地球温暖化を考える市民ネット・えどがわ」(略称・足温ネット)だ。地域ぐるみで温暖化問題に取り組もうと、一九九六年末に発足し、会員は約百人。

太陽光発電所は、同区東小松川二丁目の寺院「寿光院」に設置される。寺の住職の大河内秀人さん(四一)は同ネットの運営委員だ。寺の客殿が新築されることになったため、太陽光パネルの設置に都合のいい広い屋根の南側斜面を利用することにした。

建物への設置は、屋根が完成する五月か、建物全体が完成する七月以降にしたいという。設置も、同ネットなどの市民グループが自前で行う計画だ。

設置費用は六百万円近くになるが、その半分は、太陽光発電の助成をする非政府組織(NGO)「自然エネルギー推進市民フォーラム」などから受ける計画。不足分は、環境に優しい事業などに融資する金融機関「未来バンク」(江戸川区内)から融資を受けるほか、市民からの寄付でまかなうという。

寄付については、昔から寺を建てる時に寄付を集めた「かわら寄進」をヒントに、「太陽かわら寄進」の名前で行いたいという。二十六日に同ネットの会員たちが今後の計画を話し合い、百万円を目標に、四月から広く区民に協力を呼びかけていく。五月二十二日には太陽光発電をテーマにしたシンポジウムも計画している。[朝日新聞社]

「ゴミ問題・リサイクル」

99/01/05 東京朝刊 地方版 神奈川C面 T990105MKNC-03
ごみを追って 「行政の壁」に風穴(民主主義の学校:2) / 神奈川

一九九六年七月二十七日。

鮮やかな夏空の下、漁船は徐々に速度を落とし、小さな島の桟橋に滑り込んだ。瀬戸内海・上黒島。

小田原市の市民団体「酒匂川流域の水源を守る地域連絡協議会」の四人が、上陸した。

広島県下蒲刈町にあるこの島は東岸から中央の緑地がえぐられ、ごみの最終処分場になっている。

「私たちが捨てたごみの末路だ」。協議会事務局代表の山田純さん(四九)や小田原市議の遠藤礼子さん(四四)たちは、灰色の地表に目を凝らした。

小田原市は九四年以降、市内で排出された家庭ごみの焼却灰を、業者に委託して上黒島に捨てている。市内にある処分場があと一年半くらいの余地を残してほぼ満杯となったからだ。

三カ月前。

「焼却灰ってどこに出してるんですか?」と、遠藤さんが市役所で尋ね回っていた。「搬出先の自治体と公表しない口約束をした」という理由で灰の搬出先は公表されないが、「広島のとにかくクロシマ」という断片情報を聞き出した。それを聞いた山田さんは、自宅で地図を広げた。「クロシマ」とつく島は三つほどあった。広島市の市民団体の仲間に電話で尋ねた。仲間は上黒島に処分場があることを突き止め、島の航空写真を送ってくれた。

「まさかこんな所に……」。処分場の多くは山間部にあり、無人島に造られた例は知らなかった。すぐ仲間に呼びかけ、漁船をチャーターした。

山田さんは協議会の会報で上黒島の現状を記し、小田原、藤沢、

茅ヶ崎市などの市民団体の集会で報告した。事態は思わぬ広がりを見せ始めた。「茅ヶ崎や藤沢の焼却灰も上黒島で処分されている」。ごみ問題に取り組む市民たちに、こんなうわさが広がった。

九七年二月十二日。

「ちがさき・ごみ会議」のメンバー有竹和子さん(四九)が茅ヶ崎市に、焼却灰の処分先を明らかにするよう情報公開請求をした。「自分たちのごみの処分先を知らされないなんておかしい。市は焼却灰搬出の実態を市民に知らせ、ごみ問題の切実さを訴えるべきだ」

茅ヶ崎市が公開に応じない場合に備え、比較的公開度が高いとされる藤沢市にも同様の開示請求をした。

九八年七月。

藤沢市が先に、下蒲刈町と交わした確約書を公開した。十月一日には、茅ヶ崎市も確約書を公開した。公開が引き金となり、藤沢市は八月十四日付で、下蒲刈町への搬入を拒否された。市民たちの調査で大和、伊勢原、秦野の各市も上黒島で焼却灰を処分していることが明らかになった。しかし、小田原など四市は処分先をいまだに公表していない。

ごみの行き先は突き止めた。だが、それで問題が解決するわけではない。どうやって、ごみを減らし、環境を守ってゆくのか。ごみを処理する自治体は、その場しのぎを続けているだけのように見える。「いまのごみ行政は、国が決めた基準を市町村に押しつけているだけだ」と山田さんは思う。

協議会の仲間たちはいま、給食残飯からの土づくり、天然素材の住宅建設などに取り組む。消費者の立場でできることを一歩ずつ進め、「燃やすごみを減らし、ごみをリサイクルする社会を作るのが遠い目標だ。上黒島が灰で埋まったら、次はどこに捨てるのか。小さな試みを広げることで、社会を変えるしか解決の道はない。

「住民運動が各地で立ち上がり、国でなく地域が決定権を持てるようにするには、地域なくして国家なしです」

緑がえぐられた小さな島が、私たちの社会のあり方を告発している。[朝日新聞社]

99/01/06 西部朝刊 10頁 2経面 S990106M10--06
環境コンビナート 課題は採算(胎動 新けいざい:3) 【西部】

新日本製鉄が所有する北九州市若松区の響灘地区の埋め立て地。五十万本を超えるペットボトルが毎日リサイクル工場で粉砕され、ポリエチレンの再生樹脂に生まれ変わっていく。事業を立案したのは八幡製鉄所の総務部開発企画グループ部長、川崎順一さん(五〇)だ。自分の背広を指さし、「これもペットボトルが原料なんですよ」と笑った。

製鉄所の設備管理から、九四年七月に開発企画部に異動し、遊休地の利用計画作りを始めた。九五年、ペットボトルリサイクル推進協議会から「広島以西の回収工場を造らないか」と持ちかけられた。

だが、本社の反応は冷たかった。「鉄冷え」の中で多くの多角化事業に挑んだが、成功例は少なかったからだ。「環境事業の意義はわかる。でも、採算がとれるのか」。こう問われた川崎さんは、九州の自治体で回収数を調べ、再生樹脂の購入を繊維メーカーに要請した。本社は「八幡製鉄所の事業としてなら」と承認し、西日本ペットボトルの誕生にこぎつけた。

環境問題とエコタウン事業への関心が高まり、川崎さんの元には、進出希望企業からの問い合わせが相次いでいる。全国からの見学者は三千人を超えた。

三菱化学グループの廃棄物処理会社、新菱(北九州市)は一月、事務機メーカーのリコーと共同出資で、コピー機やファクスなどOA機器のリサイクル工場を建設する。

北九州市門司区のパウダーコーポレーションは、社員三人の所帯だが、半導体のプリント基板の研磨剤の再生方法を開発した。宮崎良忠社長は「三年先を見越せば、商売になる。今のうちに手をあげよう」と、エコタウンへの進出を希望している。

だが、期待と裏腹に課題も増えている。

先発の西日本ペットボトルでは、回収率が低く、再生品の利用が順調に進まない。規模拡大のため、「市民と行政の協力が不可欠だ」(鹿子木公春社長) O

A機器の場合、回収率は九五%に達するが、製品の世代交代が早いことなどから、再生の道が限られ、当面は赤字が続くそう。

新日鉄自身、どこまで環境事業に取り組むか、悩んでいる。環境コンビナートの下水道などの基盤整備や、最新鋭焼却炉の建設は、新日鉄の仕事だ。だが、収益が大きいとは言えない環境事業に、数百億円規模の設備投資は容易でない。

このため、コンビナート進出企業に用地を売却し、少しでも資金を得たいところだ。だが、川崎さんは「各社の事業が軌道に乗るまでは、賃貸方式にしてほしい」と主張し、本社と綱引きを続けている。環境事業に採算性という重荷がのしかかっている。[朝日新聞社]

99/01/18 大阪夕刊 3頁 ゆめ1面 0990118E03--01
生ごみのリサイクル(コンビニへ行こう) 【大阪】

大量消費時代の最先端にあるともいえるコンビニだが、各社それぞれに知恵を絞り、環境問題や省エネルギー、資源の再利用に目を向け、各種の試みに取り組んでいる。

ローソンは、昨年五月から京都市内の店舗を対象にして「生ごみリサイクルシステム」の実験を始めた。店舗から出る弁当類やそう菜などの生ごみをコンポスト(たい肥)化して有機肥料を作り、それを契約農家の野菜生産に使う。出来た野菜は、ローソンで販売する弁当類やそう菜に利用する計画で、ごみの削減と資源の再利用を目指す試みだ。

実験には京都市内の百三十五店舗が参加、店側で分別した生ごみを専門の業者が収集し、京都府八幡市にあるリサイクルセンターに運ぶ。ここで二週間ほどかけて一次処理したあと、二次処理施設でコンポスト化し、有機肥料を作ってきた。有機肥料は、鳥取県米子市の契約農家でダイコン、サトイモなどの生産に使ったほか、一部は長野県内のレタス農家へも送られた。

契約農家・岡野農場の岡野修司社長は「二十トンほどの有機肥料が届いた。すでにおいしいダイコンがおでんになって、ローソンの店頭に出ている」と満足げ。また、生ごみの収集リサイクルセンターの運営をする安田産業の松原右児営業課長は「実際にやってみると、季節によって生ごみの量が増減するなど問題はあったが、全体的には七十点はとれる成績」と話している。

ローソンは、すでに神奈川県でも同じ試みを実施しており、将来的にこの生ごみリサイクルシステムを全店に広げていきたいといっている。[朝日新聞社]

エコショップ(コンビニへ行こう) 【大阪】

ファミリーマートは二年前から、省エネルギー、省資源を考えた新しいタイプの店舗「エコショップ」の実験を進めている。太陽光発電を店内照明に使うなど、実際の店舗で試して将来の店舗づくりの参考にする計画だ。併せて、お客さんにも環境問題に取り組む姿勢をPRしていくという。

エコショップは、いずれも太陽光発電システムを採用、太陽光パネルを屋根にのせているので一目でわかる。一九九七年八月、第一号として横浜市の港南台インター店が誕生、これまでに神奈川、茨城、鹿児島、宮崎各県に計五店ができた。

港南台インター店の場合、太陽光パネルの発電出力は一〇・四四キロワット、年間発電量は一万一〇〇〇キロワット時。この電力で店内照明用の電力のうち、四五%をまかなっている。

さらに、つくば谷田部店(茨城県つくば市)では実験を一步進め、内外装の一部にリサイクルの建築資材を使ったり、冷暖房費節約のために建物気密化したり、在庫室に採光のための天窗を設けるなど工夫をした。また、消費者にも一緒に考えてもらおうと、環境問題をテーマにした展示スペースも設けている。店内照明やイルミネーションに太陽光発電の電力を使った結果、月平均で約九万円の電気代が節約できた、という。

ただ、エコショップは、太陽光発電システムなどの設備類が標準店舗に比べて一・七倍ほど高くつくなど課題もある。ファミリーマート本部は「将来を考えれば環境問題は重要な課題だ。発電装置などは量産化でコストは下がるはず。近々、関西圏にもエコショップをつくりたい」といっている。(喜田洋)

99/02/01 大阪夕刊 3頁 ゆめ1面 0990201E03--01
ペットボトル(コンビニへ行こう) 【大阪】

青地に胸元を飾るショッキングピンクのアクセントが印象的なam/pmのユニホームは、ペットボトルの再生繊維が使われている。コンビニ業界の中では、いち早く一九九七年五月から採用しており、「真剣に環境問題と取り組んでいる当社の一つの表現」という。

ペットボトルは、八二年に登場した。瓶や缶に比べて軽くて丈夫で、見た目もスマートなことから清涼飲料水などの容器として急速に普及した。現在では一・五リットル容器に換算して年間約三十二

億本が生産されている。ところが、ごみとして出された場合、焼却すると高温を発生して焼却炉を傷め、埋めてもかさばるうえに腐らないなど、社会問題にもなった。

もともと、繊維のポリエステルと同じ原料からできており、ごみの減量化や資源の再利用をはかるため、回収後に繊維として再生、その利用が進められてきている。

着心地や吸湿性などもあって、am / pmが採用したユニホームはペットボトル再生糸五〇％、綿五〇％の混紡だ。全国に約千店あり、平均十人の店員がそれぞれ着替えを含めて二枚のユニホームを持ってるとすれば、ざっと二万枚が使われている。

また、サンクスも昨年五月からペットボトルの再生糸を使ったユニホームに切り替えた。こちらは再生糸一〇〇％素材で、二千三百二十五店で使うために約五万着を作った。一着につきペットボトル（一・五リットル入り）約十一本が使われているので、合計で約五十五万本のペットボトルをリサイクルした計算になるという。[朝日新聞社]

99/02/06 東京朝刊 地方版 静岡C面 T990206MSOC-01
わりばし、紙製品に再生 中伊豆3町の温泉旅館 / 静岡

「また会う日までわりばしくん」。中伊豆地区の伊豆長岡、修善寺、天城湯ヶ島三町の温泉旅館で使用された割りばしが、回収されて再生紙の原料に使われることになった。伊豆半島の活性化を目指して二〇〇〇年に開催される「伊豆新世紀創造祭」を控え、環境にやさしい伊豆をPRするのが目的だ。回収された割りばしはコースターなどに生まれ変わって旅館に戻る予定だ。しかし、コストの問題などもあり、「また会う日まで...」のキャッチフレーズ通り、リサイクルされてきちんと帰ってくる事ができるか、克服すべき課題も残されている。

県の伊豆新世紀創造祭推進室によると、三町の温泉旅館組合に所属する旅館は約百施設。一年間に使われる割りばしは、五トン前後に上るとみられる。これまでは焼却処分されていたが、今後は富士市の製紙会社「大興製紙」に運ばれ、再生紙の原料に使われる予定だ。九日、一回目の回収が行われる。

割りばしリサイクルでは、熱海温泉旅館組合が愛知県春日井市の王子製紙春日井工場に使用済みのはしを運んでいる例がある。こちらは、自然保護などの思いから森林伐採を最小限に抑えようと、組合が運搬費を負担したうえで原料として使ってもらっている。今回のように、出来た再生紙を旅館で再び使うケースは珍しいという。

実用化された場合、使用済みでバラになった割りばし六本でA4判コピー用紙一枚、約三百三十本でティッシュペーパー一箱になる。回収を提案した旅館経営者ら約百二十人の集まり「宿泊システム研究会」では再生紙を旅館備え付けのレターセットやコースターに使うアイデアが出ている。

一方、リサイクルを巡る大きな課題として挙げられるのがコストの問題だ。割りばしを使った再生紙は材木を使ったものよりコストがかかるとされる。大興製紙は、過去に割りばしを原料にしたことはなく、これからコストを算出することにしている。担当者は「結果次第では、こちらが原料費を支払うのではなく、割りばしの『処分料』を支払ってもらうことがあるかも知れない」という。

もう一つの問題が、割りばしとゴミの分別だ。回収した割りばしにポリ袋などが混ざっている場合、工場側にかかる分別の負担はより大きくなる。「研究会」は旅館の関係者に対し、分別を徹底するよう呼びかけている。県推進室は「使った割りばしが製品として帰ってくれば、訪れるお客さんに感動を与えられる。実現に向けて具体的に検討していきたい」と話している。[朝日新聞社]

99/02/09 東京朝刊 17頁 1家庭面 T990209M17--03
自然に優しいおしゃれ 環境素材で服づくり 長野の岡正子さん

衣服と環境問題との関係についての関心が高まりつつある中、この問題に真正面から取り組むデザイナーが出てきた。長野市の岡正さんは、リサイクル素材や分解しやすい繊維を使った服作り、ゴミ問題や高齢社会を考えるファッションショーなどを手がけ、その活動ぶりが注目されている。

昨年の長野冬季オリンピックに合わせて、再生ウールやペットボトル繊維などの環境素材によるファッションショーを手がけた。

「豊かな自然が生み出す生命の温かさや優しさを服で表現したい。そのためには、服が自然環境を壊してはいけない」と岡さん。

先月末には東京・銀座で「自然を衣(い)る」と題した新作のコレクションを開いた。絹素材で木や石、水などのたたくまいを表現し、同時に軽くて活動的なデザインの上着やスカート、カーディガンなどを並べた。柔らかく奇をてらわないラインの服だが、織りなどで工夫した伸縮性があり動きやすい。

「今の女性は、自然とハイテク、優しさと合理性、伝統と現代性など常に両義性のある服を望んでいると思う」と話していた。[朝日新聞社]

99/02/16 東京朝刊 地方版 山梨A面 T990216MYNA-08
受け入れ先ない固形燃料、ごみ扱いで焼却 峡南衛生組合 / 山梨

富沢町万沢に可燃ごみを固形燃料にする施設ができたものの、その固形燃料(RDF)の受け入れ先が見つからない問題で、県などから要請を受けた峡南衛生組合が十五日から、RDFを可燃ごみと混合燃焼するテストを始めた。同組合は、炉の異常の有無やダイオキシンなどの測定結果をもとに受け入れるかどうかを決める。

ごみ固形燃料化施設は、富沢、南部両町の甲南環境衛生組合(管理者、望月秀次郎・富沢町長)が県の助言を得て建て、四月から稼働する。可燃ごみを圧縮乾燥させて固形燃料にする県内初の施設だ。ところが、県が企業などにRDFの受け入れを打診したが、高熱が出るため炉を改良しなければならぬとして断られている。このため、中富、早川町など五町の峡南衛生組合に焼却場で当分の間、燃やしてほしいと要請、試験焼却してやることになった。

十九日まで五日間、ごみ固形燃料化施設の試験運転で生まれるRDFを一〇％混合して燃やし、炉などの燃焼施設に異常がないか点検したり、ダイオキシン濃度を昨年十月に測定した結果と比較したりする。

RDFは直径一・五センチほどの棒状で、保存も運搬もしやすく、本来なら燃料として売れるという。燃焼試験を視察にきた望月町長は「当分はごみとして焼却をお願いしたいが、リサイクル施設としての本来の機能が発揮できるよう、県が受け入れ先のめどを早くつけてほしい」と話していた。[朝日新聞社]

99/02/19 名古屋朝刊 29頁 1社面 N990219M29--01
ごみ後進都市、返上なるか 市民ら評価 名古屋市が宣言【名古屋】

遅ればせというか、ついにというか、名古屋市が十八日、思いきったごみ減量策を発表した。藤前干潟の埋め立て計画に頼って、これまで、ごみ行政が遅れていたが、計画を断念したことで、二年で二十万トン余も減らす、高い目標を掲げた。記者会見した松原武久市長は「ごみ減量の先進都市として新しい世紀を迎えたい」と、市民に何度も協力をお願いした。これまでごみ問題に取り組んできた市民グループからは「もっと前からやっていたら……」という声もあったが、市のやる気は歓迎された。(1面参照)

具体策は3本柱 1人100減量 / 企業から収集有料化 / 生ごみ、たい肥に

名古屋市が十八日発表したごみ減量の具体策は、おおまかに分けて市民、企業との連携や市自らの努力による三本柱で、次のような内容だ。

市民には、買い物袋の持参運動などで「一人一日百グラム」のごみ減量を呼びかける。

また、瓶、缶の分別収集や、ごみ袋の透明、半透明化によって一九九九年で十一万八千トン、二〇〇〇年度に十七万四千トンの減量を目指す。

企業との連携では、一日十キロ以下なら無料だった事業系ごみの収集を、二〇〇〇年四月から全面的に有料にする。市の焼却施設は、すでに今年二月から事業所から出る紙ごみの受け入れをやめており、事業系ごみは九九年度で三万五千トン、二〇〇〇年度で五万七千トンの減量を目標とする。

市自らも、市庁舎内の食堂や市の医療施設の給食から出る生ごみをたい肥化する。市内の小学校には生ごみ処理機を試験的に導入し、街路樹のせんでいで出た枝をチップ化したりする考えだ。

99/02/19 99/02/24 大阪朝刊 地方版 京都A面
0990224MKY2-03
4倍以上の大差 ごみの収集率(くらべてみれば) / 京都

人の営みがあるところに、必ず生まれてしまうのが「ごみ」。近年は焼却処理時に発生するダイオキシンなどの危険性が指摘され、増え続けるごみの排出量抑制や、分別収集への取り組みが各地で進

んでいる。では、ごみの収集量は市町村によってどのように違うのだろうか。排出量に対する収集量の割合である収集率を比較すると、一〇〇%に達する自治体が珍しくない一方で二〇%台の町もあった。資源の有効活用を目指してリサイクルに励む自治体ほど率が下がる傾向もあり、ごみ問題解消の手がかりが透けてみえた。

一九九七年度の年間総収集量が総排出量に占める割合を、府の調査に基づいて比較した。

一〇〇%に達しているのは京都市を含めて十六市町あった。京都市地球環境政策課によると、一〇〇%に達したのは九二年度。当時は家庭ごみ、缶やびんといった資源ごみ、家具や自転車を含む大型ごみなどを合わせた市の総収集量は計三十六万三千余トン。九七年度は計三十六万八千余トンに微増するなか、リサイクルに回す資源ごみの量が約三倍に増えたのが目立っている。

「九六年度にびんの収集地域を市全域に拡大し、ペットボトルと紙パックの収集も九七年秋にスタートさせたのが影響した」と担当者話す。

一方、最も収集率が低かったのは大江町。総排出量千八百二十トンに対し、総収集量は四百十三トン。残りは自分で始末する「自家処理」分という。町によると、二番目に収集率が低い三和町などと計三町でつくるごみの処理組合では可燃ごみの場合、一枚八十五円の有料袋の使用を義務づけてきた。町町民課は「ごみ処理には金がかかるという意識が町民に根付いてきた」と指摘する。町の購入費助成制度が奏効したこともあって、生ごみをたい肥に変えるコンポストが普及し、農業で活用されていることが自家処理量を押し上げた要因の一つという。

三番目に低い美山町でも事情はほぼ同じ。ごみの総排出量千六百三十九トンのうち、自家処理分は千四百四十六トンに達する。千九百世帯の八割がコンポストで生ごみを処理しているという。

これらの町では、一部でまだ自宅での「野焼き」が続けられるなどの問題もあるが、分別収集や住民への啓発が進めば、一気にごみ問題の「優等生」になる可能性を秘めている。[朝日新聞社]

99/03/07 名古屋朝刊 24 頁 2 社面 N990307M24--01
ごみと向き合う 非常事態宣言の名古屋から：下 【名古屋】

名古屋環境事業局の電話が鳴った。
「トレーを集めようと思うが、そのあとどうすればいいでしょうか」。市民の問い合わせだ。

ごみ非常事態宣言を出した翌日の二月十九日から、こうした電話は一日十数件にのぼる。「対応が大変だった」とは言うが、職員表情は明るい。

その十九日、松原武久市長は市役所に二十三局室と十六区役所の五十五人の幹部を集め、市あげてのごみ減量を指示した。

環境事業局は、今月中旬をめどに各局から方策を挙げてもらうことにした。かざは生ごみと紙ごみとみている。

市役所本庁舎の北東角に生ごみ処理機が置かれている。本庁舎の二つの食堂の食べ残しを堆肥(たいひ)にしようとする導入した。

だが、市職員互助会の兼善正夫事務長は意外そうな表情だ。「ごみを入れれば簡単に堆肥になると思ったんですが……」

処理機は意外に気難しい。一日五十キロのごみを処理する能力はあるが、ご飯が多いと、水分で発酵温度が上がらない。たんばく質が多いとアンモニアが発生してしまう。

「市民向けに目立つ所に置けという意見もあるが、においがある。夏はどうなるか」。機械との付き合いは始まったばかりだ。

生ごみ処理機は四小学校が試行で置いた。新年度はさらに広げる。一月に校庭に置いた名東区の引山小学校でも試運転の段階で、堆肥ができたなら花壇で使おうと考えている。

だが、五百四人の児童の給食からは、献立にもよるが一日約三・二十キロの食べ残しや調理くずが出る。花壇だけで使い切れるかどうかが問題だ。

紙ごみの回収では、市役所は一九九三年から毎週木曜日を「庁内リサイクルの日」としてきた。

市役所から出た紙ごみは九七年度が一千二百五十九トン。最も多いのは新聞や雑誌で五百一十トン。コピー用紙やパンフレット類四百七十九トン、公文書が二百六十八トンの順だ。全体の資源化率は八五%だ。

「OA化すれば紙ごみが減るかというところじゃない。かえって紙で資料を持ちたいと思うようだ」

減量推進室の古田弘英主査は言う。二〇〇〇年度で九〇%が目標だが、一〇〇%達成は容易ではない。

職員の努力では減らない市のごみもある。

「袋を開けたら、ぬかが入っていたことがある」

地下鉄の駅の清掃に携わって十六年になる市交通局協力会の篠田悦子さんはこんな体験をした。

中区の伏見駅では、篠田さんら四人が一日四回、十力以上のごみ箱から回収する。駅に近い御園座の観劇客が弁当箱を捨てて行くし、トイレで取り替えるのか、紙おむつも目につくようになった。

これまで、新聞紙や雑誌、飲みかけの缶ジュースなどがいっしょに捨てられてきた。篠田さんは同僚たちと駅の資材保管用の倉庫で分別し、缶は一つずつ水洗いしていた。

市は、四月から地下鉄全駅に分別用のごみ箱を設ける。篠田さんの仕事が楽になるかどうか、駅の利用者がかぎを握る。

その地下鉄では、定期券や回数券などの磁気膜付きカード類が年間約二十トンのごみになっている。JR西日本では、昨年六月からリサイクルして社員用の名刺や記念品のトランプにしている。やれることは、探せばまだありそうだ。

三月一日、市役所内に総務局長名であらたな文書が出された。「庁内におけるごみ減量化について」。紙ごみの分別を一気に十分類にし、空き缶や空き瓶は購入した店に返すことを職員に徹底する内容だ。

「職員には少し酷かもしれないが、同じ紙でも何が再生可能なのか、分別の知識を持ってもらわないといけない」と総務局。ごみ対策を批判され続けてきた市の意識改革である。

99/03/08 東京夕刊 10 頁 月曜科学面 T990308E10--08
ごみの責任 堤寛(病理医の目)

鳴き砂で知られる京都・丹後半島の琴引浜に、使用済みの注射針が落ちてると報じられたのは二年ほど前のことだ。針の海洋投棄らしい。

産業廃棄物処理場などへも、点滴セットや注射針が「不法投棄」されるのはなぜだろうか。

廃棄物の運搬・処理業は知事の許認可制だが、下請けに出すことによるごみのたらい回しや、微量の医療廃棄物を大量の建築廃材とまぜて処理することなどが後を絶たない。行政のチェックも不徹底だ。

ごみは一般廃棄物と産業廃棄物に分類される。日本では、一般廃棄物は市町村の責任で処理するが、産業廃棄物には「排出者責任」を課している。

世界的にみてこれは例外的だ。最先進国ドイツでは、「ごみは資源」「ごみ問題は地域・国家レベルで取り組むべき環境問題」として、個人や企業の良心にまかせず、環境を共有している地域の共同責任で対処する。当然、分別による再利用、再資源化をめざす。分別を怠ると高い料金を請求される。焼却が原則の日本のごみ処理との落差は大きい。

排出者責任を問われる日本の病院には、理不尽にも医療廃棄物処理費の収入源がない。厳しい経営の中、処理にかかる費用をむやみに抑えようと、思わぬところに注射針が現れる。

(東海大学助教授)[朝日新聞社]

99/03/01 東京夕刊 10 頁 月曜科学面 T990301E10--08
リサイクル 堤寛(病理医の目)

蒸留とは液体の沸点の違いを生かして、二種類以上の混合物から純粋な液体成分を分離精製することだ。

水とアルコールを分ける実験を思い出す人も少なくないだろう。この原理を利用し、数年前から、病理検査に使われるアセトン、アルコール、キシレンなどの有機溶剤の再生、再利用を始めた。最初は実験室用の簡易蒸留装置だったが、現在では専用の大型蒸留装置でアルコールとキシレンを再生している。

操作はワンタッチで、熟練を要さず、日常業務の合間の作業で十分だ。

こうした「地球環境にやさしい病理検査」は欧米では常識になっている。有機溶剤の購入費と廃液処理費が節約され、一年程度でもとがとれる。なのに、わが国ではあまり普及しない。

病院では、使い捨て万能主義が横行している。たしかに注射針、注射筒、ゴム手袋、マスク、ピペットや手術着は使い捨てが正しい。再利用は危険だし、かえって金もかかる。

だが、現実には、必要のないものまで使い捨て。かくて環境問題には目もくれない独善的医療者ができあがる。企業経済論理や、環境に優しい製品を優先して選ぶ「グリーン調達」の考え方を病院に導入するのはなかなか難しい。

(東海大学助教授)[朝日新聞社]

99/03/12 東京夕刊 6 頁 マリ二面 T990312E06--02

ペットボトル再生商品(いまだきモノ語り) マリオン

軽くて割れない、ふたができる、そんな特徴がうけてすっかり定着したペットボトル。スーパーやコンビニでも回収箱を見かけるようになったが、リサイクルはどう進んでいるのか。

PETボトルリサイクル推進協議会によると、一九九七年度の回収率は九・八％。そのうち七二％が繊維製品に再生されている。石油から作られるポリエチレンテレフタレートという樹脂を膨らますとペットボトル、溶かして糸にするとポリエステル繊維になり、素材的には兄弟と言えるからだ。

米国のアウトドアウェアメーカー・パタゴニアは九三年から再生ポリエステルを使った衣類を販売している。ポリエステルフリースの定番商品「シンチラ・スナップT」(一万五千元)には二リットルボトルが十五・二十本分使われている=写真。

山喜はシャツブランド「グローバル・ファミリー」に再生ポリエステルを使う。綿五〇％、パーズンポリエステルと再生ポリエステルが二五％ずつの混紡で、シャツ(四千九百円)一枚に一・五リットルボトル一本分が入っている。

家庭用品にもペットボトル再生繊維を使った商品が登場している。川島織物は再生ポリエステルを二五・五〇％使用したカーテンをオーダー販売(一メートル当たり千円から)。売り上げは好調で、柄も現在の十種から増やしていく予定だ。

どの商品も手触りや強度に従来品と大きな差はないという。生産コストは再生の方が高くなるが、ほとんどのメーカーが環境問題に取り組む企業イメージを考えてか、価格を従来品と同程度に抑えている。

PETボトルリサイクル推進協議会は、九八年度の回収率は一八％と、大幅アップを予想している。まずは春の模様替えのカーテンや、新しい服の候補に生まれ変わったペットボトルを加えてみてはどうだろう。[朝日新聞社]

「科学技術」

99/01/20 東京夕刊 10 頁 水曜科学面 T990120E10--01

化学処理難しい電池のマンガン、温泉細菌でリサイクル 工業技術院

国内では一年に約二十億個のマンガン系乾電池が使われ、大部分が捨てられている。マンガンを化学処理で回収するにはコストや手間がかかりすぎるためだ。こうした問題を解決するため、工業技術院の地質調査所、資源環境技術総合研究所(いずれも茨城県つくば市)などの研究グループは、温泉にいたるマンガン酸化細菌の力でリサイクルする方法を考え出した。三月に神奈川県で開かれる日本化学会で発表する。[朝日新聞社]

99/01/24 西部朝刊 地方版 福岡B面 S990124MF0B-03

三セク、26日にも設立 大牟田市などのRDF発電事業 /福岡

全国初のごみ固形化燃料(RDF)発電事業のため、県と大牟田市、電源開発が同市に設立する第三セクター、「大牟田リサイクル発電」は二十三日、社長に中垣喜彦・電源開発常務が就任する人事を決めた。会社発足にあたり、中垣氏は「円滑にスタートさせたい」と抱負を述べた。同社は二十六日にも正式に設立される。

発電所は、三井鉱山が所有する同市の埋め立て地を取得して建設する計画だが、無償譲渡を求める市側に三井側は難色を示している。用地問題について、中垣氏は「予定地がベストの土地と考えている。(市と三井の)交渉は最終段階と聞いており、計画には十分間に合う」と話した。

RDFの供給には、大牟田市、宮田町、志免町など県内十二市町と、熊本県荒尾市と阿蘇広域行政事務組合(八町村)の計二十一市町村が参加を表明している。同社は来月中に参加自治体を確定する意向で、さらに数町が加わる見通しという。

今後は、RDF供給自治体の可燃ごみ量の見通しに基づいて、発電所の規模を三月末までに確定する。また、二月から一年間、予定地周辺の環境現況調査を始める。二〇〇〇年に着工し、ダイオキシン類の規制が強化される二〇〇二年の運転開始を予定している。[朝日新聞社]

99/03/10 東京朝刊 地方版 埼玉A面 T990310MSM2-07

「ケナフ」栽培を採用 紙原料にも 県東部清掃組合 /埼玉---

越谷市など五市一町でつくる県東部清掃組合(管理者=板川文夫・越谷市長)が「環境に優しい植物」として注目されているケナフの栽培に、この春から取り組む。ケナフは二酸化炭素の吸収力が高く、茎の繊維が紙の原料になる特性から、森林破壊や地球温暖化などの防止に役立つと期待されている。ダイオキシン対策でごみ焼却を中止した第二工場(草加市)の敷地に植える計画だ。

県東部清掃組合は昨年四月から稼働を中止した第二工場内に資源リサイクル課を新設した。これまでは焼却かすの再利用が中心だったが、さらに新しい事業ができないかを検討した結果、ケナフ栽培に目をつけた。

ケナフの普及を目指している「彩の国さいたまケナフの会」(栄京子代表)から種を購入し、敷地内で栽培する。得地忠信・同課長は「ごみの減量や環境問題に関心を持ってもらうきっかけになれば」と考えた」と話す。

同組合は五市一町の公立小中学校にも栽培を呼びかけ、種を譲ることになっている。[朝日新聞社]

「政治・経済・施策」

99/01/13 名古屋朝刊 地方版 愛知A面 N990113MA12-03

温暖化、6割が「大変心配」 県政モニターアンケート /愛知

地球温暖化について、六割が「大変心配である」と高い関心を示しながらも、「防止に積極的に取り組む」と回答した人は三割しかいなかったことが、県政モニターアンケートで分かった。県民課は「温暖化防止は個人の心がけに負うところが大きい、まだ意識は低そうだ」と話している。

昨年九月、県政モニター八百九十六人に質問用紙を郵送し、八百七十四人から回答があった(回収率九七・五％)。

「関心を持っている地球環境問題」を二つ以内で選んでもらったところ、「地球の温暖化」を挙げた人が最も多く、七四・七％。以下、「オゾン層の破壊」(四九・八％)、「海洋の汚染」(一六・四％)だった。

どのくらい心配に思っているかを尋ねた質問に対しては「大変心配である」が五九・八％、「ある程度心配である」と合わせると九五・八％に達した。

温暖化を防ぐための行動について「どの程度取り組みたいか」との質問には、「積極的に取り組む」が三〇・四％、「ある程度進んで取り組む」は四七・二％だった。

日常生活ですぐできる行動(複数回答)としては「冷暖房の温度設定」(八五・〇％)、「缶、瓶の分別、リサイクル」(八一・六％)が多かった。[朝日新聞社]

99/01/21 大阪朝刊 12 頁 3 経面 0990121M12--01

電力(動き出すCO2削減ビジネス ロシア・欧州:4) 【大阪】

グリーン電力

「わたしたちは十月だけで、四・五五トンの残飯をバイオガスに変えました。燃料に換算すると石油四百九十八リットルになります。三・九トンの可燃ごみを地域暖房の燃料にしました。六十三・八平方メートルのアパート一戸が一カ月間に使うエネルギーに相当します」

「環境配慮」が売り

「わたしたち」はスウェーデンの首都ストックホルムの中心部にあるホテル「スカンディック・スルッセン」で働く人たち。ホテルのレストランの隅に置かれた「環境ボード」には、最近のホテルの省エネ実績が書かれている。

スルッセンをはじめ北欧だけで八十六軒のホテルを経営するスカンディック社は環境に配慮した経営を売り物に、過去五年間に急成長した。スルッセンは国内の電力会社を通じて隣国のノルウェーから、一・五割高な電力を購入していることでも知られる。ノルウェーの電力を買うのは、再生可能エネルギーである水力による発電が九九％以上を占めるからだ。自国スウェーデンは四割強が原子力発電だ。

電力に関してはコスト高になるが、徹底した省エネで電灯や暖房に使う総エネルギー量は二五％も減らした。

「環境優先の経営はコスト削減につながる。省エネに賛同する宿泊客が増えるし、そうしたお客さんは電気や水を節約してくれますからね」と同ホテルの環境担当ガンメルトフトさんという。

通常より30%割高

割高だが、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーを選択できる仕組みは「グリーン電力制度」と呼ばれる。この制度は電力市場の自由化に加え、地球温暖化問題への関心の高まりからスウェーデンだけではなく、欧州全体に広がりつつある。

北海に近いドイツのオルデンブルク郊外に住むエンジニアのインゴ・ブラーザさん（四七）も昨年十二月から、配電会社EWEの子会社からグリーン電力を買っている。利用者に通常より高い料金を払ってもらったわりに、電力会社はその収益を風力発電やごみ発電などの設備増強に投資する。一般的な家庭で、一月の電気料金が通常より30%、二十五マルク（約千八百円）高くなる。妻のアンナさんは自分たちだけ余計に支払う必要はないと反対したが、インゴさんが「子供たちの世代のことも考えよう」と説得した。

受け付けから一月半たった昨年末の時点で、EWEのグリーン電力利用者は三百世帯。EWE社が供給する電気のうち、再生可能エネルギーの割合が1%であることから、今年中に1%でまかなえる千七百世帯を獲得する目標をたてている。ささやかな目標のように見えるが、1%の壁は結構厚い。

環境税求める声も

ドイツで最初にグリーン電力を販売した電力会社REW社は二年間に、ルール地方を中心に一万五千世帯と契約を結んだ。契約件数は供給対象世帯の0%にとどまっている。制度導入の直前に実施したアンケートでは、70%が「割高でもグリーン電力を購入したい」と回答しており、「理想」と「現実」の落差は大きい。

ほとんどの契約者は一般家庭で、大口需要家はエッセンにあるミュージカル・プロダクションのステラ社の劇場など一握りだ。大手医薬品メーカー、バイエル社もREW社の顧客だが、年間五十億キロワット時の電力を消費するバイエルに再生可能エネルギーを供給できる設備はない。

民間組織のウッパタール気候・環境・エネルギー問題研究所のフィッシュデック・エネルギー部長は「再生可能エネルギーを普及させるためには一部の消費者の負担では限界がある」と指摘し、環境税のような仕組みが必要と提唱する。この選択も国民に広く負担を求めなければならず、「1%の壁」を破るのは容易なことではなさそうだ。

[朝日新聞社]

99/02/17 東京朝刊 11 頁 1 経面 T990217M11--03

環境規制で日米欧が攻防 新たな貿易摩擦に？

地球温暖化防止などへ向けた環境規制をめくり、日米欧の間で相手市場の規制をできるだけ緩くさせようと、駆け引きが続いている。日本の自動車の燃費規制に対し、欧州委員会や欧米メーカーが見直しを要求。家電リサイクルをめぐるっては、逆に欧州側の規制を見本などが「非現実的だ」と批判している。先進国全体で温室効果ガスの5.2%削減を盛り込んだ京都議定書の採択から一年余り。環境保護という方向性自体に、あからさまな異論は唱えにくい雰囲気はあるものの、世界市場の覇権争いも絡み、新種の摩擦の兆しを見ている。

自動車燃費

「日本の基準は、欧州車に対する事実上の差別だ」。自動車の燃費を平均22.8%向上させる日本の改正省エネ法（今年四月施行）の新基準案に対し、欧州自動車工業会（ACEA）と欧州委員会は昨年末、それぞれ見直しを求める意見書を寄せた。

欧州側が問題視しているのは、基準案が重量区分ごとに基準値を細かく設定している点だ。直噴エンジンなど最新技術の進み具合を考慮に入れた結果、車両重量千二百五十 - 千七百五十キロの中型のクラスで最も厳しい二四 - 三〇%の燃費向上を求めている。日本での欧州車の販売は八八%がこのクラスに集中しているため、「欧州車を狙い撃ちしている」と非難する。

欧州委員会は、二酸化炭素排出量を全体で約25%削減する自主目標を業界団体と決めているが、どのクラスで削減するかは自由だ。同委員会は「この方が効率的だ」と主張する。

欧州側は温暖化防止京都議定書で当初、温室効果ガスの一律一五%削減を求めた環境規制の強硬派だ。「環境に対する責任は厳粛に受け止めている」（ACEA）としながらも、産業界の利害が見え隠れする。

米国のビッグスリーはもっと露骨だ。連名で「達成は非常に難しい。確実に車両価格に影響が及ぶ」と基準全体の緩和も求め、米通

商代表部（USTR）にもこうした姿勢を伝えている。

通産省は「基準を変更することはありえない」としながらも、一月から欧州委員会との間で両産業界も交えた協議を始めた。

家電リサイクル

資源の有効利用を目指す電気製品のリサイクルでは、攻守が逆転している。欧州委員会は昨年、全家電製品を対象に九〇%以上のリサイクルを義務づける指令案を公表した。これに対しては、日米欧の業界団体が共同で見直しを求める意見書を出す一方、一月に訪欧した与謝野馨通産相が欧州委員会に対し「業界の意見を聞いて現実的なものにしてほしい」と要請した。

日本でも家電リサイクル法が二〇〇一年から動き出す。輸入が少ないことに加え、対象は四品目のみと規制も緩く、欧米側から今のところ不満は寄せられていない。

代替フロン

冷蔵庫やエアコンの冷媒として使われ、温室効果が二酸化炭素の数倍 - 数万倍もある代替フロンの削減は、環境非政府組織（NGO）がけん引役となっている。

欧州では、冷蔵庫の冷媒を炭化水素に切り替える動きが一九九〇年代に進み、ドイツで九割以上、欧州全体でも三、四割が転換している。特に規制があるわけではないが、NGOの運動を背景に、消費者の環境意識が急速に高まったという。

日本の政府とメーカーは、炭化水素は爆発の危険性があるとの懸念から、当面は代替フロンのリサイクルを徹底することで乗り切る方針だ。これに対し、欧州の冷媒などのメーカーと環境団体のグリーンピースが日本のメーカーを回り、転換を働きかけている。

米国は温室効果ガスの最大の排出国だが、国内で環境規制を強化する気配は今のところなく、他国の環境規制にも米政府としては明確な態度を示していない。しかし、日本の関係者の間には「米政府はいずれ業界の意向を受けて、日本や欧州に対して、規制を緩和するよう強く求めてくるのではないか」との懸念が広がっている。

[朝日新聞社]

99/02/22 東京朝刊 4 頁 オピ2面 T990222M04--01

急がれる、食品への対策 ダイオキシン汚染と行政

テレビ朝日の報道が引き金となった埼玉県所沢産野菜の販売中止騒ぎは、報道したデータの扱いが不適切だった一方で、「食品」という最もデリケートな問題でのダイオキシン対策の立ち遅れをさらけ出した。人体に入るダイオキシンの約八割は食品から、とされているのに、行政は生産者への被害を恐れ、消費者の不安を解消する努力を怠ってきた。発生源である産業廃棄物焼却施設の集中にも有効な対策を欠いた。より安全な社会を目指すにはどんな対策が必要か。行政は今回の騒ぎを無駄にせず、明確な筋道を国民に示すべきだろう。

所沢の不安、8年前から

「所沢産野菜だけの調査ではだめだ。なぜ、すぐに全国一斉ではないのか」。農水、厚生、環境各省庁と埼玉県は所沢周辺のホウレンソウの緊急調査を始めたが、地元農家は「ほかの産地と比較しないで消費者は安全と思うだろうか」との不安をめぐいきれない。

環境基準の設定遅れる

欧米主要国は八〇年代後半から九〇年代前半にかけて、ダイオキシンの発生量を大幅に減らした。例えばドイツでは、焼却炉の排ガス規制を強化する一方、農用地、市街地など用途別の土壌の基準や、牛乳・乳製品にガイドラインをつくった。九五年には、九一年と比べ、牛乳・乳製品と肉・卵に含まれるダイオキシン濃度はそれぞれ約四割、魚は約八割減った。その結果、血液中濃度は八八年と比べ半分以下に下がった。

対策の出発点となるのが、人が一生とり続けても安全な量を示す耐容一日摂取量（TDI）の設定。欧米では、世界保健機関（WHO）が九〇年に体重一キロ当たり一日一〇ピコ（一兆分の一）グラムにしたのと相前後して決めた。ところが厚生省は八四年に決めた評価指針値の百ピコグラムを採用し続け、九六年になってやっと一〇ピコグラムにした。WHOは昨年五月、一 - 四ピコグラムに改め、厚生省と環境庁は見直し中だ。

こうしたTDI設定の遅れが対策を遅らせ、現在の都市部の大気濃度を比べると、日本は一立方メートル当たり平均〇・八 - 一・〇ピコグラムで、欧米の数倍から数十倍もの値になっている。

日本人が一日に食物から摂取するダイオキシン量は、欧米人より

数割多いと見られる。環境庁の報告書だと、半分から九割程度が食物からの摂取で、大気や土壌などからはわずかだ。食物の中では、魚と肉・卵の比重が高い。

もっとも、環境庁は「T D I は一生の間にどれだけ食べ続けても大丈夫かを見た値なので、魚や肉をたくさん食べて上限値を超えたからといってすぐに危険とはいえない」と指摘する。

テレビ朝日が報じた最高値〇・七五ピコグラムのホウレンソウを一日二十グラム食べたとなると、体重一キロ当たりの摂取量は、五〇キロの成人で〇・三ピコグラム、二〇キロの子供で〇・七五ピコグラム。WHOの目標値一ピコグラムすら下回り、平均的な人が食品から摂取するダイオキシン全体の約一割だ。

だからといって、現在の日本の大気、食品の汚染を放置していいというわけではない。

ダイオキシンについてのデータ

各国の摂取許容量

(単位は1日体重1キロ当たりのピコ = 1兆分の1 = グラム。カッコ内は決められた年)

WHO	(1990)	10	(98)	1 (目標) ~ 4 (上限)
ドイツ	(85)	1	(予防レベル) ~ 10	(緊急対策レベル)
スウェーデン	(88)	5		
デンマーク	(88)	5		
カナダ	(90)	10		
英国	(92)	10		
米国	(94)	0.01 (提案中)		
オランダ	(91)	10	(96)	1 (答申)
日本	(96)	10	厚生省。環境庁は97年に5を	指針値に

食物からの摂取量の各国比較

日本 (研究者)	3.26
同 (環境庁)	0.26 ~ 2.6
同 (厚生省)	1.37 ~ 3.18
ドイツ	2.2
カナダ	2.3
オランダ	2.0
米国	0.3 ~ 3.2
英国	2.1

(注) 単位は1日体重1キロ当たりのピコグラム。環境庁と厚生省の報告書から

日本での食物からの摂取量の内訳

(1日当たり。単位はピコグラム。97年度厚生省調べ)

米	1.18
雑穀・イモ	4.21
砂糖・菓子	0.70
油脂	0.53
豆・豆加工品	0.40
果実	0.21
有色野菜	4.94
野菜・海草	1.23
しこう品	1.31
魚介	75.28
肉・卵	20.87
乳・乳製品	9.42
加工食品	0.40
飲料水	0.02
総摂取量	120.7

体重1キロ当たりの摂取量 2.41

(注) WHOがダイオキシン類と認めたコプラナーPCBを含む。数値は平均値 [朝日新聞社]

99/03/16 東京朝刊 5頁 オピ1面 T990316M05--02

デポジット制、八丈島の試み(声)

学習塾経営 小宮山建(東京都 52歳)

三日の声欄で、デポジット制度(預かり金制度)を国で進めよう求める「『捨てる損』そんな制度を」との記事を拝見しました。

私も同感です。

昨年九月より、八丈島では飲料缶・ペットボトルを対象に、シールを張り付ける方式でデポジット制度が実施されています。全島の店の参加は実現できず、状況は必ずしも甘くはありませんが、実施後五カ月で、参加店では八八%の高い回収率を記録しました。

デポジット導入をきっかけに、環境意識が急激に高まり、住民運動も起こりました。参加事業者の会も組織され、商店の負担を軽くする工夫や、デポジットを楽しく夢のあるものにするための企画(抽選くじ「ラッキーデポジット」)も生まれて、運動は少しずつ実を結んできています。

今、ゴミ問題に関するニュースが連日報道されていますが、そこに見えるのは増え続ける廃棄物の処理に立ち往生している自治体の姿です。ゴミをなくすには、リサイクル出来ないもの、有害なものには作らない法律が必要です。

私たちは、単に島内美化にとどまらず、日本全体のゴミ問題の根本的解決につながるこの制度が、少しでも早く法制化されるよう努力したいと思います。[朝日新聞社]

99/03/19 東京夕刊 1頁 1総面 T990319E01--01

ダイオキシン発生、3年余で9割削減 97年比、政府の基本指針案

政府のダイオキシン対策推進基本指針案が、十九日開かれたダイオキシン対策関係閣僚会議に示された。二〇〇二年暮れまでに総発生量を規制前の一九九七年比で約九割削減するとしている。そのための対策として、大気環境基準と廃棄物減量化の目標量を早急に設定したり、廃棄物焼却施設が集中しないよう立地の際の判断基準を明確にしたりするなどのメニューをあげている。政府は今月末に基本指針を正式決定、これをもとにダイオキシンの削減に向けた総合的な取り組みを急ぐ。だが、発生量は目標年次の二〇〇二年暮れの時点で年間八百グラムと、欧米に比べ、二けた多いと見られる。基本指針でどこまで削減が急ピッチで進むか不透明な部分もある。

99/03/21 東京朝刊 9頁 1総面 T990321M09--04

日欧に「環境摩擦」の気配 排ガス協定で埋まらぬ溝 改正省エネ法

【ブリュッセル20日=富永格】ブリュッセルで十九日まで、日本と欧州連合(EU)の自動車排ガス規制協定が開かれた。しかし、双方の溝は埋めきれず、近い将来の「環境摩擦」を暗示するものとなった。四月施行の改正省エネ法に対し、欧州委員会は「欧州車に不利で、実質的な対外差別だ」と不満を募らせる。欧州委は一方で、欧州自動車工業会(ACEA)が決めた排ガス削減の自主目標を、日本車にも強制する構えだ。「貿易と環境」は、二〇〇〇年に始まる世界貿易機関(WTO)の新貿易交渉の一分野となる可能性があるが、前哨戦はもう始まっている。

EUは改正省エネ法の最大の問題点として、日本市場の欧州車が集中する中型ガソリン乗用車の、二酸化炭素(CO2)削減の負担が大きいことを挙げる。これが技術障壁に当たるとして、WTOの手続きに沿って説明を求めたのが今回の初協議だ。EUは一度では納得せず、月内にも再協議することになった。

改正省エネ法は、自動車の重さや用途ごとに二〇一〇年までの燃費向上率を定め、メーカー単位でCO2の排出削減を求めている。ガソリン乗用車では、二人(百十キロ)乗車時で千二百五十キロ以上千五百キロ未満の車に対する向上率が最も厳しく三〇%。次に厳しいのがこの前後の重さで、二五%前後を要求される。日本で売れる欧州車の八八%がこの範囲に収まる(グラフ)。日本車もこの三分類が多数派だが、それでも五九%だ。

EUが日本側の説明に納得しなければ、「実害」が出た段階で、内国民待遇違反(対外差別)でWTOに提訴する道もある。

一方、欧州委は業界全体の乗用車のCO2排出量を、二〇〇八年までに九五%比で二五%減らすというACEAの自主目標を、域外メーカーにも求めている。これに対し、韓国自動車工業会は「技術的に無理」と反発、日本自動車工業会は「欧州業界と同等の努力」は約束したものの、実際にこの数値を達成するかどうかは留保している。だが、欧州委はあくまで数値目標にこだわる方針だ。

EU環境相理事会は欧州委に対し、五月末までに交渉を終え、六月の次回理事会に結果を報告するよう指示している。欧州委は合意できない場合に備え、目標値を日韓に「強要」する法的措置も練っている。

欧州市場の日本車は、輸入が高級レジャー用車や大型車に偏るため、現地生産の中小型を入れても、走行一キロ当たりのCO₂排出量は平均二百グラム強と、欧州車より約九%多い。目標値(同百四十グラム)を達成するための燃費向上率は三%となり、日本の省エネ法より厳しくなってしまう。自工会欧州事務所(ブリュッセル)の佐々木滋所長は「同じ百メートル競走に参加するのはいいが、スタートラインが違う」と戸惑う。

日欧とも「今後、環境を口実にした保護主義には注意が必要」との立場だ。しかし、排ガス削減や家電リサイクルなど、域内事情に合わせた環境保護策が事実上の輸入制限となるケースは増えそう。日本政府が九三年から続けてきた対欧自動車輸出の台数監視(モニタリング)は、今年いっぱい終わる。この自主規制が、欧州側の「緑の障壁」にすり替わる可能性はゼロではない。[朝日新聞社] 99/03/26 東京朝刊 25頁 1家庭面 T990326M25--02 ごみ減量へ、市民プラン 川崎から全国へ働きかけ 冊子販売

川崎市の市民団体が「川崎発 ごみを出さない燃やさない市民プラン」をまとめた。「リデュース(発生抑制)・リユース(使用済み製品の再利用)・リサイクル」を基本に、生ごみリサイクルや環境学習センターの設置などを提言。「実践しながらの提案」をモットーに、プラン実現に向けて全国の市民や自治体に働きかけていく。生ごみリサイクル運動を進める有機農産物普及・堆肥化(たいひ)推進協会の会田節子事務局長は「川崎のプランは、メンバー自身が多くの実践例を見て歩き、実行可能性の高いものを選び提言している。市民や行政は、プランのいいところをどんどん盗んで、実行に移してほしい」と話している。

「川崎発 ごみを出さない燃やさない市民プラン」は、A4判百四十二ページの冊子にして、一部五百円(残部六百部)で販売中。希望者は、飯田さん方(〒215-0021 川崎市麻生区上麻生二の五の七、電話・ファクス〇四四-九五五-二五三三)へ、冊子代・送料計八百十円分の切手を同封して申し込む。[朝日新聞社]

99/03/29 東京朝刊 1頁 1総面 T990329M01--01
ごみ減量へ特措法検討 店頭での回収支援も 厚生省

厚生省は、廃棄物の減量化を進めるための特別措置法制定に向けて検討を始めた。廃棄物処理法などはすでにあるが、家庭ごみなど一般廃棄物と産業廃棄物を合わせた廃棄物全体の減量化を法律で規定するのは初めて。これまであまなかった、都道府県知事が不適正な廃棄物処理施設の設置を不許可にできる根拠や、国や自治体が関与して廃棄物処理施設の計画的な整備を促進することも示す。廃棄物の減量化は「ダイオキシンの対策関係閣僚会議」が三十日にまとめる基本指針に盛り込まれるため、厚生省はできるだけ早く法制化を目指したいとしている。[朝日新聞社]

99/01/26 東京朝刊 1頁 1総面 T990126M01--09
藤前干潟埋め立て断念 名古屋市、代替地探方針

名古屋市の松原武久市長は二十五日、名古屋港の藤前干潟にごみ埋め立て処分場をつくる計画を断念する方針を固めた。これまでは埋め立て回避のために愛知県と代替地を探す一方、不調に終わる場合も想定し、藤前計画を堅持してきた。運輸省は「代替地探しの交渉は藤前を断念することが先だ」との姿勢で、埋め立てに合意した市議会との整合性を図るなど詰めの作業は残るものの、代替地探しに方針を一本化するしかないと判断した。ごみ問題と環境保護の調整から公共事業を断念するのは全国でも異例。(26面に関係記事)

この問題で国との間の調整役を買って出ている愛知県の鈴木礼治知事は二十六日、厚生、環境の二省庁を訪ね、あらためて藤前干潟の保全と、代替地探しへの協力を求める。運輸省にもできるだけ早く協力を要請したい考えだ。

運輸省の黒野匡事務次官は二十五日、記者会見で「正式に藤前断念ときいていない。まず、それがあべきだろう」と語った。愛知県と名古屋市が藤前干潟の最終代替地を同省が管理する名古屋港内の人工島ポートアイランドに想定していることが報道されており、不快感を示すと同時に、条件をつけたものだ。

これに対し、松原市長は同日、「今の市の対応は分りにくいだろう。(運輸省に)協議にのってもらう前に進まない。一本化を近々に判断しないとけない」などと話し、代替地探しを進めるためには藤前計画を断念するしかないとの考え方を示した。

<藤前干潟> 名古屋港に広がる八十九・二ヘクタールの干潟。

シベリアとオセアニアなどの間を移動する渡り鳥の中継地であり、国際的に重要な湿地とその生態系を保護するラムサール条約の登録基準を満たしている。とくにシギ・チドリ類の飛来数は諫早干潟(長崎県)の干拓後、国内最大となった。名古屋市は一九八一年、干潟を含む百五ヘクタールをごみ埋め立て処分場にしようと計画。「自然環境に配慮する」として九三年に埋め立て規模を四十六・五ヘクタールに縮小し、来年度に着工、二〇〇一年度から一般廃棄物を搬入する予定だった。[朝日新聞社]

99/03/30 名古屋朝刊 28頁 2社面 N990330M28--06
注文あるあるアルミ掲示板(あすへ 99統一選) 【名古屋】

使い捨てのベニヤ板から何度も使えるアルミに選挙用ポスターの掲示板を切り替える自治体が、この統一地方選で大幅に増えそう。アルミ掲示板の特許を持ち、一手に製造している岐阜市内の業者によると、環境問題への関心の高まりもあって、一昨年は全国十市町村だけの注文だったが、今春は国内の全市町村の約一割にあたる三百市町村を超えそうだという。

ポスター掲示板は選挙が終わると保管場所に困るため、たいていは業者が引き取る。しかし、ベニヤ板や再生紙板はポスターをはがすと跡が残ってしまい、再利用が難しく焼却処分になってきた。岐阜市で看板などを製造している会社「丸善グループ」は、四年ほど前にアルミに着目した。「燃やせば税金が灰になる。ダイオキシンも発生しない」と、ベニヤ板でも選挙のために買い替えでは、森林伐採にもつながる」と中島設男社長(四九)。一九九六年十一月に実用新案の特許を取り、本格生産に入った。

アルミは耐久性があり、ポスターをはがしやすいのが利点。ネジで継いでいくことで人数の調整も可能だという。全国のレンタル業者を代理店にすることで自治体が保管しなくてもいいようにし、費用もベニヤ板並みに抑えたという。

同社によると、参院選のあった昨年は約百五十市町村が導入した。今春は、北海道から沖縄県までの約三百五十市町村が契約する見込みだという。

そのひとつ、岐阜県御嵩町の選挙管理委員会は「産業廃棄物処分場計画に絡んで住民のごみ問題への関心が高いため、以前から注目していた。今回は県議選と町長選が間を置かずに実施されるため、導入するには良い機会だった」と話している。

また、静岡県清水市は「紙の減量など、役所内で『エコプロジェクト』を進めている最中。見積もってもらったら、ベニヤ板より安かったので導入した」という。

一方、ごみ減量が緊急課題になっている名古屋市長選は「アルミは取り付けに手間がかかるため再生紙板を使っている」。ダイオキシンが話題になった埼玉県選管は「壊された時にすぐに補充するのが難しい」と話している。

自治省選挙部管理課の話 それぞれの自治体が判断することだ。自治体にアルミを増やすよう働きかける考えは特にない。

[朝日新聞社] 99/03/16 西部夕刊 6頁 2社面 S990316E06--04

ゴルフ場建設中止、荒れ地を人工森林に 海の中道海浜公園【西部】

福岡市東区の国営海の中道海浜公園に建設省が計画していたミニゴルフ場建設が、中止され、代わりに人工森林が造成されることになった。十五日に福岡市内で開かれた、同省設置の「公園環境共生計画検討委員会」(三好勝彦委員長)が結論を出した。同省の承認を経て正式に決まる。

建設省海の中道海浜公園工事事務所によると、一九九〇年度に策定された基本構想には、公園中央部の荒れ地約十六・五ヘクタールに、ミニゴルフ場を整備する計画だった。しかし、昨年末から計三回開かれた検討委で、公園事務所側からゴルフ場計画の中止が提案された。学者や自治体関係者ら十二人の委員からも賛同意見が相次いだという。[朝日新聞社]

99/03/25 東京朝刊 地方版 宮城A面 T990325MMGA-04
県の主張全面的に否定 「白石産廃手続き訴訟」控訴審判決 / 宮城

白石市に計画されている産業廃棄物処分場の設置計画について、業者からの申請書を県が受理しないことの是非をめぐる控訴審で、仙台高裁は二十四日、県の主張をことごとく退ける判決を出した。県の指導要綱で定めた住民の同意が昨年改正した要綱では必要なくなった点を指摘し、「本件でも必要なく

なつたと解するのが自然」とするなど、一審判決では触れなかった部分にも言及。一方で、浅野史郎知事が「住民同意を要綱に規定した政策判断をくみとってほしい」としてきた主張や、昨年六月の白石市の住民投票結果にはまったくふれず、県側にとって一審より厳しい判決内容となった。県は厚生省などと協議して、上告するかどうかなど今後の対応を決めるとしているが、苦しい判断を迫られそうだ。

[朝日新聞社]

99/03/09 大阪朝刊 地方版 京都E面 0990309MKYE-04
個人の家用補助を検討 太陽光発電で八木町 / 京都

個人が家に太陽光を利用した発電設備を取り付けた場合、工事費を補助する「太陽光発電システム設置推進補助」制度が、新年度から八木町でスタートする。町の補助制度は府内では初めてという。九日に開会する町議会に、五十億四千八百万円の新年度一般会計当初予算案のひとつとして町が提案する。

助成額は、発電能力一キロワット当たり十万円を予定。一般的な約三キロワットの設備で現在、約三百五十万円の費用がかかる。うち、約百万円が新エネルギー財団から助成される。町では、すでに八木中学や防災センターなどに同設備を設置。中学の環境教育に役立っているといい、「厳しい財政状況ではあるが、一人でも多くの町民が地球環境に関心を持つきっかけになってくれれば」と話している。四月から「ふるさと振興課」が窓口となって対応する考え。

一般会計は、前年度当初比三・七%の増。主な事業は、町東北部の氷所（ひどころ）で整備している「農村環境公園」の建設費一億二千三百万円を追加、二〇〇〇年春の完成を目指す。[朝日新聞社]

「環境教育」

99/01/21 大阪朝刊 地方版 大阪E面 0990121MOSE-03
ペットボトル原料の制服、新1年生から導入 河内長野東中 / 大阪

使用済みのペットボトルを原料にした制服を、河内長野市立東中学校（中野元校長、生徒数七百七十人）が今春の新入生から導入する。市によると、ペットボトルが原料の制服は全国で約三十校が採用しているという。

詰め襟、セーラー服の制服の見直しを二年前から検討する中で、環境教育の一環として、リサイクルによる制服の導入を決めた。

新制服は、ペットボトルの再生ポリエステル七〇%とウール三〇%を混ぜた素材。上着は男女とも紺色のブレザーで、男子はストラップ、女子はスカート。使われたペットボトルは、男子が二リットルのボトル十本分、女子が九本分だという。卒業後は業者に回収され、後輩たちの制服や産業資材などにリサイクルされる。

四月に入学する約二百二十人の一年生から導入されるが、新二、三年生も希望すれば着用できる。価格は従来の制服とほぼ同額で、上下合わせて男子が三万五千円、女子が三万五千円。

中野校長は「身近な所から環境問題に対する生徒たちの認識を高めていければ」と話している。[朝日新聞社]

99/02/01 東京夕刊 13 頁 月曜科学面 T990201E13--01
あなたのエコロジ一度は？ 5段階チェックで生活見直そう

環境問題に関心はあるけれど、日々の暮らしを変えるところまではいかない。そんな意識と行動のずれを埋めるきっかけにと、京都大学の高月紘教授（衛生工学）は、どれだけ環境保護につながる生活をしているかを数字で示す「エコポイント」を考案した。地球温暖化から水質汚濁まで、五種類の環境影響を総合的にとらえ、数字で評価する試みだ。

高月さんは、環境負荷を減らす二十五の行動について「いつも取り組んでいる」から「まったく取り組んでいない」まで五段階で答えてもらい、得点の合計で個人の暮らし方を評価する「エコロジテスト」をつくった。

そのうちの十項目の簡易版が表だ。

(1)の「新聞・雑誌をリサイクルに出している」について、「だいたい取り組んでいる」なら一・三、「まったく取り組んでいない」ならゼロといった具合。十項目の合計があなたの「エコポイント」（環境度）で、満点は一〇〇点。高月さんは「五〇点を超えればまずまずだが、環境にやさしい人（エコロジスト）を自負するには六〇点以上はほしい」という。

一口に環境問題といっても、地球温暖化もあれば水質汚濁もある。

温暖化防止をめざし、毎月の電気やガス、ガソリン消費量などから各家庭の二酸化炭素（CO₂）量を計算する「環境家計簿」のように、個別の問題で影響の大小を出す試みはあったが、エコポイントは地球温暖化と廃棄物、水質汚濁、大気汚染、有害化学物質の五つを総合して「環境へのやさしさ」を表した。

たとえば、(9)「早寝・早起き」は温暖化と大気汚染の二つに対して効果がある。照明を使う時間を一時間短くすると、節電効果でCO₂と窒素酸化物（NO_x）の排出が減るからだ。この排出減少量をほかの項目のCO₂やNO_xの削減量と比べた。

温暖化と廃棄物ではどちらがどれだけ重要かといった、五つの問題の間の重みづけも必要になる。これについては、国立環境研究所で二十人余の専門家が合宿して、さまざまな問題の重要度を探った研究がある。この研究に参加した高月さんは、その成果を援用して地球温暖化に二・四、廃棄物に一・九、水質汚濁に一・一、大気汚染に一・六、有害化学物質に三・〇の重みを与え、十項目の配点を決めた。

この結果、十項目では(4)の「脱マイカー」が一番配点が高くなった。温暖化防止と大気汚染防止の両面で、十項目中最高の効果につながるためだ。

高月さんは「エコポイントで、自分の生活のどんな点がどの程度環境に影響を与えているか具体的に知ってもらい、暮らし方を見直してもらえれば」という。二十五項目のテストは著書「自分の暮らしがわかるエコロジ・テスト」（講談社）に掲載されている。

あなたの環境配慮は何点？（高月教授のエコポイント簡易テスト）

行動パターン	実行度	a	b	c	d	e
(1) 新聞・雑誌をリサイクルに出している		15.1	11.3	7.6	3.8	0
(2) 買い物袋を持参している		10.0	7.6	5.1	2.5	0
(3) 服で調節して冷暖房をできるだけ控えている		7.3	5.5	3.7	1.8	0
(4) マイカーを避けて公共交通を利用している		19.1	14.3	9.6	4.8	0
(5) 油をふき取ってから皿を洗っている		12.4	9.3	6.2	3.1	0
(6) 塩ビ系プラスチックを購入しないようにしている		12.9	9.7	6.5	3.2	0
(7) 合成洗剤ではなく、せっけんを使っている		6.1	4.6	3.1	1.5	0
(8) 車のバッテリーや電池類を適正処理している		10.5	7.9	5.3	2.6	0
(9) 早寝・早起きに心がけている		4.2	3.2	2.1	1.1	0
(10) たばこを吸わないようにしている		2.3	1.7	1.2	0.6	0

《注》「いつも取り組んでいる」はa、「だいたい取り組んでいる」はb、「ときどき取り組んでいる」はc、「取り組んでいることもある」はd、「まったく取り組んでいない」はeの得点。10項目の合計得点があなたのエコポイント（100点満点）[朝日新聞社]

99/03/17 東京朝刊 地方版 埼玉A面 T990317MSM2-01
新聞切り抜き2年 杉戸の泉小（NIE in さいたま） / 埼玉

何げなく開いた新聞のページに思わず引き込まれてしまう記事がある。テレビ報道が気になって、翌朝切り抜いた記事。杉戸町宮前の町立泉小学校六年一組の二十七人は、五年生の時から同じメンバーで足かけ二年間、好きな新聞記事を選び、それを読んだ感想をつづる活動を続けてきた。卒業を間近に控え、この一年間で最も印象に残ったニュースについて話してもらった。

石川洋史君（一二）が最も印象に残ったニュースは、テレビ朝日の報道がきっかけになった所沢市周辺のダイオキシン問題だ。選んだ記事は、二月九日付の朝日新聞埼玉版。野菜の販売中止に悩む農家七十人が、プラカードを掲げて、同市周辺に集中している産業廃棄物の焼却炉の停止を、県幹部に迫ったという内容。

石川君は「農家の生活が大変だ。ダイオキシンをなくすために、焼却炉の業者も協力すべきだと思った」という。この意見に中谷文哉君（一二）も「全国で、ごみを少なくしていくことと、焼却炉を少なくすることができて、本当の解決になるはず」と賛成する。リ

サイクルに目を向けたのは中野涼子さん(一二)。「ごみを捨てる前に、まだ再生できないか、燃やしても毒が出ないようにならないかと考えるようになった」[朝日新聞社]

99/01/13 東京朝刊 地方版 埼玉A面 T990113MSM2-04
できることから取り組もう ダイオキシン、子ども向け絵本にノ埼玉

小学校高学年から中学生を対象にした科学絵本「どうしたらへらせるかこの有害なダイオキシン」(大日本図書)が出版された。出版したのは、宮代町学園台四丁目の日本工業大学の鈴木康之・工学部助教授(五五)と、同大講師で放送作家の長崎武昭さん(五八)。ダイオキシンの性質や危険性、発生させない方法などを「子どもたちにも理解してもらいたい」という。「環境ホルモン」や「プラスチック」などの用語には説明文のメモを付け、イラストもふんだんに織り交ぜたわかりやすい内容。「大人も一緒に読んでもらえれば」と二人。

強い毒性があることや、一度体内に入ると排出が難しいことなど、ダイオキシンの性質の解説が内容の中心となっている。後半ではダイオキシンがごみ焼却炉で発生していることを説明し、ごみの分別を進める必要があると訴えている。

鈴木助教授の専門は化学だが、生物学にも興味を持ち、ボランティアで「アースデイ in 久喜・宮代実行委員会」に参加するなどごみ問題に取り組んでいる。長崎さんは放送作家としてNHKの教育番組などを手がけ、子ども向けの本も出版。同大学では日本語の講師を務めている。

大学で雑談しながら、ダイオキシン問題を論じあったのが出版のきっかけ。「ダイオキシン問題を解説する本はたくさん出ているが、どれも難解。将来、被害を受けるおそれのある今の子どもたちにわかりやすく伝えたいのはおかし」と意見が一致し、一昨年秋ごろに絵本出版を決めた。

イラストは長崎さんの友人の画家、井上正治さんが協力してくれた。鈴木助教授は「子供たちに、ごみ分別を進めることでダイオキシンの発生量は減らせるのだから、できることから取り組む必要があることを知らせたい」と話す。

「子ども科学図書館」シリーズとして出版されている。B5変型判、三十六ページ。千四百円(税別)。問い合わせは大日本図書(電話03・3561・8679) [朝日新聞社]

99/03/10 東京朝刊 地方版 山梨A面 T990310MYNA-09
環境問題のいま、新聞教材に学ぶ 上野原・島田小6年 / 山梨-
--

NIE(教育に新聞を)実践校の上野原町立島田小学校(下澤直幸校長)で九日、新聞を教材にした六年生の理科の公開授業があった。テーマは「人とかんきょう」。野菜のダイオキシン問題が大きく報道されたこともあり、授業に入る前から、児童の関心は高かったという。

この日の授業までに、ダイオキシン、地球温暖化、酸性雨、光化学スモッグのテーマ別に、子どもたちがそれぞれのグループで、朝日新聞など六社の新聞を使い、わかったこと、調べてみたいこと、疑問点をまとめた。

ダイオキシン問題をまとめたグループからは、「実際にダイオキシンによる被害を受けた人はいるのか」「上野原町では、どのくらい検出されるだろうか」という疑問点が出た。

その後、授業を担当した近藤周利教諭が「日本には千九百ものごみ処理場があるそうです。その数は世界の六割にあたるそうです。考えただけでもすごいことだと思いますか」と、児童に問題を投げかけた。

各グループの発表が終わると、「環境を守るために自分たちができること」として、「プラスチック製品を燃やさず、リサイクルしたい」「温暖化を防ぐために植物を増やしたい」など、積極的な意見が出た。

最後に、片岡守君は「ダイオキシンに発がん性があるなど、害についてよくわかった」。小俣裕さんは「用語を聞いたことはあったが、新聞を読んで、その意味まで分かることができた」と、それぞれ感想を語った。[朝日新聞社]

99/03/11 大阪朝刊 地方版 奈良B面 0990311MNLB-03
版画絵本、ピースに環境庁長官賞 地球にやさしいコンクールノ奈良

大和郡山市を中心にした四歳から十三歳の子どもたち約二十人でつくる「こどもエコクラブPeace(ピース)」の制作した版画絵本が、「第三回地球にやさしいコンクール」(社団法人環境生活文化機構など主催)で最も優れた作品に贈られる環境庁長官賞に選ばれた。ピースは三年連続の入賞だ。

作品は「大地の詩(うた) 聞こえますか生き物たちのささやきが」(縦十九センチ、横三十センチ、五十二ページ)。ベットボトルや廃材から再生した「木」を使って昨年九月から十一月にかけて、部活動などの合間をぬって土、日曜日を中心に製作した。

「人間が自然を思いのままに変えたり、自分たちだけのものにしてたりしていいのだろうか」と問いかけ、水の汚染や地球温暖化、酸性雨、森林破壊、ダイオキシン問題などをとり上げた。「ものにおぼれた生活を、便利さにながされていく生活を、かえていくしかないのです」と訴えている。絵は写真集などをもとに描き、子どもたちが書いた作文などから文章を作った。

メンバーの私立帝塚山中学一年の藪田顕嗣君(一二)は「カップめんを食べなくなった」といい、大和郡山市立郡山東中の村上祥子さん(一三)も「空き缶をリサイクルし、なるべく車に乗らないようにしている」と話している。

ピースは奈良市立あやめ池小学校の坂井美穂子教諭(三四)が大和郡山市立平和小学校に勤めていた四年前に子どもたちと結成し、佐保川のごみ拾いや産業廃棄物処分場の見学など、環境学習を続けてきた。メンバーは平和小、あやめ池小、郡山東中、帝塚山中などの子どもたち。環境問題を訴える創作劇を四月に上演する予定で、けいこに励んでいる。[朝日新聞社] 99/04/01 東京朝刊 37頁 3社面 T990401M37--03

84施設結んで環境教育支援 環境庁、今月から

環境庁は四月から全国二十府県、八十四の施設をコンピューターで結び、環境教育を支援する。全国を自然、水域など特徴によって四つのゾーンに分け、環境教育の活動をしていたり、新たに始めたりするところを選んだ。これらの施設でどのような行事や取り組みをしているかを知ること、環境教育への関心や参加を高めるのが狙いだ。

ゾーンは、日本海東北部(秋田、山形、新潟、長野北部)、東海(岐阜、静岡、山梨、長野南部、愛知、三重)、京滋・阪神(滋賀、京都、大阪、兵庫)、瀬戸内海中央(岡山、広島、香川、鳥取、島根、高知)の四つ。さらに県や市町村、環境NGOの施設を活動拠点として選定した。パソコンや顕微鏡、望遠鏡、水質・大気の測定キットなどを整備、地域の特性に合わせた環境教育を展開する。ネットワークは各施設をパソコン通信で結び、ホームページを開けば、施設がどのような活動をしているかがわかるようにし、旅行者も利用できるようにする。[朝日新聞社]

99/01/21 東京朝刊 地方版 茨城A面 T990121MIG2-02
農作業のありがたさ体験 大子町立黒沢小(学校たんけん)ノ茨城

福島県境まで二キロほどの山村に、二階建ての校舎がある。「実体験に基づく環境教育」を重視して七年前から、近くの農家に田んぼや畑を無償で借りて、児童らが四季を通して米作りやサツマイモ栽培に取り組んでいる。毎日食べているお米のありがたさや、作物を育てる喜びを実感してもらおうという試みだ。

大子町では以前、お茶やこんにゃくいもの栽培が盛んだったが、いまでは専業農家はほとんどいないという。高齢化が進むにつれ、休耕地も目立ってきた。同校が農家に働きかけ、約百平方メートルの田んぼと約五十平方メートルの畑を借り、児童らの特別活動の場にした。

米作りは、五、六年生が中心になってやる。児童らが春に植えた五センチほどの苗は、五カ月で一メートル近い稲穂に成長する。農家の指導を受けながら、かまで刈り取り、干歯こきなどを使って脱穀までやる。昨年は約百五十キロの収穫があった。ご褒美は十二月の収穫祭。父母らと一緒にもちをつき、雑煮にして食べる。

児童らは素足で入った田んぼの感触に歓声を上げ、きねを持つと「意外に重い」と驚く。白井校長は「驚きや感激を通して、食べ物や食卓に並ぶまでの苦労を学んでもらいたい」と話す。

家庭にはえるプラタナスの落ち葉は、集めたい肥にし、サツマイモ畑に使っている。始業前、上級生らが自主的に集め始めたら、それを見た下級生がまねて、いつのまにか習慣になったという。

白井校長は「体験を通して、子供たちに自主性が育っている」と自信を深めている。[朝日新聞社]

99/02/18 東京朝刊 地方版 栃木 A 面 T990218MTG2-10
自然観察会の魅力アップを 27日に研究会集 参加者募集 / 栃木

大田原市福原のふれあいの丘で二十七日、市ふれあい学習振興財団(理事長、千保一夫市長)と環境教育ネットワークとちぎ(青木章彦・作新女子短大助教授)が「自然観察会プログラムづくりワークショップ(研究会集)」を開催する。

環境庁などが実施する全国環境教育プロジェクト98の一環。自然に興味を持つ人、自然観察会での指導経験がある人らに参加してもらい、ふれあいの丘にある「自然観察館」が一九九六年から行っている自然観察会の内容を、より魅力的なものにするための提言を求める。

内容は、県自然環境課の職員を招いた講演や周辺の自然観察、実際のプログラム作りのためのグループ討論など。また、同施設での様々な観察会に指導員として参加してもらえるように、参加者には指導者ボランティアとしての登録も呼びかける。

三十人を募集。参加無料で締め切りは十九日。問い合わせは、ふれあいの丘自然観察館(電話0287・28・3131)へ。申し込みは同観察館か、環境教育ネットとちぎ事務局(電話028・621・1918)まで。[朝日新聞社]

99/02/19 東京朝刊 3頁 3総面 T990219M03--15
森林環境教育推進を提言

農水相の諮問機関、中央森林審議会は十八日、「今後の森林の新たな利用の方向」について答申をまとめた。主な提言内容は(1)森林環境教育の推進(2)森林作りへの国民参加の促進(3)森林浴といった健康のための利用拡大など。林野庁は森林環境教育の一環として文部省と共同で四月以降、小中学生を対象に植林などを体験学習してもらおう「森の子くらぶ」活動と、岩手、埼玉、岡山の三県に整備する「いこいとまなびの森」での親子交流活動を始める。[朝日新聞社] 99/03/26 東京朝刊 地方版 埼玉 A 面 T990326MSM2-09

環境教育に縫いぐるみ劇 幼児らに無料公演 / 埼玉

「分かりやすく楽しい縫いぐるみ劇で、子どもたちに環境破壊の問題を知ってもらおう」と、全国の幼稚園や保育園の巡回公演を続けている東京都豊島区の「すぎのこ文化振興財団」が二十七日、八潮市中央一丁目の八潮メッセで環境教育ミュージカル「みどりのほし」を上演する。

トマト姫やカボチャ大臣らが平和に暮らす「野菜の王国」にある日、宇宙の征服者、パイオ三世から「パイオ光線が攻撃する」との手紙が届く。野菜たちは知恵を絞ってオゾン層をふさぎ、征服者に立ち向かうというストーリー。出演者は全員縫いぐるみで野菜などにふんする。

同財団は縫いぐるみ劇の巡回公演を中心に活動し、最近では環境教育に力を注いでいる。一昨年には中国やモンゴルで「みどりのほし」を上演した。

一回目が午後〇時半、二回目が午後二時半から。全席自由で入場無料。問い合わせは同財団(電話03・3984・2396)へ。[朝日新聞社]

「コラム・特集」

99/01/18 東京朝刊 3頁 3総面 T990118M03--04
21世紀、新エネルギー「商機」 環境悪化が経済直撃 米研究所

【ワシントン16日=辻篤子】米国の環境問題のシンクタンク「ワールド・ウォッチ研究所」(ワシントン)は十六日、来世紀は自然環境の悪化が経済に大き

な影響を与えると同時に、自然と共存し得る新たなシステムへの転換はビジネスチャンスでもある、とする一九九九年版「地球白書」を発表した。森林破壊、水資源の減少、温暖化の急速な進展を、経済発展を阻害する主要因として挙げ、太陽発電など再生可能なエネルギーへの転換を急務としている。

白書によると、この百年間で世界の人口は三倍になり、エネルギーや天然資源の消費量は十倍以上になった。自然環境は急速に悪化、これまでと同様に経済を支えていくのはもはや不可能というこ

ろまできているという。

例えば、エネルギー需要は今後数十年で倍増するとみられるが、地質学者によればそれだけの石油資源はない。やはり来世紀末までには倍増するたんばく資源の需要も、漁獲高は海の汚染や乱獲によってすでに限界に達しており、とても賄えそうにない。温暖化によるとみられる気象災害の被害額も急増している。

必要なのが、太陽、風力、燃料電池などの再生可能なエネルギーへの転換、自転車や電車の利用の拡大、資源のリサイクルだ。すでにビジネスチャンスとしてとらえての動きも出ており、欧州では太陽エネルギー利用が進み、風力発電は産業として急成長している。

記者会見で、レスター・ブラウン所長は「化石燃料依存、車中心、使い捨ての西欧文明が問われている」と指摘した。[朝日新聞社]

99/02/14 大阪朝刊 地方版 L S A 面 0990214MLS2-04
ドゥイ・コリヤナさん(わたしの日本) / 大阪・共通

環境守る「人」育てたい 湖沼水質保全コース研修員(31)

インドネシアでの仕事は

国の水資源開発研究所の研究員として、主に河川や湖沼の排水処理施設の計画や工場の立ち入り検査など水質管理に携わっています。

国際湖沼環境委員会の研修に参加したきっかけは

母国の河川や湖の汚染が深刻で、ぜひ環境対策が進んでいる日本の技術や法律を学びたいと思っていました。一昨年、昨年も応募しましたが、選抜にもれ、今回が「三度目の正直」です。それだけに、できる限り滋賀県で学んでいきたいという意気込みは人一倍強いと思います。

日本の環境、特に水質汚染に対する取り組みの印象を

市民一人ひとりの環境保全に対する意識の高さには驚きました。琵琶湖の周りでも、行政、企業、各家庭がともに協力して汚水を減らし、環境を守ろうと努力している印象を受けました。多くの家庭の台所には、ネットのついた三角コーナーを設置しているし、どこのスーパーに行っても、ゴミ箱が分別収集になっているのは感心しました。

インドネシアでもゴミの分別収集をしている町がありますが、数カ月たつと「燃えるゴミ」も「燃えないゴミ」もごちゃごちゃになってしまう。この差は子どもたちの教育にあることに、講師の話聞いて気づきました。日本では特に小学校の環境教育に熱心ですが、授業の一環で、児童が湖水のリンの測定をしている学校があると聞いてびっくりしました。

インドネシアの河川の汚染状況と問題点は

首都ジャカルタの水源になっているのは、チタルム川です。工業、農業、生活排水が流れ込んでいながら飲料水にも使われており、琵琶湖と状況が似ています。でも、水質汚染は比べものにならないほどひどい。上流部には染色工場が立ち並び、色の付いた汚水をそのまま垂れ流す工場があり、川が変色することがある。汚水を規制する法律や排水基準はありますが、守ろうという意識が低く、浄化施設を持っていてもコスト節減を優先して、立ち入り検査のときだけ施設を稼働させる悪質な工場もあります。インドネシアの市民は、日本と比べると「みんなで川や湖を守ろう」という意識が低いんだな、と実感しました。

帰国後、研修で得た知識をどのように生かしていきますか

まず取り組みたいのは、チタルム川上流域の水質改善。新たな排水処理施設の増設や排出基準の強化などを考えています。川の汚染は深刻で、早く実施に移さなければという思いがありますが、まだ具体的な方法は決めかねています。今回の研修で、日本の技術や政策などを学んでヒントを得て帰りたい。

次に、環境教育の重要性を教育省に訴えるつもりです。「環境保全に対する意識」を改善しない限り、根本的な解決にはならない。子どものころから環境を守ろうという気持ちを植えつけていくことが必要です。一見、遠回りに見えても、「人」をつくり上げていくことが、もっとも効果的な「環境保全」ではないでしょうか。(聞き手 大津支局 峯村健司)

*

ドゥイ・コリヤナさん インドネシア・スマトラ生まれ。一九九二年にインドネシアの大学の環境工学部を卒業し、ジャカルタの建設会社に就職。九四年、水資源開発研究所の研究員に。九九年一月、国際協力事業団(JICA)の委託を受けた「国際湖沼環境委員会」(事務局・滋賀県草津市)が途上国の湖沼や河川の水質管理をしている行政担当者を対象に実施している「湖沼水質保全コース」の研修員として来日。研修期間は三月中旬まで。[朝日新聞社]

99/02/08 西部朝刊 地方版 福岡B面 S990208MF0B-02
妹川征男さん デポジット法制化運動に取り組む(今この人) / 福岡
--- 地域の枠超えはずみ < 53歳 >

遠賀川から、ごみをなくす運動に参加して十年になる。二年前に、「拾っても拾っても増えるばかり」と息が切れそうになったが、「ごみを捨てさせない」仕組みをつくるしか解決の道はないと、腹を決めた。

それが、「デポジット(預かり金)法制化運動だ。業者が飲料水などを売るとき、缶やペットボトルなどの容器代を上乗せする。消費者が容器を返すと、その代金が戻ってくる。これを業者に義務づけさせようとの運動で、いま全国各地に広まりつつある。

「I LOVE 遠賀川 流域住民交流会 デポジット法制化を求め事務局」の事務局長を務める。地方から国を動かそうと、流域の三十二市町村議会に意見書の採択を要請し、すでに十八議会で日の目を見た。一月末には県知事あての要望書を提出した。今後、県内の残りの全市町村議会と県議会にも働きかけるといふ。

「流域住民交流会」は「命の水」の遠賀川への思いで一つになった十四の市民グループのネットワーク。清掃活動や情報交換などを行っている。地域の枠を超えた政治的な活動に踏み出すことに議論もあったが、昨年九月の全体会議で共同宣言に盛り込み、はずみがついた。十万人を目指す署名活動も進んでいる。

妹川さんは最近、「デポジットについて話してくれ」と頼まれることが増えた。出かけるとき必ず持参するのが、遠賀川の無残な姿を撮影したスライド写真だ。

遠賀川は全長約六十キロ。嘉穂町付近に源を発し、何十本もの支流が集まり、響灘に注ぎこむ。河口ぜきには、空き缶、ペットボトル、発泡スチロールなど、あらゆるごみが流れ着く。建設省遠賀川工事事務所の船がすくいあげて処理しているが、水かさが増すと、ごみはゲートを乗り越えてどっと海に流れ出す。

講演会の参加者に、こうした三十枚ほどのスライドを見せてから、「デポジットとは何か」「なぜ必要か」と畳みかけて、理解を求めた。

教えるのはプロ。北九州市内の若松商業高校商業科の教諭。一九七五年、若松区の別の高校に赴任したころは大気汚染がひどく、娘がぜんそくになった。遠賀川河口の芦屋町に移り住んだら、ぜんそくがすぐに治ったという。これをきっかけに地域の環境問題に目を向けるようになった。

『使い捨ては美德』の時代に、結果的に授業を通じて高度経済成長を支えてしまった。そんな苦い思いが、運動への情熱をかき立てている。

今年の年賀状は「一大決心をして」封書にした。学校の卒業生や知人にあてた約百六十通に、デポジットの資料と署名用紙数枚を同封した。「教え子からカンパが返ってきてね」。目を細めた。

[朝日新聞社]

99/02/06 大阪朝刊 17頁 1家庭面 0990206M17--05
「省エネ気にしてます」6割 びんビール派たった1割余【大阪】

トイレトペーパーから家電製品に至る身近な商品を買うのに、どれだけ環境を意識しているか? グリーン購入ネットワーク(GPN、東京)と東京ガス都市生活研究所の共同調査で、家電については六割が「省エネ度」を気にしていることなどがわかった。一方、びんビール派は一割余、トイレトペーパーでは再生紙派が三四%だった。十二日に大阪市内で、調査結果の報告会が開かれる。

対象は、首都圏に住む東京ガスの顧客から無作為抽出で協力を承諾した人。千二十一人から有効回答を得た。

家電製品を購入するのに省エネ性や節水性を「積極的に」あるいは「少し」考慮した人は、エアコンで六九%、洗濯機六四%、冷蔵庫六一%。今後知りたい環境情報として、パソコンやテレビで四五割の人が、待機電力やリサイクルの容易さを挙げた。

トイレトペーパーはふだん再生紙品を買っている人が三四%で純パルプ品(二九%)を上回った。が、特に決めていない人が三七%と最も多く、うち八五%が価格重視と答えた。また、純パルプ品購入者の六四%も、純パルプ品と比べて再生紙品の方が環境上好ましいと意識はしていることもわかった。

家で飲むビールは缶が七一%、びんが二%。缶を買う理由は「適量」「軽い」「リサイクルできる」「そのまま飲める」など。びんと缶では八割が「びんの方が環境に優しい」と考えていた。

環境問題への関心は人並み以上にあると考える人は九割にのぼ

り、環境に優しい商品を購入するという人は六割。同じ調査で、自動車の場合には五六%が「同じ値段なら低公害車を買う」。三四%が「割高でも低公害車を買う」と回答しており、環境意識が一段と高かった。

GPNの担当者は「意識も関心も高いので、もう少し材料がそろえば行動につながるのでは。消費者にとって役立つ情報の発信の仕方を考えていきたい」と話している。 [朝日新聞社]

「広島特集」

99/01/13 大阪朝刊 地方版 広島A面 0990113MHSA-02
112万都市の明日は 地方自治の現場から第2部:3 / 広島

ごみ 難航の埋め立て地確保

広島市安佐北区白木町。大谷川が流れる谷あいの杉の木一本一本に、看板がかかる。

「魚たちの住める川……自然は人類共有の財産です」「都会のごみは都会で責任をもって処理しなさい」

不燃ごみを埋め立てるとする市の計画に反対する住民らが、思い思いのメッセージを書き込んだ。「立ち木トラスト運動」の証(あかし)である。

計画が持ち上がったのは一九九二年。谷間四十ヘクタールを二〇〇一年度から十五年間かけて、汚泥やプラスチックなどの一般、産業廃棄物百九十万立方メートルで埋め立てるといふ。周辺の社会福祉協議会役員でつくる「志屋・井原を考える会」が市との交渉窓口となり、調査を受け入れる覚書を市と結んだ。

これに対し、反対住民らは九三年、「白木町の自然環境を守る友の会」を結成。計画の白紙撤回を求めて市議会に請願する一方で、反対地権者の所有地にある立ち木二千本を、住民らが一本ずつ十年間所有する運動を始めた。市の用地買収を難しくするのが狙いだ。

地域の住民は、ほとんどが井戸水か簡易水道に頼っている。埋め立て地から流出する水による水質汚染への不安は根強い。

九五年末に市が発表した環境影響評価書(アセスメント)は「計画地は堅い岩盤で、地下三〇メートルより深いところは連続した不透水層で……計画地内の地下水は大谷の内部に収束している」。市は、地下水には浸透しないと説明する。

友の会は、この地質調査結果を、さらに専門家に調べてもらった。小島文兒・広島大名名誉教授の分析によると、「地層はもろく、透水性がよい」。同会は「埋め立て地からの流出水が川の水や地下水を汚染する」と反論する。

市は地元住民の要求に応じるかたちで昨年夏、予定地内で深さ千メートル、三十一本のボーリング調査を実施することを決めた。

白木町住民は昨年、新たなごみ問題を抱えることになった。

ごみの焼却施設や農業への余熱供給施設などを盛り込んだ「資源リサイクル工業団地」を町内に建設する構想を、市が明らかにしたのだ。ごみの埋め立て予定地からは数キロしか離れていない。

リサイクル団地に計画されている焼却施設は、日量九百トンと大規模。県内をハブブロックに分ける県の一般廃棄物広域処理計画で、広島市は高田郡、山県郡などと同じブロックになっている。

友の会メンバーの西川恵子さんは「埋め立て地の予定地は吉田、八千代、向原の各町(いずれも高田郡)に隣接している。周辺町村のごみもいずれ運ばれてくるのでは」と心配する。

これに対し、市環境局は「ごみの焼却場と、焼却灰を運び込む埋め立て地は近い方がいい。今のところ、他町村のごみを埋め立てることは考えていない」という。

現在、市の不燃ごみの大部分が運ばれている安佐北区安佐町筒瀬の玖谷埋め立て地。計画より五年も早い二〇〇〇年度末に満杯となることがわかり、市は当初計画より約百二十万立方メートル埋め立て容量を増やすことにした。これにより、玖谷埋め立て地の「寿命」は数量延びの見込みだ。

市はごみの減量化を進めているが、それでも玖谷埋め立て地には年間約十四万立方メートル(九七年度)が運び込まれた。市にとって新たな埋め立て地の確保が緊急課題であることは変わらない。 [朝日新聞社]

99/02/13 大阪朝刊 地方版 広島A面 0990213MHSA-01
率先して環境に優しく 庁舎内で色々取り組み 広島市 / 広島

資源やエネルギーの無駄づかいをやめて環境を守ろうと、広島市が庁舎内でさまざまな取り組みをしている。食堂のはしをプラスチック製に換えたり、再生紙の名刺にしたり。環境保全を市民に呼びかけるのに、まず自分たちから率先して進めようと、昨秋には資源保護の目標を定めて全職場に連絡した。

市役所の職員食堂は、昨年十二月から割りばしをプラスチック製のはしに切り替えた。市の依頼に、食堂運営を委託されている業者が対応。料理を受け取るカウンターに「煮沸消毒済」と書いたはし置きを並べ、利用者が取るようにした。

「使用抑制にご協力ください」との張り紙を出す一方で、市民利用者に配慮し、割りばしも置いている。しかし、それまで一日に約千本だった使用本数が五十本ほどに激減し、特に苦情も出ていないという。

環境問題への関心の高まりにあわせ、各自治体が工夫を凝らした取り組みを計画・実践している。広島市も昨年十月に「市役所環境保全率先行動計画」をまとめた。

一九九六年度の使用量を基準に二〇〇〇年度までに、コピー用紙など紙を一〇％以上削減 電気を五％以上削減 ペン、カンなどのリサイクル率を九〇％以上に などの目標を定めた。また電気自動車など低公害車を、三年後をめどに全公用車の五％にすることも検討している。

同計画の旗振り役となっている市環境局は、出入りする業者がいさつ代わりに名刺を置くケースのそばに、「再生紙使用名刺以外は、ご遠慮下さい」との案内を出した。いまま普通の名刺が多く、まだ十分に呼びかけが徹底されてはいないが、市は少しずつ浸透すると期待している。

また、市は、今後も環境保護の意識が定着するよう、行動目標の進みぐあいを点検する一方、二十一世紀初めを目標に、環境対策に関する国際規格「ISO14001」の取得をめざしている。

財政難のため、少し割高になりがちな、「環境にやさしい物品」の購入は簡単ではない。しかし、市環境企画課は「市の行財政改革大綱の中にも『環境との共生への要請』との表現が盛り込まれた。市は市内でも有数の大事業者であり、自ら動くことが大切だ」と話している。[朝日新聞社]

99/02/13 大阪朝刊 地方版 広島A面 0990213MHS2-09
廃棄物処分場を考える講演と歌声の集い 20日に広島で / 広島

広島市が同市安佐北区白木町に計画している一般廃棄物最終処分場の問題を考える集い「私たちのごみが私たちの水を汚す?!」が二十日午後一時半から、広島市中区大手町四丁目の広島YWC Aで開かれる。

処分場は広島市民の飲み水となっている太田川水系の三篠川上流の大谷に計画されている。集いでは、建設に反対する地元住民でつくる「白木町の自然環境を守る友の会」の中村智彦代表が講演。広島アコーディオン集団NORAの演奏もある。

実行委員会の西塔文子さんは「きれいな水を守りながら、ごみ問題を解決する方法を考えたい」と話している。

参加費五百円。問い合わせは西塔さん(082・888・4541)へ。[朝日新聞社]

「イベント関係」

99/02/03 大阪朝刊 19頁 1家庭面 0990203M19--04
ドイツに学ぶ、資源循環型の社会 7日、岡山で講演会【大阪】

環境先進国ドイツのごみ減量や資源リサイクル方法に学ぶ講演会が、七日午後五時から、岡山市石関町の岡山県総合福祉会館大ホールで開かれる。産廃処分場建設の是非をめぐり、岡山県吉永町で昨年あった全国で三例目の住民投票からちょうど一周年。同町の産廃阻止連絡協議会など二十団体でつくる岡山県廃棄物・環境問題ネットワーク会議が主催する。

講師はドイツ環境自然保護連盟(BUND)創設者の一人で事務局長のエアハルト・シュルツ氏、ドイツ・フライブルク市在住で環境ジャーナリストの今泉みね子氏、京大防災研究所助手の中川鮮氏の三人。ドイツのごみ減量の実態や資源循環型社会をめざす具体的な取り組み、今後の産廃処分場のあり方などについて、それぞれが話す。

シュルツ氏は岡山市のほか、東京や埼玉、福岡、大分各県で講演を予定している。入場無料(カンパを要請)。問い合わせは同ネッ

トワーク会議(0869・84・3000、内線13=昼間)へ。
[朝日新聞社]

事務局 INFORMATION

入会のご案内

地球号乗組員大募集中

宇宙船地球号の会は、市民レベルの環境問題を楽しく考えていける市民サークルです。当然参加資格は全くありません。多くの方の参加をお待ちしています。参加方法は次の2通り。

「会員」 毎月19:00~21:00の例会(場所は随時連絡)を始め、当会の全ての活動に参加できます。例会の日時については随時変更可能

会費:年2000円

「地球号購読会員」 当会の情報が満載のこの機関誌の購読者。年間購読料1,000円也

郵便振替 01340-2-22538 宇宙船地球号の会

どの形態の会員の方でも、気軽に活動に参加できます。

地球号はやるのがたくさんあります。ぜひ、あなたも地球号の乗組員へ!

編集後記

最近パソコンの調子が良くありませんでした。今回の編集でも、スキャナーが悪くて、画像の取り込みに失敗してシステムが停止してしまったり、1時間もかけて作ったグラフのデータがぶっ飛んだりして、「もういややあ!」と狭い4畳半で絶叫することがしばしばでした。やはり中古品の寄せ集めではだめなのだろうか?...と考えつつも、よくよく調べると内部の接続ケーブルの不良でした。「やっぱり中古は中古だよな」と思いながら、更なる中古品をゲットせんと、ジャンク屋でガラクタを漁り、1000円の新しい中古品を取り付けたら直っちゃいました。

今回の教訓:修理部品はジャンクに限る。

役にたたない連載 誤変換しびれまくり

ちょっとはお利口さんになったような...(#.#)

こどもらし佐賀 こどもらしさが 子どもらしさが
差と山 さとやま 里山
トヨタ軍 豊田郡(さぞかし強いことでしょう)
体死亡率 体脂肪率(意味は判るような...)
大工は唐やんがいい 第9はカラヤンがいい(いったいどんな大工だ?)
女医ポリス ジョイポリス(いたら面白いけど...)
地味変 ジミヘン(地味 辺士陸スの略、ここでも誤変換してやがる、正解はジミーヘンドリクス、昔のミュージシャンの名前です...年がばれるぜ)

投稿募集中、日頃気になること、身近なできごと、感想 & 批評...なんでも結構です。お便り待ってます。

宛先 機関誌「地球号」編集部 川口 辰之進
〒739-0036 東広島市西条町田口314
TEL・FAX (0824)25-5114 FAXは手動切り替え、
パソコン通信NIFTY-ServeID GH00730

E-mail mz3t-kwgc@asahi-net.or.jp
もしくは、

地球号代表、竹本 伸
〒733-0815 広島市西区己斐上2丁目51-25
TEL・FAX(082)272-4539

*E-mail if7s-tkmt@asahi-net.or.jp までどうぞ。